

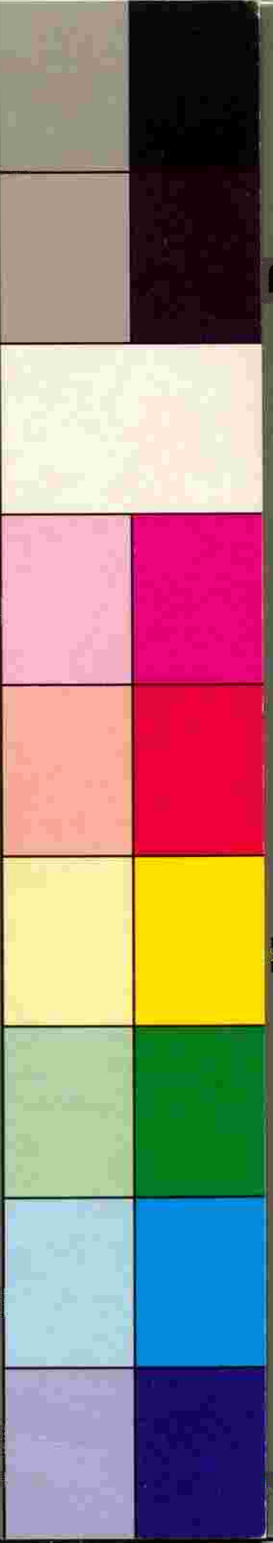
inches

cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

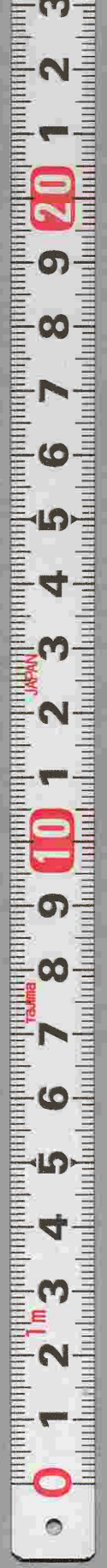
Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

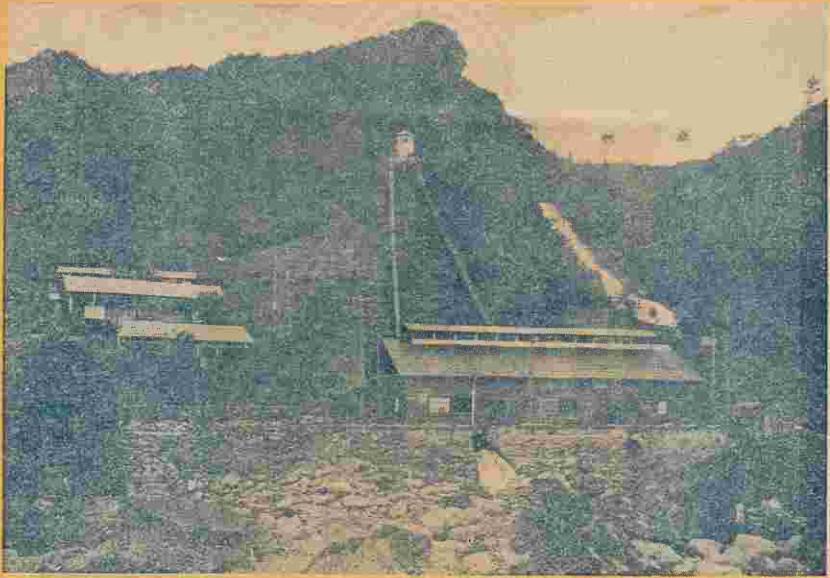
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



室田發電所



高崎水力電氣株式會社

取締役社長	小島彌平	監查役	岸龜吉
專務取締役	小澤宗平		
常務取締役	櫻井仙次郎		新井清兵衛
取締役	瀧川文二郎		松山真哉
	大谷藤三郎		住谷喜平
	木暮武太夫		千明三右衛門
	井上保三郎		支配人 金山鐵吉郎
	山田昌吉		主任技術者 太田仙太郎
	松本文作		

本社	五〇四二	桶川營業所	九
高崎營業所	一八	運輸部	一三〇
澁川營業所	五二	澁川電車發着所	五二
藤岡營業所	四四	伊香保電車發着所	二四
本庄營業所	一六三	箱島發電所	二
深谷營業所	四三		
熊谷營業所	一四九	瓦斯部	五二三

事業區域



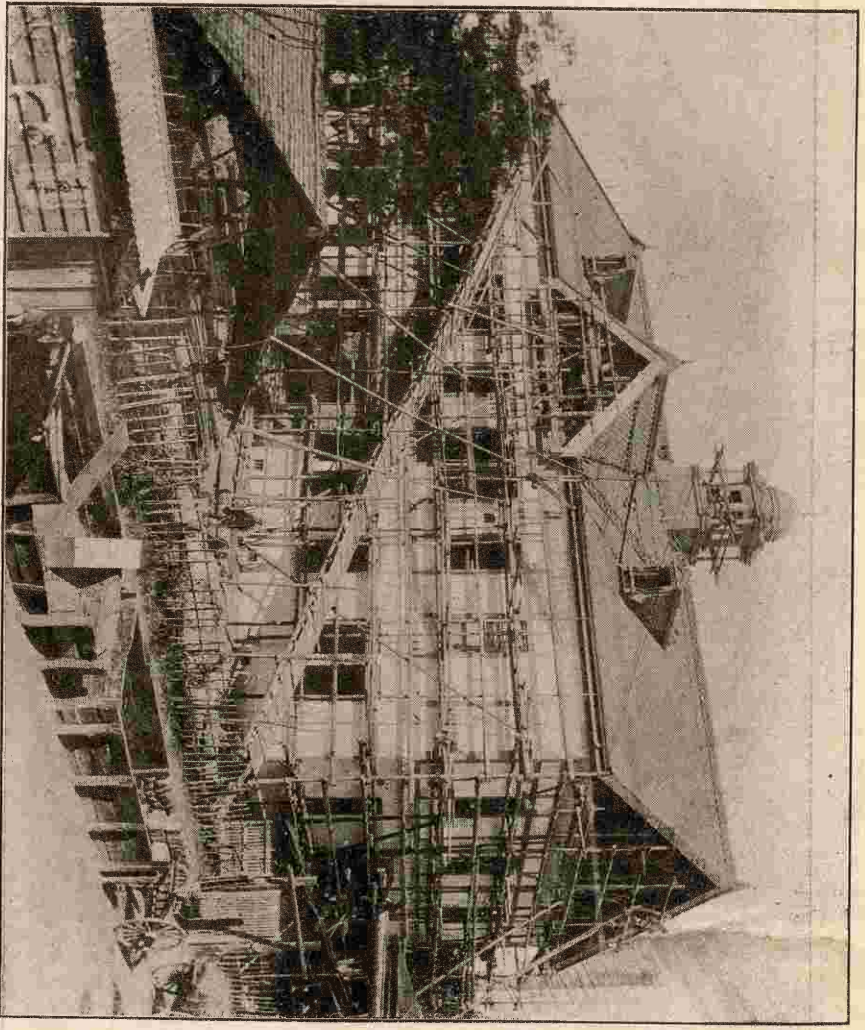
所 在高崎市常盤町五六

創 立明治三十六年六月

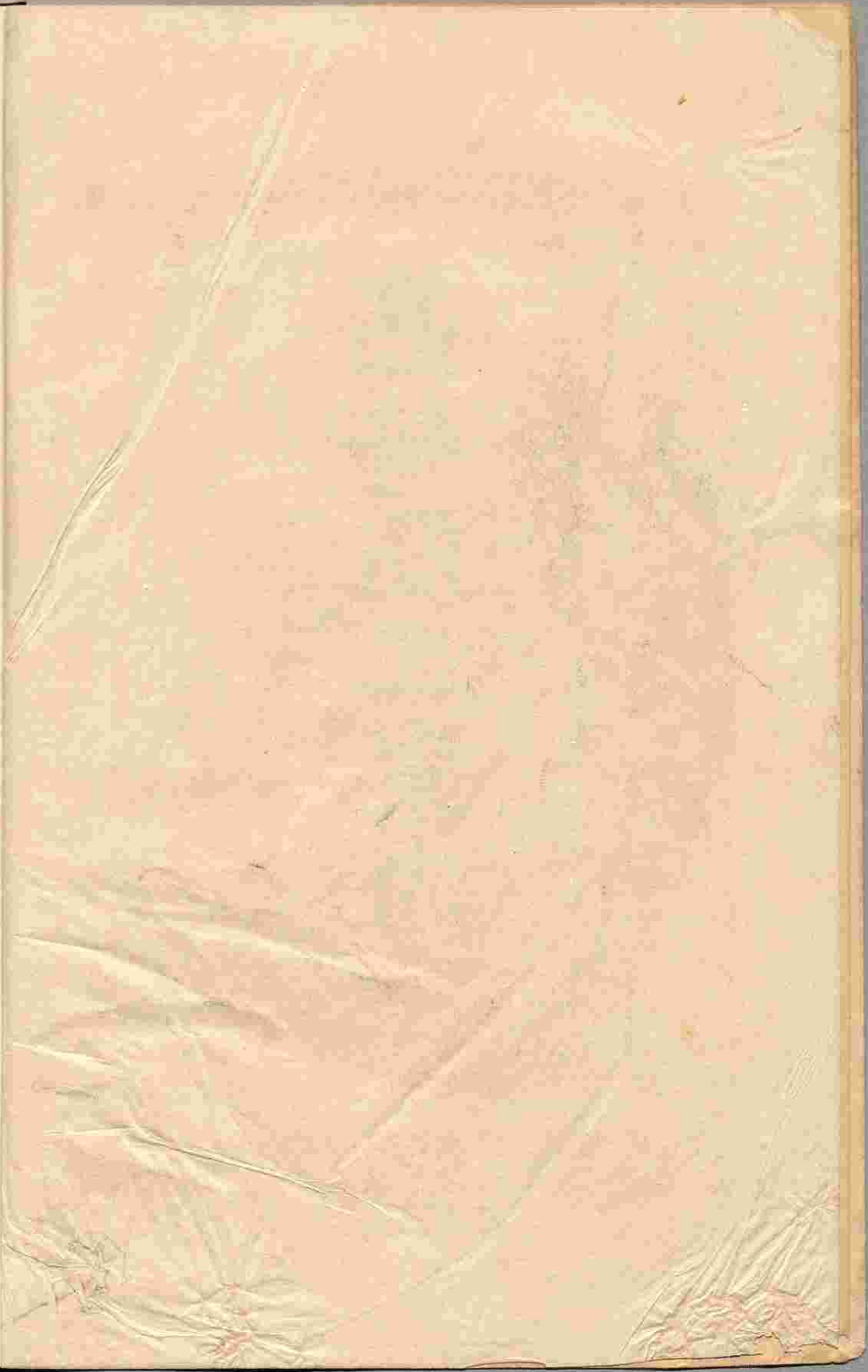
高崎水力電氣株式會社

◆ 資本金 貳百參拾萬圓
◆ 發電力 貳千四百「キロワット」

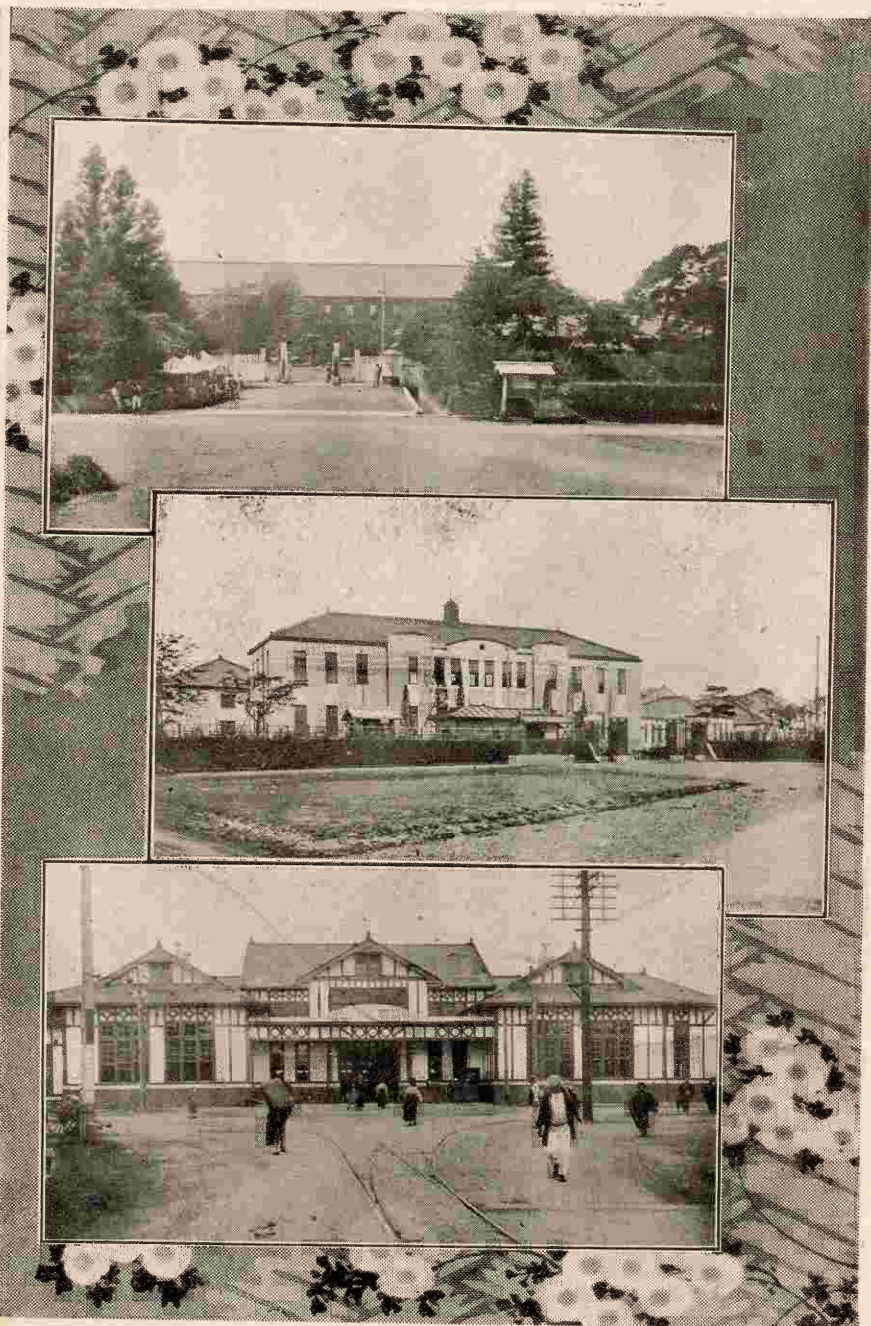
◆ 瓦斯供給 五萬立方呎 (高崎市内供給)
◆ 電燈電力 群馬、埼玉兩縣二供給 (電燈五萬九千燈 電力貳千貳百馬力)
◆ 電鐵事業 伊香保、澁川、高崎間 (貳拾壹哩)
◇ 上野—伊香保間 連絡輸送



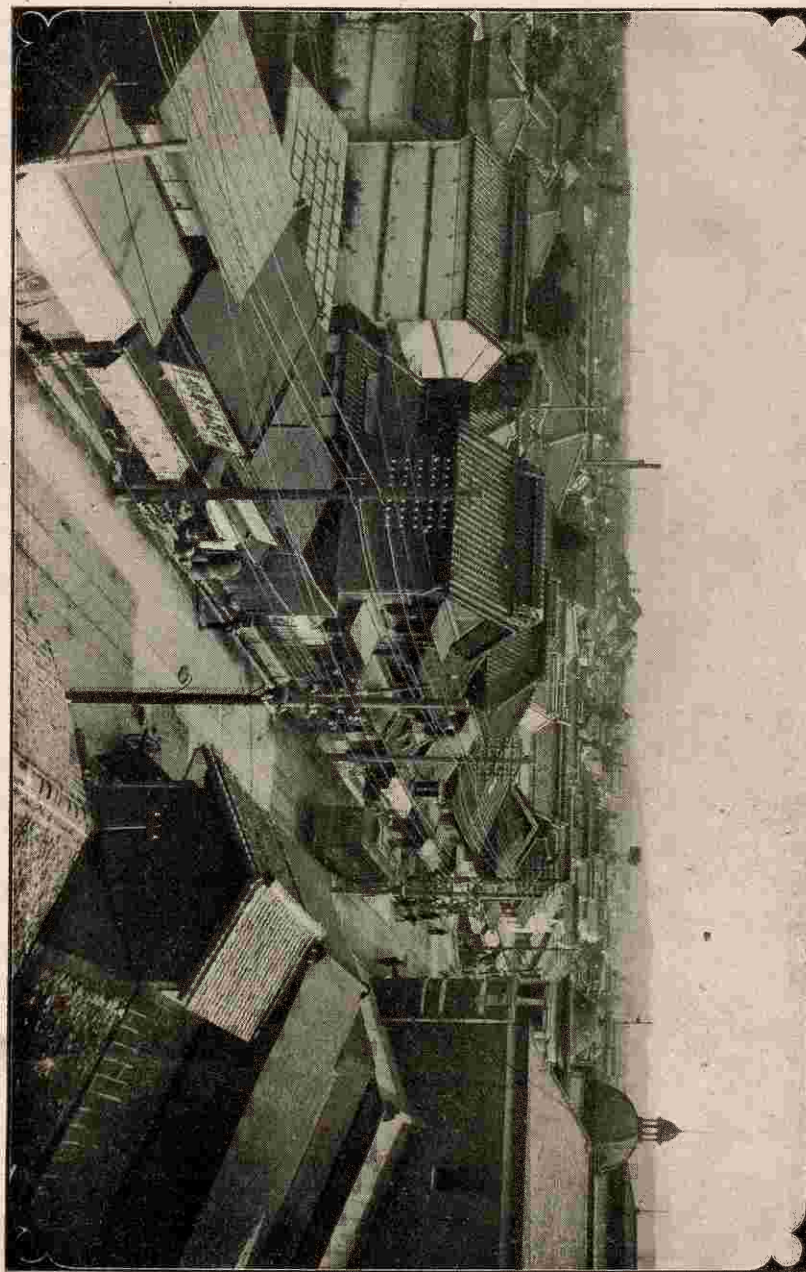
高崎商會議所



高崎市の誇

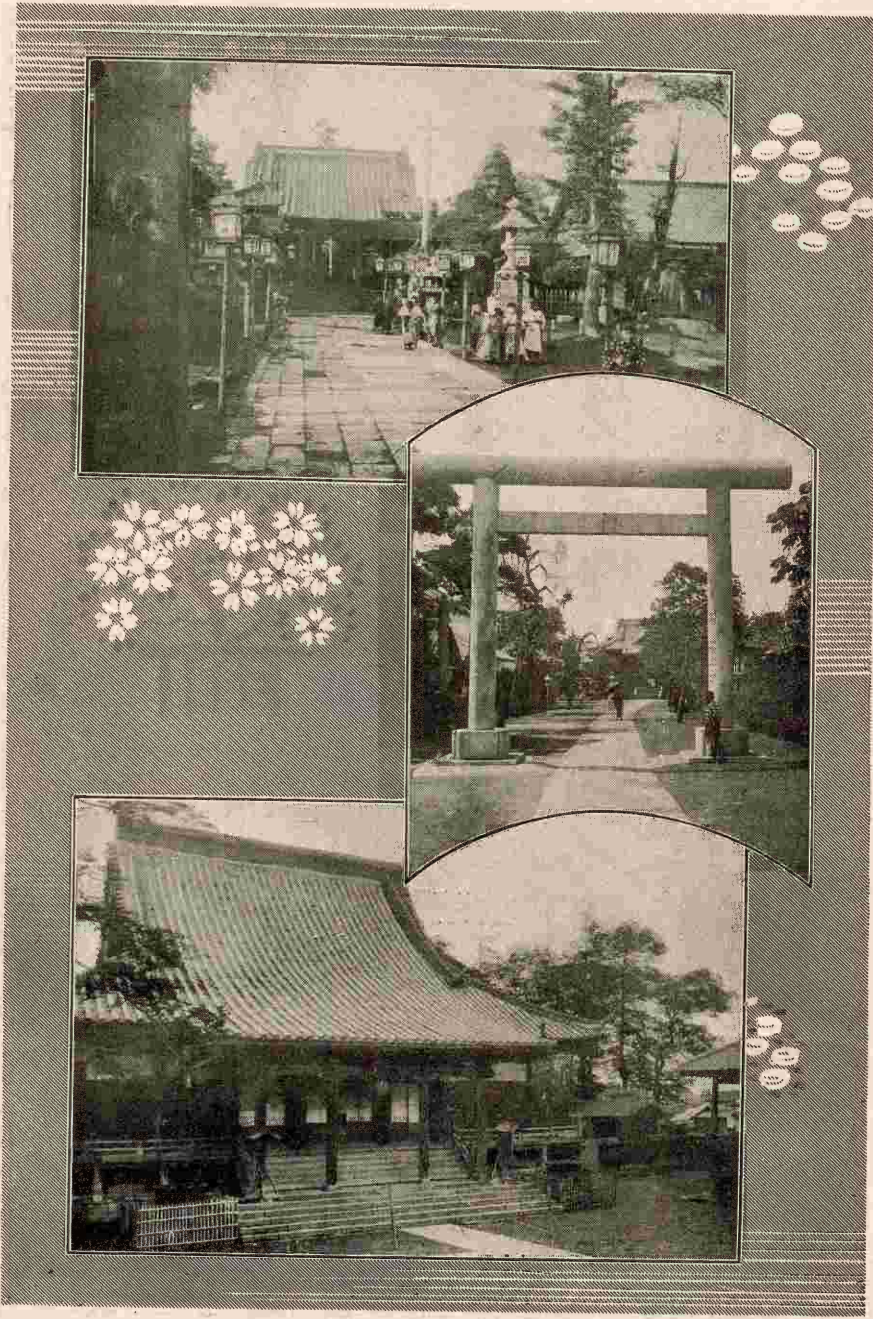


鐵道院高崎驛（段下） 高崎專賣支局（段中） 步兵第五十聯隊（段上）



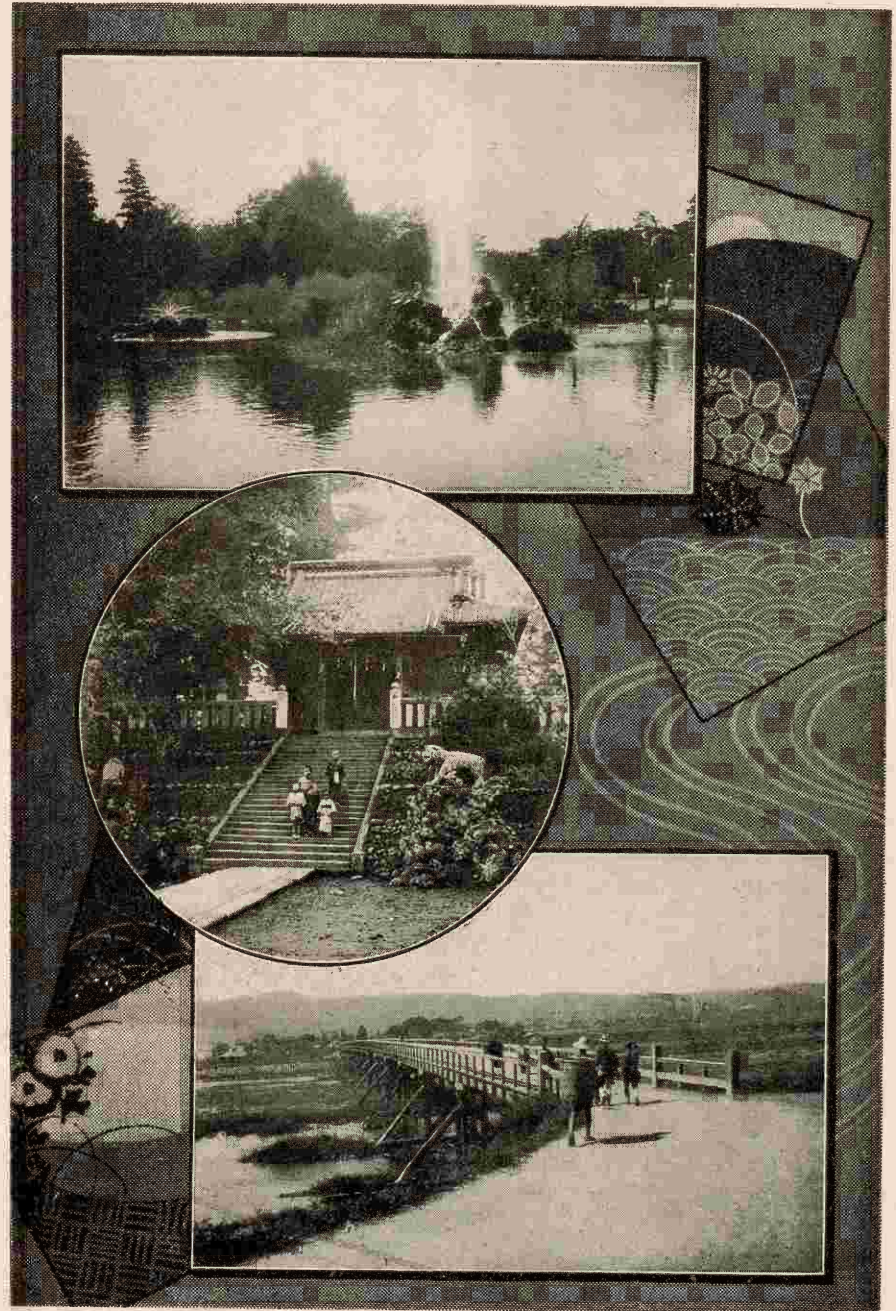
高崎市の街

高崎名勝



大信寺及駿河大納言忠長卿の廟所 (段下) 高崎神社 (段中) 成山山田 (段上)

高崎名勝



高崎公園噴水 (段上) 高崎神社 (段中) 聖石橋 (段下) 山音を望む (段下)

高崎商業會議所役員



長部計統
君平宗澤小



長部財理
君吉昌田山



長部務庶
君平吉澤相



長記書
君郎篤平松



長部計會
君郎一新水清

高崎商業會議所役員



頭會副
君郎次政山蟻



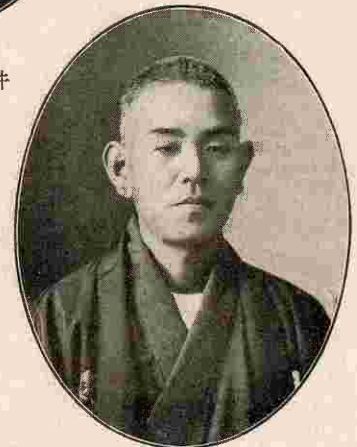
頭會
君平彌嶋小



長部業工
君郎三保上井



長部業商
君郎次梅井吉



長部輸運
君平喜松友

高崎商業會議所議員



川村富藏君



中嶋慶藏君



清水久太郎君



寺永四郎君

高崎商業會議所議員



白柳吉君



渡邊與喜松君



木暮彌平君



岸啓三郎君

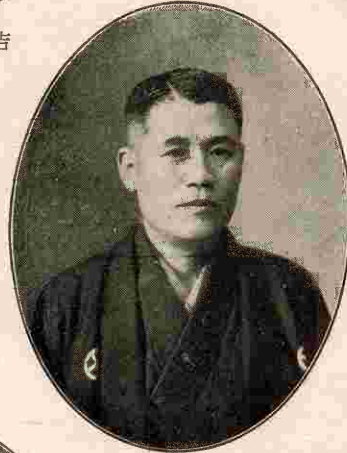
高崎商業會議所議員



吉村平七君



栗本信作君



岩田政次郎君



小橋板彦治郎君



熊井常三郎君

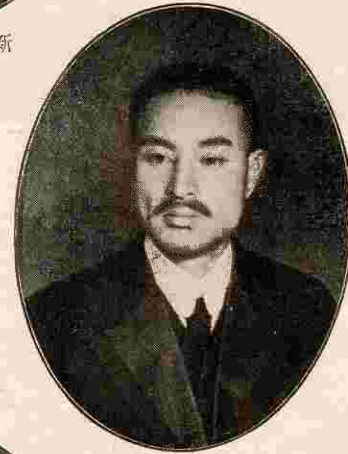
高崎商業會議所議員



新井清兵衛君



秋山萬吉君



櫻井忠三郎君



岸龜吉君



小澤吉平君

高崎商業會議所議員



櫻井仙次郎君



住谷常次郎君



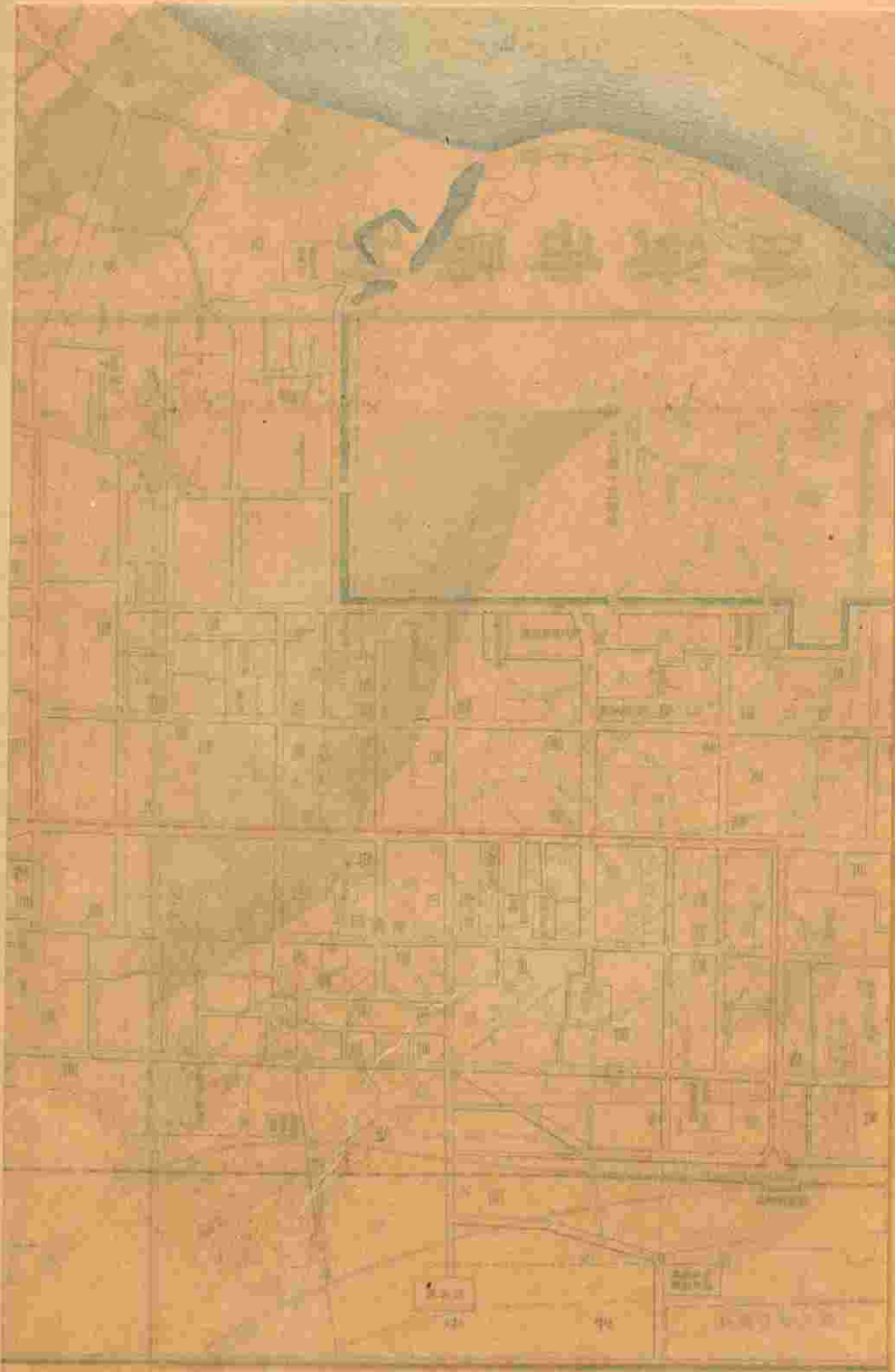
大谷金之助君



特別議員
坂口直馬君



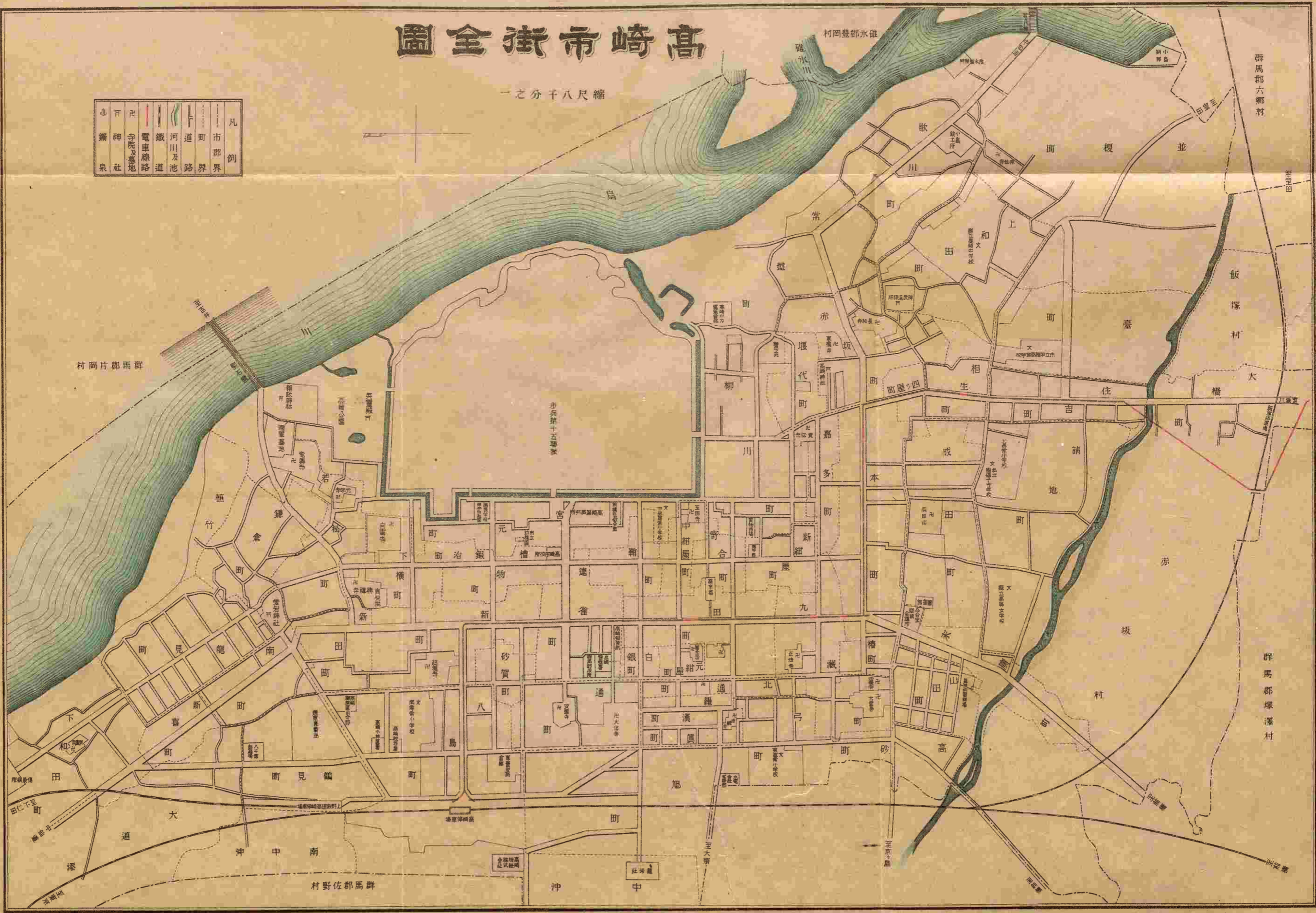
特別議員
內田信保君



高崎市街全圖

縮尺八千分之一

凡例	市郡界	道	河川及池	鐵道	電車線	寺院及墓地	心
----	-----	---	------	----	-----	-------	---



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

發刊之辭

本會議所嘗て高崎商工業案内を發行せしも、既に年を経ること八箇年、其間本市は長足の發展をなし、産業の狀態亦大に其觀を異にす。是に於て本所は這次、最近の材料に依りて、市の産業に關する事項を蒐輯し、附するに商工人名錄統計を以てし、之を刊行して廣く中外に頒布せんとす。素より紙數に限りあり、簡を得、要を摘むを以て目的とすれば、強ひて省略せし點も尠なからずとす。今や歐洲の大亂に際し、各國供給激減の機に乗じ本邦よりの輸出は未曾有の額に達し、一般經濟界は黃金時代を現出せんとする秋なり。然れども之を戰局後に持續し、更に起るべき商戰に於ける、確固たる要塞を斯の機會に築造せずんば、他日臍を噬むも、亦及ばざるべし。本所が商工業者の爲めに、此の紹介機關たる本書を發行する、蓋し機宜の處置たるべしと信ず。加之本會議所は創立



以來、今や滿二十二年餘に達し、四半世紀を經過したれば、永く之を記念せんがため、茲に本年開催の第十二回關東商業會議所聯合會を好機とし、本書の發刊を企てたり。書中載する所、素より完璧を期すと雖も草卒の編纂、なほ遺漏なきを保せず、希くは讀者諸子之を諒せられんことを、尙ほ本書記事に就ては、坂口高崎市立甲種商業學校長及飯島國民新聞高崎支局主任の起稿多く。卷頭挿む所の市街地圖に就ては、内田高崎市長の好意に依り、小島技師の製圖を煩はし。其他の記事に就ても亦山田茂木銀行高崎支店長始め各方面より重要な材料を供給せられ本書編纂を翼賛せられしは、著者の特に謝意を表する所なり。

大正六年十月三十一日

編者識

凡例

- 一、本書中、「高崎市の沿革」以下に載する事項は、勉めて最近の調査に依り、大正六年度上半期の統計に準據せり。
- 一、本書中の商工人名録は、大正六年營業稅査定額に依り、本市内に營業所を有し本所選舉權を有する者（納稅額貳拾圓以上）を基礎として編纂し、他地方に本店を有する銀行會社の支店出張所等は、大正五年の營業稅額を基礎として編纂せり。
- 一、本書に掲げし商號は、特に各營業主に就き調査し、電話番号は、主として高崎郵便局發行各月通信及び電話帳に依りて調査したるものなり。
- 一、商工人名録は、營業別「いろは」順に排列記載し、讀者の便宜を計りたり。
- 一、旅館、料理店は、大正六年營業稅査定額順次に掲載せり。
- 一、本書附録に掲げし、統計の標準を土地、戸口、租稅、金融、商業、倉庫、商事會社、工業、交通、雜、の拾部に分ち、曆年（大正五年一月より十二月まで）若くは會計年度（大正五年四月より大正六年三月に至る）に依り調査掲載せり。
- 一、末尾に稅率提要、本邦外國貨幣及度量衡比較表は讀者の參考として掲載せり。

商業會議所事務權限

商業會議所法ニ於テ定メラレタル本會議所ノ事務權限左ノ如シ

- 一 商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スルコト
- 二 商工業ニ關スル法則ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ及商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示スルコト
- 三 商工業ニ關スル事項ニ關シ行政廳ノ諮問ニ應スルコト
- 四 商工業ノ狀況及統計ヲ調査發表スルコト
- 五 商工業者ノ委囑ニヨリ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ商品ノ產地價格ヲ證明スルコト
- 六 官廳ノ命ニ因リ商工業ニ關スル鑑定人又ハ參考人ヲ推薦スルコト
- 七 關係人ノ請求ニ因リ商工業ニ關スル紛議ヲ仲裁スルコト
- 八 農商務大臣ノ認可ヲ受ケ商工業ニ關スル營造物ヲ設立シ又ハ管理シ其他商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル施設ヲナスコト

以上當所ハ商工業者ノ意思ヲ發表スル機關タルト共ニ商工業ノ改良發達ヲ圖ルヘキ唯一ノ實業機關タリ當所ハ事務權限ノ許ス限リ商工業上ノ便益ヲ圖ルヘキモ當業者モ亦充分此機關ヲ利用セラレン事ヲ望ム

一 實業家諸君ニシテ商業ノ進歩發達ヲ促スヘキ事項或ハ其發達ヲ阻害スヘキ事實アラハ法律命令其他ニ關スル者ニシテ當所ニ係ル者ハ如何ナル事柄ナリトモ之ニ對スル御意見呈出アラン事ヲ望ム

一 實業家諸君ニシテ商工業ニ關シ獎勵スヘキ事項又ハ施設スヘキ事ヲ御認メノ節ハ必ス御報告アラシテ事ヲ望ム

一 會員諸君ニシテ商工業ニ關スル事項ニ付他地方ヘ本會議所ノ紹介又ハ照會ヲ要セラル、向ハ遠慮ナク申出テラレタシ其他商工業上ニ付テハ本會議所ノ及フ限リ諸君ノ便宜ヲ計ルヘシ

一 實業家諸君時々來所セラレテ商工業上ニ付高見ヲ演ヘラレン事ハ本會議所ハ最モ希望スル所ナリ

一 商工業ニ關シ本會議所ヨリ各種ノ調査ヲ委囑シタルトキハ充分ノ便宜ヲ與ヘラレ本會議所ニ於テ正確ナル調査其他材料等得ラル、様御盡力アランコトヲ切望ス

一 議員中旅行ノ節ハ成ルヘク當所ヘ御通知相成タシ

一 本會議所ニハ官報、通商公報、商標公報、特許公報、實用新案公報、山林公報及各地商業會議所發行書類ノ備付アリ執務時間中何時ニテモ御來所閱覽アランコトヲ望ム

高崎商工案内目次

□總 說

- 一、沿革……………一頁
- 二、地 勢……………三
- 三、地 籍……………四
- 四、氣 象……………四
- 五、町名と戸口……………五

□事 業 界

- 一、交通及運輸……………七
 - 國道—縣道—鐵道—上野鐵道—電氣鐵道—軌道
 - 馬車—陸上運輸機關—水上運輸—通信の狀況
- 二、商 業……………一〇
 - 商勢—商業會議所—市場—組合
- 三、工 業……………一八
 - 主なる工產品—高崎絹—生絲—漆器—下駄表—
 - 木製品—麻真田—板紙—鐵工器—鑄物—工場

四、銀 行……………二四

高崎積善銀行—高崎銀行—上毛貯藏銀行—第二銀行支店—茂木銀行支店—明治商業銀行支店

五、會 社……………三三

附主なる事業……………三三

高盛座—上野鐵道株式會社—高崎倉庫株式會社
 高崎水力電氣株式會社—高崎新聞雜誌株式會社
 高崎病院—惣社水力電氣株式會社—高崎常設家畜市場—高崎電氣館—高崎板紙株式會社—高崎製材株式會社—高崎繭絲市場—龍樂社—信永運輸株式會社—烏川水力電氣株式會社—里見軌道株式會社—內國通運株式會社支店—群馬製材株式會社—群馬紡績株式會社—高崎海陸物產株式會社—高崎信用組合—碓氷社高崎支部—碓氷社上和田組—茂木製絲所昇明社製絲場—相澤製絲場—淺香製絲所—小島鐵工所

六、農 業……………四八

七、市 政……………四九

附官公署……………四九

高崎市役所—高崎稅務署—高崎專賣支局—高崎小林區署—高崎警察署—高崎區裁判所—高崎土木管區—高崎郵便局—群馬郡役所—其他

八、教 育……………五四

縣立高崎中學校—縣立高崎高等女學校—市立甲種商業學校—市立小學校—私立諸學校—徒弟夜學校—幼稚園—圖書館

九、新聞雜誌

上野新聞—民聲新聞—坂東新聞.....五九

一〇、軍事

帝國在郷軍人會高崎支部—同上高崎市分會—高崎尚武會—步兵第十五聯隊—高崎聯隊區司令部—高崎憲兵分隊—高崎衛戍病院.....六〇

□ 雜 纂

一、水道

.....六四

二、衛生と警備

病院—醫師其他—消防—警察.....六四

三、宗教及慈惠

神社と神職—寺院と僧侶—教會—高崎育兒院.....六五

四、公會堂

.....六六

五、團 體

同氣茶話會—高崎市教育會—高崎市醫師會.....六七

六、娛 樂

劇場—寄席—活動寫眞—花柳界.....六八

七、舊跡と名勝

高崎城趾—高崎公園—英靈殿—賴政神社—高崎神社—駿河大納言の墓—神武天皇遙拜所—神武の鎮泉—聖石—和田の三石—君が代橋—佐野の渡—箕輪城趾—寺尾城趾—清水觀音—山名八幡宮—小林山邊摩寺—小祝神社—八幡八幡宮.....六九

□ 商工人名錄

.....七五

附 錄

□ 高崎市統計

一、土 地

民有地—民有地時價.....一〇三

一、戶 口

戶數增減表—人口增減表.....一〇四

一、租 稅

租稅負擔額—國稅負擔內譯額—縣稅負擔內譯額—市稅負擔內譯額—營業稅賦課標準及稅額.....一〇五

一、金 融

高崎各銀行營業狀況—金錢出納—諸預金—諸貸付金—割引手形—荷付爲替手形—送金爲替手形—代金取立手形—金利表—郵便爲替取組及貯金高.....一一〇

一、商 業

高崎市物價.....一二七

一、倉 庫

高崎倉庫株式會社貨物出入表.....一二二

一、商事會社

銀行—株式會社—合資會社—合名會社.....一二八

一、工 業

工場—高崎生絹太織生産額並價格表—大正五上半期生絹太織價格表—大正五下半期生絹太織價格表—確氷社出荷數量並價格表—同社機械製絲出荷數量並價格表—甘樂社製絲出荷數量並價格表—同社機械製絲出荷數量並價格表—高崎市各種勞務賃金.....一三二

一、交 通

郵便事項—電話加入者數及使用比較表—高崎區內電話度數料金表—高崎市外電話度數及時數料金表—高崎停車場降客數及賃金表—同手荷物小荷物表—同貨物發送表—同貨物到着表—同貨物發着表—飯塚停車場降客數及賃金表—同手荷物小荷物表—同貨物發送表—同貨物到着表—同貨物發着表—高崎伊香保間電氣軌道乘客及賃金表—高崎下仁田間輕便鐵道乘客人員及貨物噸數賃金表—諸車表.....一四一

一、雜

市場—高崎市電燈電力表—高崎市瓦斯使用表—屠畜頭數表—宿泊人員表—市内職業別表—煙草元賣捌高表—官廳元賣捌高表.....一五三

一、稅率提要

營業稅—所得稅—印紙稅—國稅納稅期月別一覽表—相續稅—內國郵便規則—內國郵便爲替—內國電信—鐵道客車便小荷物運賃表—鐵道荷物代金引換—本邦外國貨幣及度量衡比較表.....一五九

高崎市役所



沿革

高崎商工業案内

總説

〔一〕沿革

高崎市は往昔赤坂莊と稱し、微々たる一小部落に過ぎざりしが、鎌倉時代に至り漸やく重要なる地位を占むるに至れり。斯くて順徳天皇の建曆二年、和田義盛鎌倉に北條氏と戦ひ、利あらずして屍を戰場に晒すや、義盛の八男義國、脱れて當國に來り群馬郡白井郷に潛み居たるが、後堀河天皇の寛喜二年、始めて此の地に移り住み、其子正信企畫する所尠ならず、大に郷民の信頼を受け、和田氏の企業爰に定まり、孫信高に至りて赤坂莊を和田宿と改む。義信此處に城を築いてより爾來引續いて繁榮し、正長元年に至りて上杉管領の麾下に參せしが、次で

商工人名録索引

菓子種商	八〇	藥種商	八五	雜貨商	九二
玩具商	八〇	繭絲商	八六	生絹太織販賣仲買業	九三
形付業	八〇	太物商	八六	生絲商	九三
壁材料商	八〇	袋物商	八六	牛豚肉商	九三
金貨業	八〇	古着物商	八六	牛乳搾取業	九三
家具商	八一	古物商	八六	味噌醬油醸造	九三
洋物商	八一	吳服太物商	八七	質商	九三
洋服裁縫業	八一	小間物商	八八	自轉車業	九四
足袋商	八二	古物商	八八	漆器商	九五
煙草元賣捌	八二	麵物商	八八	鹽魚商	九五
染絹商	八二	鐵物商	八八	書籍商	九五
染物業	八三	鐵工業	八八	鐵砲火藥商	九五
素麵製造業	八三	荒物商	八九	肥料商	九五
麥蕎商	八三	青物商	九〇	醬油味噌製造	九六
漬物商	八三	飴商	九〇	石油商	九六
魚類商	八四	油蠟燭商	九〇	製絲業	九六
請負業	八四	酒類醸造	九〇	石炭商	九六
運送業	八五	酒類商	九〇	精米業	九六
鞞柄業	八五	砂糖商	九一	銀行、會社	九七
靴製造	八五	材木商	九二	所得稅ニ依ル	九七
				旅人ノ重役	九八
				料理店	一〇〇
					一〇一

右兵衛太夫信景に至り武田氏に歸し、其子信業更に北條氏政に従ひしが、天正十八年小田原城陥ると共に滅亡に歸したり、義國此處に居を卜してより滅亡に至るまで其間三百六十一年の久しきに涉れり。

其年八月、徳川家康關東を平定して江戸城に入るに及び、臣井伊直政をして當國箕輪城主として來らしめ、慶長三年中仙道開かるゝや、幕府此の地を重視して特に直政をして之を守らしむ。

直政茲に新城を築き、入つて町割を定め地名を「松ヶ崎」と改稱せんとし、之を一僧に諮れるに

『諸木に榮枯あり、事物に限りあるは珍しからず、公既に命を奉じて城を築く、所謂盛事大名なり、宜しく成功高大の義を採りて高崎と名けんか』と

直政依つて以て高崎と改稱せり、現今歩兵第十五聯隊となりて存在せる城地は直政が始めて築けるものにして、時に溝渠完成市街井然たり。

慶長九年酒井家次、井伊氏に代つて入城し新たに九藏町田町を曲尺手に啓き、區劃を變更し、其後松平康長、松平信吉、安藤重信、大河内輝貞、間部詮房等相亞いて交迭城主となり、享保二年大河内氏再び入城してより、十二代を繼承し、輝照の代に至つて明治維新となり版籍を奉還せり。

明治四年廢藩置縣行はるゝや高崎縣と稱したるも、十一月更に群馬縣を於かれ其の所在地と指定せらる、翌五年大小區公布かるゝや第五大区に屬し四小区に分割し、十二年郡制の布かるゝに及んで西群馬郡に編入せられ高崎驛と稱し、十六年四十三ヶ町に分割せられ各戸長役場を置きしが、明治二十二年自

治制施行と共に高崎町と改稱一町役場となり、其後逐年膨張發達し、遂に明治三十三年四月に至り市制を實施し、群馬郡より獨立し、爾來市街の整頓街衢の擴張、水道の布設其他百般の施設革まり面目を一新して今に至れり。

〔三〕 地 勢

高崎市は群馬縣の略々中央にありて、鐵路東京を距る六十三哩、關東平野の西北部を緩く流るゝ烏川に臨み、西北の一端烏、碓氷の兩川を隔て、僅かに碓氷郡に接するの外、他は殆んど群馬郡に圍繞せられ、東西一里南北一里二十丁に亘る平坦の地にして、約百三十四萬九千四百十五坪の地積を有するの都市とす。

高崎市、北より西にかけて赤城、榛名、妙義等所謂上毛三山に對し、遙かに淺間の噴煙、白根の嶺雪を遠望し、下に烏川を控へて古來水陸に便なる地、舊幕時代に在りては、大利根の水を経て江戸と連絡せる水運を利用し、陸路遙かに運び來る甲信北越の貨物を承けて、之を總武地方に通じ、以て商業上の鎖鑰を把握せるのみならず、陸には幕府の公道たる中仙道、三國街道の分岐點に當れる爲め、慶長三年井伊氏入城してより城主を換ふる事數回に及びしにも拘らず、自ら遠近より集まり來る商家は軒を連ね、漸次井然たる市街を形成し、元和以降二百年餘の間常に關東に商業上の覇をなし、

『お江戸見たけりや高崎田町』

『上州なれども高崎はお江戸』

と俗謡子に唄はるゝ程なりしが、其後烏川の河心埋れて水浅く水運の便を失ひ、又時勢の推移に伴ひて、一時昔日の盛觀を損せしが、明治昭代となり日本鐵道會社の手に依つて鐵路東京との連絡啓かれてより約三十年、今や高崎を中心とせる鐵路は四通發達し、晝夜車轍の響を絶たず、百貨の集散夥しく、現今上毛に於ける商工業の中心地とはなれり。

【三】地籍

高崎市は地球上東經百三十九度十七秒、北緯三十六度十九分四十三秒にありて、東西一里南北一里二十丁、面積〇・二九方里を有し、最近の調査に係る地目及反別は有租地二百八十四町九反九步、免租地二十六町五反九畝二步官有地百三十九町九反七畝一步(兵營を除く)なり。

【四】氣象

高崎市の氣候は四時概ね溫和にして、氣壓平均七百五十耗内外にあり、氣温は冬季平均四度を超え、夏季平均は二十五度なり、晚秋十一月中旬より翌年三月上旬に至る間は所謂上州名物の「空つ風」吹き

荒み、勢烈しく、最も強き時は秒速三十米突に近からんとし、行人を苦しむる事往々なるも、風の爲に害を被るが如きは極めて稀なり、而して初雪は概ね十二月中旬、終雪は三月中旬なるも其の量多からず降り積るも歩行の困難を感ずるが如き事は殆どなく、雨量は平均一ヶ年一千耗内外なり。

【五】町名と戸口

最近高崎市に於ける戸數人口の増殖は實に著るしきものあり、明治三十三年市制施行當時に於ては僅僅戸數五千九百二十四、人口三萬三千二百六十五に過ぎざりしが、其後漸次に膨張し來りて今や戸數七千三百七十五、人口四萬一千八百四名を算するに至れり、而して各町村別戸數人口を擧ぐれば左の如くなり。

町村別	戸數	人口	町村別	戸數	人口	町村別	戸數	人口
本町	三三八	二二〇〇	嘉多町	九二	五八三	堰代町	八三	四三八
赤坂町	二三七	一〇三六	常盤町	一三二	八八三	歌川町	一〇六	六四〇
並榎町	二〇四	一二二四	上和田町	二四	一五〇	四ッ屋町	七一	三六〇
相生町	一〇二	六七四	住吉町	一八二	一〇一八	譜地町	一三	一〇二
臺町	一六	七九	大橋町	一一八	九八八	九藏町	二〇二	一三九九
高砂町	一一一	六九五	山田町	一二七	七七七	椿町	六七	四五二

町名と戸口

末廣町	一五七	九五六	成田町	二一四	八八四	柳川町	三五二	一九〇七
寄合町	一〇七	五八六	新紺屋町	一〇〇	六五三	羅漢町	一六七	九九七
眞町	八九	五四三	弓町	一三一	七三〇	新町	三四〇	二一四二
北通町	一七三	一〇一九	田町	二四六	一四三三	白銀町	四六	二四七
元紺屋町	五三	三四〇	中紺屋町	五九	三八〇	鞆町	一一五	六五八
宮元町	一九五	一二六八	連雀町	一五六	九四〇	通町	二四四	一一三六
砂賀町	九八	四九七	旭町	二三一	一二九九	八島町	二三五	一一三五
鶴見町	四八	二七〇	檜物町	一二〇	七五五	鍛冶町	六二	三八八
下横町	一一七	六三三	若松町	二九九	一四〇二	新田町	一九一	九五二
南町	一八七	一一九〇	新喜町	一〇一	五〇九	下和田町	一〇五	五〇九
龍見町	一七五	九八二	鎌倉町	一四〇	七六五	赤坂村	三八	九九
飯塚村	八	四四						

事業界

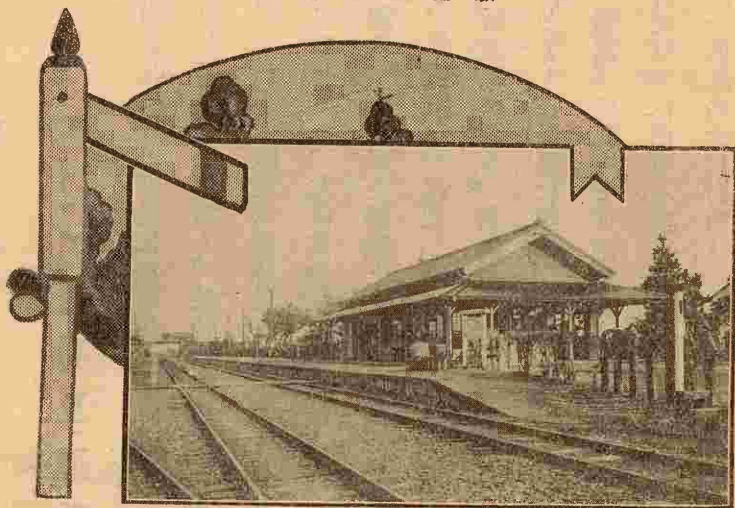
【一】交通及運輸

關東北に於て交通便なる地を擧げんか、高崎市を以て第一指に屈せざる可らず、我が高崎市は實に交通上天與の好地形たり、往昔水陸運搬の便に富み、自ら交通の中心點となりたり、近時水運の便を缺くに至りしも、陸運の發達は能く其缺を補ひて、尙ほ舊時の地位を維持するのみならず、益々發展の勢を呈するを見る、左に其の概要を掲げんか。

國道 は東京を起點とせる中仙道、市の東南端下和田町より入りて市街の中堅を縦貫し、本町に左折し、常盤町を右に屈し君ヶ代橋より碓氷郡に入り、長野縣を越えて遙かに京阪に通じ、北に利根縣を経て新潟縣に至る、新潟道(舊三國街道)は、本町を起點として發し、澁川の北鯉澤より長野街道を分岐し吾妻より長野縣に至る、市中を通ずるもの兩道を合して延長一里八町三十七間に及べり。

縣道 に在りては追分街道は前橋より來りて本町に丁字路を成し中仙道に合し、新田町より西に岐れ富岡町下仁田町を経て長野縣に通じ、群馬郡室田町に達する高崎室田道の發足地たるの外、中仙道を東に一里餘の倉賀野町よりは日光に通ずる例幣使街道を分岐し、其間無數の里道は縱横に蜘蛛の網を張るたる如く、各地との連繫を便ならしめつゝあり。

鐵道院飯塚驛



鐵道 は現時の商工業一として之に依らざるなく、其の開否は直ちに其地の振否に影響す可く、我が高崎市の地形たるや自ら此地に鐵路を導き集めたり、即ち東、東京に通ずる高崎線は日本鐵道會社の手に依り早くより完成し、國有となるに及んで一層設備草り、西北は信越線に依り長野、新潟、富山各縣に通じ、中央西線に依り名古屋を経て京阪に達するの便あるのみならず、南信及山梨縣に至る篠の井線は信越線に依りて連絡し、兩毛線は前橋、伊勢崎、桐生、足利を経て小山より東北線に合し、伊勢崎より東武線を、桐生より足尾線を分岐して益々時間の節約をなさしめたり、加之巢鴨に工を起し既に一部開通の運びとなれる東上鐵道は高崎に到達するの計畫なりと聞く、若し之が完成の曉には將來の利便豫測するに難からず、斯くて現在院線高崎驛に於ける汽車發着は客車のみを以てするも平日六十六列車に及び各地との連絡に資し、最近一ヶ年間、旅客は乗車數

四十二萬八千七百六十七人、降車數四十二萬三千三十六人、貨物は發送三萬二千六百二十七噸、到着十一萬三千二百二十一噸を算するの外、市内飯塚驛より發着する乗客貨物亦尠なからざるの數量に達せり。院線高崎驛に近く軌道を發せる

上野鐵道 は之亦一日十數回の列車發着し、多野郡の一部吉井町方面及北甘樂全部及長野縣に通ずるの運輸に資し、高崎水力電氣會社の

電氣鐵道 は毎日午前五時前後より四十分毎に發車し市街を縦貫し、遠く澁川を経て伊香保温泉に通じ、其間二十分毎に市内電車を運轉して市内の交通を敏活ならしめ、電車澁川停留場より發し、連絡發車せる利根、吾妻兩會社の

軌道馬車 は近く各輕便電車に變更せられんとし、利根郡内湯宿其他の温泉、吾妻郡内の草津、四萬、川原湯、澤渡其他の温泉地に達するを得、別に高崎、室田間の定時乗合馬車は榛名登山、高崎水電水源地等の往復に便し、高崎安中間、高崎倉賀野玉村町間等の乗合馬車は近郷旅客に便しつゝあり、而して其他**陸上運輸機關** としては四十五輛の荷馬車、一千七百三十二輛の荷車、百一十一輛の人力車、一千四百二十六輛の自轉車等ありて益々利便なり、斯く陸に四通八達せる交通機關備はれるの外、市の西南端を流れ利根川を経て東京及千葉茨城方面の

水上運輸 に多大の便を與へたる烏川は、近時水淺くして舟行の便漸次に頽れたりと雖も、市の有志

者間には當局者と協力して、河身の浚渫を行ひ舟行の便を復活し日時を要するも支障なき貨物の運搬は之に依らしめんとするの意見を有する者尠なからざれば、早晚之が實行を見るの機なしとせず、翻つて

通信の状況 を觀るに、高崎郵便局は二等局に過ぎざるも、交通の便に伴ひ縣下通信の中心として、市内三ヶ所の三等局と相俟つて公衆を利し、電信は市外と通ずるもの十三回線、電話は市外十八線三座の交換機に依り縣下は勿論、埼玉、栃木、長野各縣、東京、横濱等合計八十七局と通話し得、市内に架設せられたる五百二個の電話機と相俟て通信上設備の遺憾なきを見る。

【二】 商業

商業の盛否は主として地利的關係に依るや瞭かにして、古來交通上の鎖鑰を把捉せる我が高崎市の商業は、實に之あるが爲め大なる殷賑を見るに至れり。

舊時我が高崎は、水に、陸に、一として交通に可ならざるはなく、天惠の地の利に依つて、信越の物産たる米穀を此處に集中し、一面信州地方に於て日常消費せらるゝ食鹽を江戸に仰ぎ、中繼送達するを以て大多數の商取引をなし、且近接せる村落に於て主として農閑に際して製出せらるゝ生絹太織類を本市場に集め「高崎絹」の銘を打ち江戸を中心とせる關東北、京阪を中心とせる關西及北陸地方に供給し、製絲事業の勃興に伴ひ生絲は濱表に出し、又は羽二重原料として移出し來りしが、社會の進運は、鐵道の開通と共に商業界に一の大革命を來し、從來所謂「問屋」と稱せられたる高崎商賈は其の間に處するに不利なる事尠ならず、昨今に至りては市中有力者間には「商業の高崎」より轉じて、「工業を主體としての商業」に市是を確立せんと云爲するあるに至れり、然りと雖も尙縣下に於ては依然として商業の中心點たる實を失はず、生絲、織物、米穀、肥料、石油、酒類、木材、其他商品の集散頻繁なるの盛況は舊時に於て夢想だにも及ばざりし所にして、最近一ヶ年間高崎市對内外出入の金高は三億を超え、電信、電話、郵便、爲替等の受發數竝に其の金額の多き縣下第一位に在るは統計の明示する所なり、斯く商業取引の倍々進展しつゝある所以のものは、一に地の利に依ると雖も、一は商家各個の自覺せる行動に依らずんばあらざるなり。

商業會議所 商工業の發展上商業會議所の必要とせらるゝ事は言を須ゆるを要せず、高崎商業會議所は斯くして商工業の機關たるの必要に迫られ、明治二十八年八月二十四日を以て、商業會議所條例の定むる所に則りて創立せられ、三十五年三月商業會議所法の發布せらるゝや更に之に依つて繼續せられ、



高崎郵便局

爾來議員を改選する事十二回、中島伊平氏、福田儀兵衛氏、關根作三郎氏、小林彌七氏、小島彌平氏等相次いで會頭の職に就き、其間年を關する事二十有三年、任務及活動に多少の消長ありと雖も、年を逐うて事務の多きを加へ、現今に至りては一般商工業者が營業發展上の羅針盤として重視し、之を利用する者多きに至れるが、一面農業方面にも亦餘澤を及ぼせる事尠ならず、外間に對しては會議所は常に市の商工業を代表して活躍を試み、以て商工業の機關たるの實を擧ぐるに努力しつゝあり。

而して創立以來今日に至る迄、會議所に於て遂行したる事業の、有形的に外間に現れたるものは甚だ多からずと雖、其の無形に成れるものは一々數ふるに遑あらず、各地博覽會共進會等に際し本市出品物の數少きに比し受賞者の多かりし等は會議所の私かに榮譽とする所なり。

會議所は創立當初より最近に至る迄、田町絹市場樓上に事務所を置きたるも、市の發達と共に事務の多きを加へたる結果、從來の儘に在りては執務上不便を感じる事尠ならず、加ふるに外觀上よりするも對内外機關として餘りに狹隘にして面目を保つに足らざるより新たに工を起して移轉せんと企畫し居たる際、未だ市公會堂のなきを遺憾とし之れが建設の促進を市に圖りたる結果階上を市公會に階下は會議所事務所に將來無償にて充當する事とし彌々市と協同して新築に着手するに至り、茲に其竣成を見るに及んで今回移轉し來れるものにして、聊か本會議所の誇りとする所なり、而して現在の議員及役員書記長は左の如くなり。

議 席	職 業	住 所	電 話	氏 名
壹 番	高崎水力電氣株式 會社專務取締役	九 藏 町	會社 四四二 自宅 五〇六	小 澤 宗 平
貳 番	米 穀 商	相 生 町	一一三	渡 邊 與 喜 松
參 番	魚 類 商	本 町 三	一四三	白 田 柳 吉
四 番	綿 商	相 生 町	二六〇	友 松 喜 平
五 番	質 商	住 吉 町		岸 啓 三 郎
六 番	小 間 物 商	田 町 二	一一二	木 暮 彌 平
七 番	藥 種 商	田 町 一	一一三	相 澤 吉 平
八 番	材 木 商	未 廣 町	四〇三	中 島 慶 藏
九 番	呉服太物商	田 町 三	二二六	川 村 富 藏
拾 番	荒 物 商	赤 坂 町	三四九	寺 田 永 四 郎
拾 壹 番	米穀肥料商	旭 町	一五	清 水 久 太 郎
拾 貳 番	乾 物 商	本 町 三	二五九	秋 山 萬 吉
拾 參 番	紙 商	九 藏 町	二〇八	新 井 清 兵 衛
拾 四 番	染 絹 卸 商	本 町 一	五五	櫻 井 忠 三 郎

商 業

一四

拾五番	吳服太物商	田町四	九	吉井梅次郎
拾六番	染絹卸商	田町二	一三八	小澤吉平
拾七番	荒物商	九藏町	四三	岸龜吉
拾八番	牛乳搾取業	柳川町	二五〇	栗本信作
拾九番	染色業	相生町	二二六	吉村平七
貳拾番	石油商	新田町	一四六	岩田政次郎
貳拾壹番	吳服太物商	田町二	一〇七	熊井常三郎
貳拾貳番	酒造業	歌川町	一五五	蠟山政次郎
貳拾參番	砂糖乾物商	連雀町	二一九	小坂橋彦治郎
貳拾肆番	染絲商	田町二	二五一	住谷常次郎
貳拾伍番	蠟燭商	本町一	一三一	櫻井仙次郎
貳拾陸番	米穀商	歌川町	一一二	清水新一郎
貳拾柒番	高崎倉庫株式會社 社取締役社長	會社旭町 自宅常盤町	會社 一四二 四一六 五三一	山田昌吉
貳拾八番	菓子商	新町	二〇一	大谷金之助
貳拾九番	鐵工業	歌川町	園 一一五 二四七	小嶋彌平

參拾番

請負業

八島町

一四一

井上保三郎

特別壹番

高崎市長

通町

一五七

内田信保

同貳番

高崎市立甲種
商業學校長

宮元町

(學校)二七四

坂口直馬

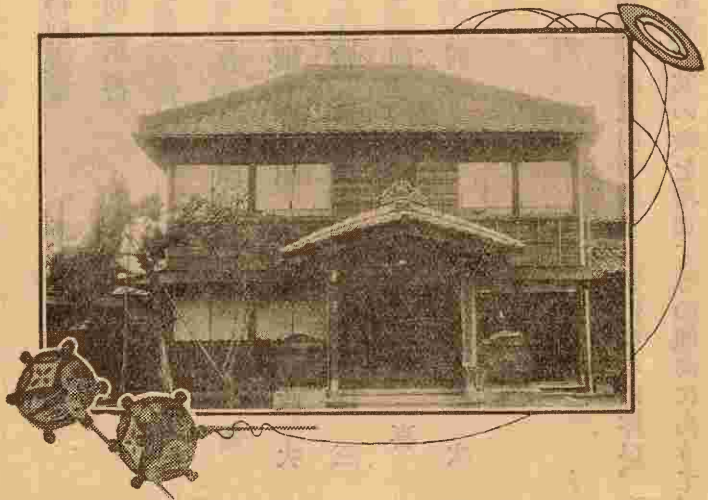
會頭	小嶋彌平	常議員	山田昌吉
副會頭	蠟山政次郎	同	小澤宗平
常議員	井上保三郎	同	相澤吉平
同	友松喜平	同	清水新一郎
同	吉井梅次郎		

書記長

松平篤郎 (鶴見町九番地)

市場 商取引の夥多と繁忙なるに伴ひ、取引市場の要起るは必然の結果なり、本市に於ける各種の市場も漸次其の數を増加するの傾向にありて、現在市場及市日、品名は左の如くなり。

群馬縣生絹大織商組合事務所



市場名	賣買品目	所在地	開市日
絹市	生絹太織	田町	毎月五十の日
絲市	生絲及屑物	本町	毎月三八の日
繭絲市場	生絲及屑物	八島町	毎月三八の日
家畜市場	牛馬豚	鶴見町	毎日
牛馬糶市	牛馬	鶴見町	一定せず
青物市場	青物類	柳川町	自五月每日 至十一月每日
同	同	若松町	同
同	同	赤坂町	同
西の市	雜貨	赤坂町	十二月酉の日

組合 生存競争の激烈なるに従ひ小區劃内の競争を回避し、一致團結して能く氣脈を通ずるにあらざれば、商工の業確固たる地歩を占むる能はざるは當然の結果にして、茲に於てか組合組織の要あり、本市内に於ても各種職業に在る

者、既に概ね組合の組織を見るに至りたるが、其の主なるもの左の如し。

(組合事務所なきものは組合長住所を掲ぐ)

組合名稱	事務所位置	組合長	組合名稱	事務所位置	組合長
生絹大織商同業組合	田町	中島仙助	紙文房具商組合	九藏町	新井清兵衛
上毛酒造組合	歌川町	蠟山政次郎	染業組合	騷代町	吉村平七
米穀肥料商組合	歌川町	清水新一郎	綿商組合	相生町	友松喜平
群馬酒造組合	歌川町	蠟山政次郎	小間物、袋物、玩具組合	新紺屋町	金子織衛
藥種商組合	赤坂町	瀧川喜平	菓子商組合	連雀町	清水濱吉
吳服太物商組合	田町	吉井梅次郎	陶器商組合	田町	勝俣清藏
荒物商組合	田町	住谷喜平	青物商組合	柳川町市場内	秋山萬吉
酒類商組合	九藏町	酒井金次郎	油商組合	本町	小林新吉
砂糖商組合	本町	小林彌七	魚商組合	本町	臼田柳吉
金物商組合	本町	小保方元吉	洋物商組合	九藏町	松島新七郎
材木商組合	住吉町	小林榮三郎	古物商組合	中紺屋町	高橋喜市
運送業組合	八島町	淺井新九郎	足袋商組合	九藏町	横田角次郎

自轉車業組合	本町	木村吉藏	時計商組合	本町	青木保太郎
茶業組合	本町	水村傳次郎	靴商組合	鞘町	高見澤一衛
質商組合	鞘町	花岡伊平	印刷業合組	本町	上原鐵四
煙草小賣商組合	田町	宮野卯兵衛	豆腐商組合	連雀町	中村鑑三郎
漆器商組合	田町	中田伊勢太郎	賣肉業組合	柳川町	倉品重次郎
書籍雜誌組合	寄合町	小林源助	宿屋組合	本町	高橋源兵衛
洋服裁縫組合	田町	勅使川原正吉	理髮業組合	本町	荒川幸吉
石炭商組合	通町	大川久平	湯屋組合	成田町	野中梅吉
硝子商組合	田町	笠原長次郎	人力營業組合	田町	吉田鐵次郎
蠶種商組合	本町	小出豊次郎	甲種料理店組合	柳川町	倉品重次郎

【三】工業

交通の便否が工業の振不振に影響する事亦論なし、古來我が高崎の交通上優越せる地形は、工業の發展に資したること尠ならず、工藝品の各地に移出せらるゝもの年と共に多さを加へ來り、就中高崎絹の産出は其の最たるものにして、販路は前項に記載したるを以て茲には省略す可きも、現に活動せる市

内各種工場古きを温めれば、其の多くは高崎絹の仕上げを専業とせる紅絹又は花色絹等の染色工場若くは白張工場にして、明治前の創業に係る他の工場としては、僅かに十一屋酒藏(寶永六年)小島鐵工場(文政六年)あるのみなるが、之を舊時より殷賑なりし商業に比すれば眞に寂寥の感を免ぬかれず、然も高崎最大の工藝品たる高崎絹は、其の多くが裏地用としてのみ歓迎せられ來りし結果、モスリン其の他代用品の現るゝや價格の競争に於て先づ敗れ、漸次衰頽し、明治三十八年より大正三年に至る十年間に於てすら約半減の悲境に沈淪し、殆んど昔時の面影を存せざるに至り、他の工業亦甚だ振はず、斯くて此儘に過ぎんか、商業の中心地は東京に移り工業振はず、高崎市は遂に商工業共に廢滅を招くの狀に陥らんとし、心ある者の等しく懊惱する所となりしが、「窮すれば通ず」と謂へる如く、高崎市民は懊惱の極自ら通ずるあり、「市是を工業の上に確立せん」との意を有するに至れり、之必しも卓見なりと謂はざるも、四通八達交通の便を有せる我が高崎市に在りては、工業材料の蒐集、既製品の搬出等に就て最も有利なる地位に在りて、發展は期して待つ可きのみ。果せる哉力を工業に用ふるに至りてより、我が高崎市の發展膨張は目覺しきものあり、其の工藝品の如き年と共に數量と種類の多さを加へ來り、其の主なるものゝみを以てするも尙左記の如き産額を見るに至り益々隆盛ならんとしつゝあり。

(左記五千圓以上)

種類	數量	價格	製造戶數	職工 △印人 ▲兼業	種類	數量	價格	製造戶數	職工 △印人 ▲兼業
器械生絲	10,500 ^冊	八九,500 ^冊	六	七八	座繰生絲	二,500 ^冊	一四八,500 ^冊	五	三八〇
生皮苧	二,六五〇	二,000	—	—	生太織	四,八〇〇 ^元	二,六〇〇	—	—
生玉絹	三,七〇〇	二〇,九〇〇	—	—	小節玉絹	九四,六六〇	三六九,〇〇一	—	—
漆器	—	六,000	一七	三二	板紙	六,五五二 ^冊	一四〇,〇〇〇	一	六〇
鐵工器	—	九五,〇〇〇	五	△二八	下駄表	二四,一八〇 ^冊	四四〇,〇〇〇	一五	一八五
鑄物	—	四〇,〇五〇	一	△二八	木製品	—	二七,〇〇〇	五	一三〇
竹製品	—	一,〇〇〇	一五	二八	製絲器械	—	一八,〇〇〇	二	四〇
麻真田	六,六三三 ^反	三,六〇〇	五	五	瑠璃鐵器	—	二,〇〇〇	一	△二八
刃物	—	二,五〇〇	二六	七〇	皮革製品	—	一三,五〇〇	一三	三六
白張提灯	八〇,〇〇〇 ^個	九,六〇〇	五〇	八〇	硝子	—	八,〇〇〇	一	一九
蠟燭	二,五〇〇 ^斤	八,三五	三	一四	帽子	九,五〇〇 ^打	五,七〇〇	二	七
銅青銅器	—	五,五〇〇	二	五					

主なる工産品 之を嚴密なる意味よりすれば、由來工業地ならざりし高崎市に於て特産と稱す可きものは寔に寥々たり、以上列記せるものと雖も眞に特産と云ひ得べきは二三種に過ぎざるも、工産品として

は他に遜色あるを認めず、左に貳萬圓以上の産出額を有するものに就て其の概要を摘記せん。

高崎絹 元和年間、時の領主が物産の増殖を計らんが爲市場を田町に設け、取引をなさしめたるに始まり、漸次發達の機運に向ひ、天明五年九月領主の令に依り仲買申合規約十二條を制定し、斯業益々進み、絲好絹の上等品は黒紋付として諸侯の羽織地に用ゐらるゝもの尠からざりしが、天保十三年、時の老中水野越前守の布達に依り百姓町人は華美的服裝を禁じたるより、絹物を纏ふ能はざるに至り、突如として需要止まりしも、後自然に寛大となり、漸やく回復の域に向へるが、明治維新の大改革は延て經濟界に大影響を及ぼし、加ふるに生絲貿易の俄かに勃興せるより、製産家に於て一時此方面に全力を傾注したると、一はモスリン其他代用品現はれ來れるとにより、産額減退せしと雖も、土地氣候の關係に依る特異の良質を産する我が高崎絹は、特産として他市場に多大の聲價を博し、當局者の指導と、斯業當業者の努力とに依り、漸次好況に向ひ、且つ近年絲好絹、小節玉絹等々歓迎せられ、上等品の需要を増し、輕目物より重目物に、太口より細口に移り來れる爲め、數量の割合には著るしく價格を増進し、染色業の進歩は生絹をして堅牢持久ならしめ、以て今日の隆興を見るに至れり。

生絲 本邦輸出貿易品中主位に在るものは云ふ迄もなく生絲にして、本縣は蠶業に於ける先進地として重きをなせるも、本市に於ては之を隣接前橋市其他に比すれば甚だ振はざりしが、之れ本市の古來商業に最も力を須むると、一は水質の適せざりしとの事實に基くものなりと、尙當時に於て市内生産品

中生絲は其の主たるものとして、産額亦尠なからざりしが、明治十九年茂木家の手に依つて大規模の機械製絲開始せられ、次で同二十三年須藤市之助氏に依り昇明社興りてより漸次隆盛に趨き、明治四十三年水道第一期工事完成せらるゝや、製絲事業に最も適合せる良水質を得るに及んで、斯界に一大覺醒を促し、爾來相亞いで相澤製絲場、淺香製絲場、龍榮社製絲場其他の機械製絲起り、現在の隆盛を見るに至り、市内工産品の第一位を占め年額百萬圓を超え尙續々として擴張發展せんとしつゝあり。

漆器 未だ社會に廣く名を知らるゝに至らざるも、高崎市に於ける工藝物産として漆器の製出は、其數に於て、其の價格に於て、嶄然頭角を現し來れり、其の沿革を見るに天明年間に起り爾來漸次發達し來り明治に入り、四十三年前橋市に本縣主催の一府十四縣聯合共進會開かるゝや一躍其の眞價を認識せられ、他地方に迄輸出せらるゝに至りしより、當局者に於ても大に之が獎勵に努め、大正二年三月高崎漆器商組合を組織し中田伊勢太郎氏之が組合長となり、同年農商務省三山博士及技師一名、四年同澤口技師を聘し講習會を開きたるより急に長足の進歩をなし、從來土地氣候の關係より他の模倣を許さざりし特長を唯一の恃みとして堅牢を誇る膳、重箱等の目溜塗めどまりぬりを主として産するに止まりしも、昨今に至りては美術的裝飾品をも製出するに至り、製造家七、職工七十五を算し、栃木、茨城、埼玉、東京、長野其他に多大の輸出をなしつゝあり。

下駄表 高崎南部と唱へ東京に於て本場南部の壘を摩しつゝある下駄表は、高崎手工品中優なるものたる事は言を俟たず、高崎に於て下駄表の製出されたるは何時の頃なりしか其の年代は詳かならざるも明治二十五年頃までは僅に土地に於て製出さるゝ雪駄の表とするに足るのみなりしが、日清戰爭後に於て漸次盛況に向ひ、明治四十三年前橋市に於て開かれたる共進會後は急激なる進歩發展を見、現在に於ては技術の進歩著るしく表のみにも十足卸値段拾五六圓のものは珍らしからず平均十足五六圓にて主として東京及大阪に搬出せられ、製造家五戸手内職として作りつゝある職工七十を超え産額亦四萬圓を超過するの狀態にあり。

木製品 木製品と稱するも實は其の種類雜多にして、系統的に之を記述し得ざるも、箆筒、養蠶器、建具等は其の主なるものにして今後益々發達せんとするの狀態にあり。

麻眞田 近來急激に、併も長足の進歩をなしたるはマニラ麻眞田製造業にして、材料販路共に海外に在るは、之を附近に於て材料を得、海外に販路を有する物品製造工業に比すれば、眞の工業の目的に於て聊か遜らざるを得ざるも、所謂内職的手工の少き土地として斯業の入り來りて發展せるは大に慶せざるを得べると共に益々進歩を希はざる可らず。

板紙 (高崎板紙株式會社の項に詳記)

鐵工器 鑄物 (小島鐵工所の項に詳記)

工場 工業の發展に伴ひ工場の増加せるは必然の理にして、今や製絲、染色、鐵工、製絲を始めとして、各種各様の工場相次で起り、多きは五百餘名の職工を役使し、晝夜間斷なく活動しつゝあるに至れり。

【四】銀行

各種事業の振否は一に金融機關の整否に正比例せずんばならず、從來我が高崎市は資金の潤澤なる點に於て、縣下第一指を屈す可く、併も圓滑なる取引は能く金融を調節しつゝあり、之れ銀行業の異常なる發展に依る事論を俟たざる所なり、然り而して本市に於ける銀行は本行三、支店三にして何れも能く活動し絶大の信用を博し、大正六年上半期に於ては左記の如き營業成績を擧ぐるの好況を呈せり。

銀行別	營業日數		入金		出金	
	入	高	入	高	出	高
株式會社高崎積善銀行	一五一	二,三一九,三七九,〇〇〇	六二〇,六七一,五二五	六二〇,六七一,五二五	二,三一五,五二四,〇〇〇	二,三一五,五二四,〇〇〇
株式會社上毛貯藏銀行	一七五	七,六二八,八七五,四六〇	七,五九八,五五二,一三〇	七,五九八,五五二,一三〇	一,二五一九,〇一七,六七八	一,二五一九,〇一七,六七八
株式會社第二銀行高崎支店	一五〇	一,二五一七,〇三六,四四五	四七,一七〇,五九三,二八〇	四七,一七〇,五九三,二八〇	一,一七〇,五九三,二八〇	一,一七〇,五九三,二八〇
合名會社茂木銀行高崎支店	一五一	四七,二三九,五八一,一〇〇	九,五二八,一二七,一二〇	九,五二八,一二七,一二〇	四七,一七〇,五九三,二八〇	四七,一七〇,五九三,二八〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	一五〇	九,五六二,三四〇,〇八〇	七九,七八二,五八三,七〇〇	七九,七八二,五八三,七〇〇	九,五二八,一二七,一二〇	九,五二八,一二七,一二〇
計	九二八	七九,七八二,五八三,七〇〇	二,三一九,三七九,〇〇〇	二,三一九,三七九,〇〇〇	二,三一九,三七九,〇〇〇	二,三一九,三七九,〇〇〇

(大正六年上半期)

諸預金

(大正六年上半期)

銀行別	總預金		拂戻		現預金	
	預	高	戻	高	預	高
株式會社高崎銀行	六四四,六三五,〇〇〇	六〇一,八四九,〇〇〇	一一六,一二七,四二〇	一一六,一二七,四二〇	二八八,一一五,〇〇〇	二八八,一一五,〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	一一一,五二八,四六〇	一一一,五二八,四六〇	二,〇五五,九四八,七〇〇	二,〇五五,九四八,七〇〇	三四,三九八,八七〇	三四,三九八,八七〇
株式會社上毛貯藏銀行	二,五五九,三八九,五一〇	二,五五九,三八九,五一〇	二,五〇三,八五〇,三六三	二,五〇三,八五〇,三六三	一,四三九,五六一,七三〇	一,四三九,五六一,七三〇
株式會社第二銀行高崎支店	二,七二一,八三四,九六〇	二,七二一,八三四,九六〇	一一,四〇七,一六五,四三〇	一一,四〇七,一六五,四三〇	五,七〇一,三六四,一七〇	五,七〇一,三六四,一七〇
合名會社茂木銀行高崎支店	一七,一〇八,五二九,六〇〇	一七,一〇八,五二九,六〇〇	一,一七七,九九〇,七五〇	一,一七七,九九〇,七五〇	四〇一,三三三,五六三	四〇一,三三三,五六三
株式會社明治商業銀行高崎支店	一,五七九,三二四,三二三	一,五七九,三二四,三二三	一七,八六二,九三一,六六三	一七,八六二,九三一,六六三	九,一〇六,九八七,九〇三	九,一〇六,九八七,九〇三
計	二四,七三五,二四一,八四三	二四,七三五,二四一,八四三	二,九三三,七九一,八九〇	二,九三三,七九一,八九〇	一,四一二,二七八,四二〇	一,四一二,二七八,四二〇

(大正六年上半期)

諸貸付金

銀行別	總貸付金		返済		現貸金	
	貸	高	済	高	貸	高
株式會社高崎銀行	四四九,七四一,〇〇〇	四四九,七四一,〇〇〇	四三〇,九二六,〇〇〇	四三〇,九二六,〇〇〇	二三〇,六六三,〇〇〇	二三〇,六六三,〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	二四九,五八七,六三〇	二四九,五八七,六三〇	二二九,四七六,四三〇	二二九,四七六,四三〇	八二,四一七,六六〇	八二,四一七,六六〇
株式會社上毛貯藏銀行	九〇三,五八四,三五〇	九〇三,五八四,三五〇	八九〇,七四三,〇七〇	八九〇,七四三,〇七〇	三六一,三二二,七八〇	三六一,三二二,七八〇
株式會社第二銀行高崎支店	一,七〇二,九六七,五七〇	一,七〇二,九六七,五七〇	一,八〇二,五九一,一〇〇	一,八〇二,五九一,一〇〇	三五四,五九九,二七〇	三五四,五九九,二七〇
合名會社茂木銀行高崎支店	四,三四六,〇七〇,三一〇	四,三四六,〇七〇,三一〇	二,九三三,七九一,八九〇	二,九三三,七九一,八九〇	一,四一二,二七八,四二〇	一,四一二,二七八,四二〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	七九三,七六四,六三〇	七九三,七六四,六三〇	五六八,七二〇,〇四〇	五六八,七二〇,〇四〇	二二五,〇四四,五九〇	二二五,〇四四,五九〇
計	八,四四五,七一五,四九〇	八,四四五,七一五,四九〇	六,八五六,二四八,五三〇	六,八五六,二四八,五三〇	二,六六六,三二五,七二〇	二,六六六,三二五,七二〇

二五

割引手形

銀行別	手形種類	枚數	金額	他	金額
株式會社高崎銀行	小手切手形	八〇	七四、〇二〇・〇〇〇	一四五	三〇、四二九・五〇〇
	小手切手形	一八〇	四五、六四〇・〇〇〇	四	一、五〇〇・〇〇〇
	小手切手形	四二	二六八、八六七・〇〇〇	四	二、一七七、二六六・二一〇
	小手切手形	三〇〇	二八〇、一七〇・八四〇	二	二〇、九四八・〇四〇
	小手切手形	五〇〇	九四八、八九〇・〇〇〇	三	二〇、九四八・〇四〇
	小手切手形	五六	二八、七九四・六五〇	二	二〇、九四八・〇四〇
	小手切手形	一、一五八	一、六四六、三八二・四九〇	二	二〇、九四八・〇四〇
	計			五二四	二、二三〇、一四三・六五〇
	株式會社明治商業銀行高崎支店				
	合名會社茂木銀行高崎支店				

(大正六年上半期)

荷付爲替手形

銀行別	各地へ向ケタル分	各地ヨリ受ケタル分
株式會社高崎銀行	枚數	枚數
	九五	五二
	六六	二七八
	三八九	二、五五七
	九三五	二八六
	一〇七	三、二二四
	一、五九二	
	計	
	株式會社明治商業銀行高崎支店	
	合名會社茂木銀行高崎支店	

(大正六年上半期)

送金爲替手形

銀行別	種爲替類金	各地へ向ケタル分	各地ヨリ受ケタル分
株式會社高崎銀行	通金	五二二	二二二
	通金	一一八	一一六、四五二・〇〇〇
	通金	一、〇九九	一、五二五・五〇〇
	通金	二一	二九、四九四・〇二〇
	通金	一、三六九	二六九、九三二・九一〇
	通金	一、九五八	七二一、八八六・二八〇
	通金	四、五〇一	三、九五三、二五六・二二〇
	通金	一、二二一	三、一三六
	通金	二、二二一	一、二七〇
	通金	一一、五一一	六、三二四
計		六、三二四	
株式會社明治商業銀行高崎支店			
合名會社茂木銀行高崎支店			

(大正六年上半期)

代金取立手形

銀行別	當	他
株式會社高崎銀行	枚數	枚數
	一八七	五六
	三八	二二
	七四三	二二七
	五二七	一八〇
	六二五	一、〇三五
	二、二二〇	二、四四
	計	一、七六五
	株式會社明治商業銀行高崎支店	
	合名會社茂木銀行高崎支店	

(大正六年上半期)

金利表

(大正六年上半期)

銀行別	貸金日歩(百圓ニ付)			割引日歩(百圓ニ付)		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
株式會社高崎積善銀行	三〇〇	一八〇	二四〇	三〇〇	二〇〇	二五〇
株式會社上毛貯藏銀行	三二〇	二〇〇	二六〇	三二〇	二〇〇	二六〇
株式會社第二銀行高崎支店	二四〇	二〇〇	二二〇	二二〇	一九〇	二〇五
合名會社茂木銀行高崎支店	二三〇	一七〇	二〇〇	二二〇	一六〇	一九〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	二七五	二〇〇	二三〇	二二〇	一八〇	二〇〇

株式會社高崎積善銀行 (田町甲二十二番地) 高崎市に於て本行として最も早く開かれたる銀行は、明治二十九年十月創立に係る高崎積善銀行なり、拂込濟資本金八萬圓、専ら高崎市に於ける織物業者吳服太物商等の機關銀行として設立せられたるものなり、而も同行が徒らに規模の大なるを望まず、堅實に着々歩を進めつゝあるは以て慶せざるを得ず、同行創立當初より永く頭取の位置に在りしは相川藤平氏なりしも宿痾職に堪えずして退き、川村富藏氏入つて之に替り以て今日に至れり、而して之が現在の役員は左の如くなり。

専務取締役 川村富藏
 監査役 須藤市之助

取締役 吉井梅次郎

取締役 國峯源三郎

取締役 中島義太郎

株式會社高崎銀行 (寄合町二十番地) 高崎市に於ける商工業の漸次發展するに伴ひ金融機關の要年毎に

多きを加へ來れるを機とし、明治三十一年を以て創立せられたり、當時既に茂木、第二の兩大銀行支店活動し、高崎積善銀行の起れるありしも前者は純然たる高崎人の經營ならず、後者は一部織物業者の機關たるに止まれりしを以て、市民中には市人の經營に依る普通銀行の起るを翹望する者尠ならず、此時に際して起れるだけありて、經營者其人を得たるとに依り、參拾萬圓てふ比較的僅小なる資本を以て開始せられしにも係はず、常に健實なる脚地に依りて發展し、每期一割前後の配當を繼續し來り、現在に於ては一ヶ年間出入金額五百萬圓に近からんとし、尙益々發達せんとしつゝあり、之が經營の任に當れる役員は左の如くなり。

専務取締役 福田儀兵衛
 取締役 新井與三郎

取締役 中島伊平
 監査役 上和田喜助

取締役 石井伊三郎
 監査役 櫻井伊兵衛

取締役 瀧川文二郎

株式會社上毛貯藏銀行 (九藏町二十三、四番地) 近時貯蓄銀行の倒産するもの頻々として相生じ、一般人の貯蓄心を阻碍する事尠なからざるは洵に寒心に堪えたり、之れ最初よりして細民の零碎なる膏血を繰り自己の虛榮心を充さんとする不正の徒の奸策に依るものにして、我が高崎市民亦此害を蒙れる者尠なしとせず、年毎に貯蓄に對する危疑を深からしめんとし來れるに際し、此弊害を打破せんが爲、資本金五拾萬圓を以て大正四年九月創始せられたるは上毛貯藏銀行なり、同行投資者經營者共に主として本市一流の有力者たる等より、健實なる營業振りと相俟つて多大の信用と同情を博し、創立日尙淺く今夏六

に依らずんばならず、而も同支店をして今日あらしめたるは曩に支配人より退いて顧問となれる松尾好國氏、其當時の副支配人より現在の支店長となれる山田昌吉氏の功績を特記せずんばならず、宜なり高崎支店の預金實に六百萬圓に達し、今や次長として新進の法學士佐藤理氏を迎へ益々健實なる地歩に進展しつゝあり。

株式會社明治商業銀行高崎支店 (田町七十四番地) 銀行家として最も重きをなせる、安田家の主として經營する所、高崎支店は明治三十三年本店を伊勢崎に置き頭初機業家の機關として生れ漸次發展し來れる群馬商業銀行支店として、明治四十一年の設置にして普通銀行業務を行ふの外、共濟生命、東京火災の兩保險、金城貯蓄銀行の代理事務等を營み來れる爲め多大の成績を收めつゝありしが、昨年七月明治商業、群馬商業合併の議出て、九月遂に合併を執行さるゝと共に明治商業銀行支店として繼續せり、本店今や四百八拾萬圓の資本を有し、支店長小笠原健之助氏の努力と相俟つて益々發展せんとしつゝあり。

【五】 會社 (附主なる事業)

社會生活の状態は日一日と新たに於て、又漸次に複雑の度を増し來れるの結果、事業の經營個人を以てしては其の發達を期するに困難となり、共同經營即ち株式、合資、合名等合本組織の企業の發生を促がすは必然なり、高崎市に於ける事業界亦此の趨勢に支配せられ、今や其の實質に於ても數に於ても、

敢て他市に遜らず着々歩を進めつゝあり、而して之れが主なるものを掲ぐれば左の如くなり。

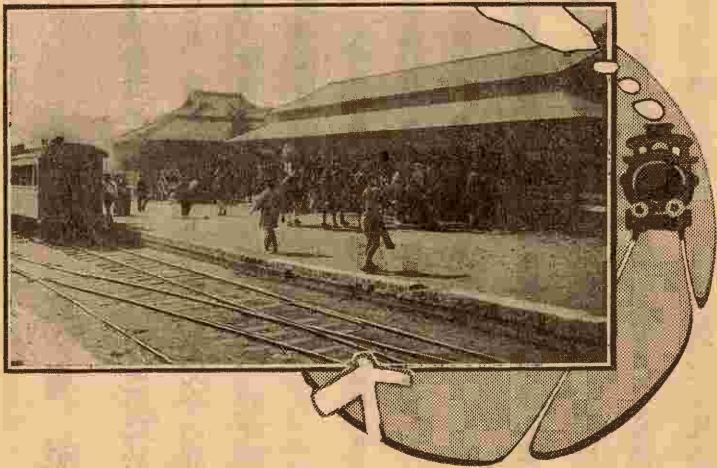
株式會社

株式會社高盛座 (八島町) 高崎市に於ては最も早く創立せられたる株式會社にして、又最も早き劇場として、設備其他縣下各劇場中完全の部に屬せり、曩に一度祝融氏の災する所となり多大の創痍を負ひ營業成績意の如くならざりしも、昨今漸く社債全部を償還したれば今後は相當發展を見るに至る可く、現在の役員左の如し。

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 取締役社長 井上保三郎 | 取締役 井上元三郎 | 取締役 石塚國造 | 取締役 横山省三 |
| 取締役 根岸慶三郎 | 監査役 相澤吉平 | 監査役 芥川辰次郎 | 監査役 小森秀吉 |
| 監査役 松岡利三郎 | | | |

上野鐵道株式會社 (鶴見町) 山嶽の起伏縱橫鐫川に臨んで交通に便ならざりし北甘樂の地をして文化に浴せしめたる第一の指導者たり、同社は明治初年に於て中央人士に依りて企畫せられたるも徒らに鐵道事業熱に浮されたる輩の企として容易に成立に至らず、加ふるに之れに依つて奇利を獲得せんとのみ焦慮せる事を觀取したる地方有志は佐藤量平氏を始めとして大に憂慮し交々計りて以て創業したるもの時に明治二十八年なり、爾來營業に孜々たりしも其の間勘なからざる災害、殊に洪水の厄に遭遇して烏

場車停崎高道鐵野上



川の鐵橋を奪はるゝ事數回、其都度多大の復舊費を要したる爲、成績は甚だ振はざりしも大正三年現社長佐藤量平氏高崎市の山田昌吉氏と共に大英斷を以て、社内の整理事業の改革を行ひたる結果、漸やくにして悲慘なりし社運を挽回し得たるが、今や高崎より下仁田町に至る二十一哩の鐵路は、八の停車場五の停留場を楔子とし、北甘樂郡唯一の交通機關として、大に其の收入を増し、最近年八朱以上の利益配當をなし得る迄に社運順調となれり、而して之れが現在の重役は左記の如くなり。

専務取締役 佐藤量平
社長
取締役 福澤常五郎
取締役 岩井龜太郎
取締役 齋藤正次郎
監査役 山田昌吉

高崎倉庫株式會社 (旭町) 群馬縣下に於ける倉庫業にして最近最も有力なるものを擧ぐれば先づ高崎倉庫株式會社を推さざるを得ず、高崎倉庫は他の多くの同業者が貸金其他の

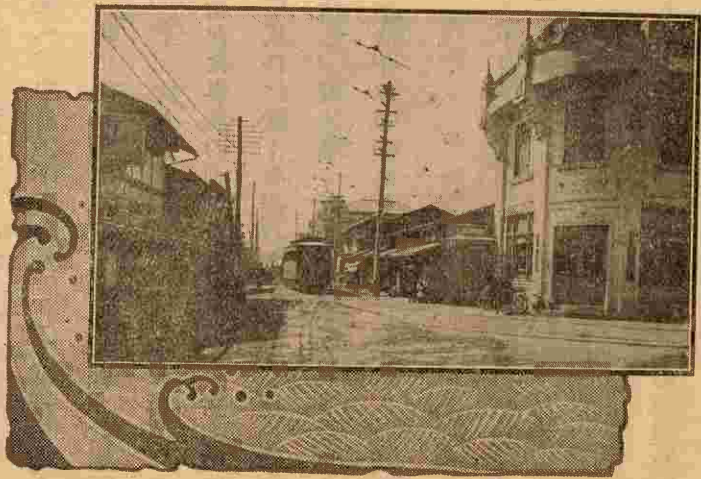
營業を兼營して辛くも生命を保持しつつあるの間に在りて積立金貳萬五千圓を有し八朱以上の配當を繼續するを得るは稀に見る所にして、全く經營者其の人を得たるものと云はざるべからず。

高崎倉庫は明治二十九年創立し翌三十年一月を以て登記を終へ、中島伊平氏社長として經營し來りしも幾程もなく瀧川氏社長に就任せり、其間日露戰役の起るや一時に經濟界は打撃を蒙り同社亦此影響を受け加ふるに祝融氏の災する所となりて一層悲運に陥りたり、若し之れが挽回策を講ずるにあらざれば竟に衰滅に歸せんとせり、茲に於てか出資者は幹部を改めて新たに事業の刷新を計り、先づ新進山田昌吉氏を擧げて専務取締役たらしめたるは三十九年にして、山田氏任に就くや銳意之が整理を行ひ情實を打破して誠實以て事に當り、一年ならずして舊來の面目を一新し、社運漸く回復の曙光を見るに至り、飯塚倉庫會社を併せ資本を拾萬圓に増加し益々良成績を擧げ遂に今日の優勢を占むるに至れり。現在の重役左の如し。

取締役社長 山田昌吉
取締役 清水新一郎
相談役 竹内勝藏
取締役 清水久太郎
監査役 友松喜平
相談役 井上保三郎
取締役 石井佐二郎
監査役 渡邊與喜松
取締役 小澤宗平
監査役 山崎正司

高崎水力電氣株式會社 (常盤町) 縣下電氣界に於ける卒先となりて、事業を經營し公衆の利便を圖り社會に貢獻しつつあるは、實に高崎水力電氣株式會社なり、其創立は明治三十六年の遠きにおいて、當

時の資本金僅に拾萬圓に過ぎざりしが、爾來急激なる進歩を爲し、事業の擴張を舉行する事數次、前橋電燈、群馬鐵道、箱島水力電氣、伊香保電氣軌道、高崎瓦斯の各株式會社を併合し其資本金百六拾萬圓に達せり、而も社運は隆昌旭日昇天の勢ひを以て發展し、大正六年一月更に七拾萬圓を増加し遂に今日貳百參拾萬圓の資本を擁する一大會社となりたり、發電所は室田、箱島、厚田の三ヶ所に在りて貳千貳百「キロワット」以上の電力を起し、其營業區域は群馬埼玉の兩縣下五十有餘の地點に亘り、電燈に電力に瓦斯に運輸に常に優秀なる成績を擧げつゝあるは大に稱揚するに足らん、是等會社の多くは都會人士の企畫に成り、從て其利益を壟斷せらるゝの間に介在し、市内有力者の多數竝に地方人士とを以て結束し嶄然頭角を現はしつゝあるは、高崎市事業界に於ける壯快なる現象と謂ふべし、今や同社は五萬餘箇の電燈貳千馬力以上の動力を供給し、高崎伊香保間には貳拾壹哩の電氣軌道を敷設して電車を



高崎水力電氣株式會社高崎營業所

運轉し、以て浴客及利根吾妻兩郡方面の交通運輸に多大の便利を與ふるの外、物社及西上兩電氣竝に本庄軌道會社にも電力を送り、尙ほ一ヶ年貳千萬立方呎の瓦斯を製造して、高崎市民を利する等大々の發達に伴ひ壹割貳分以上の利益配當を爲すこと殆ど恒例となれり、株式價額の如きは、常に拂込金の倍額に垂んとするの時價を保持し來れるは、重役及當局者一致協力の奮闘努力に依るものなりと雖も亦創立以來全力を賭し獻身會社の事に當れる前社長須藤清七氏及當時の専務取締役小島彌平氏竝に重役諸氏の功績は、蓋し看過すべきにあらず、須藤氏年齒既に八十を超え、大正五年勇退したる後は専務取締役たりし小島彌平氏社長に就任し社會の進運に伴ひて社業百般に改善を加へ積極的に奮勵開進せんとしつゝあるが、今社業の衝に當れる重役を擧ぐれば左の如し。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 取締役社長 小島彌平 | 専務取締役 小澤宗平 | 常務取締役 櫻井仙次郎 |
| 取締役 大谷藤三郎 | 取締役 木暮武太夫 | 取締役 井上保三郎 |
| 取締役 松本文作 | 支配人 金山鐵吉郎 | 監査役 岸龜吉 |
| 監査役 松山眞哉 | 監査役 住谷喜平 | 監査役 千明三右衛門 |
| | | 顧問 須藤清七 |
| | | 取締役 瀧川文二郎 |
| | | 取締役 山田昌吉 |
| | | 監査役 新井清兵衛 |

高崎新聞雜誌株式會社（新町）根岸慶三郎氏が中澤堂として單身經營し來りしもの、尙一層發展し新聞を市民に普及せんが爲に資本金を五千圓とし全額を拂込み株式組織に改めたるものにして、現在市中に東京及地方新聞雜誌を通じて四千五百の讀者を有し他地方に中繼販賣をなすものを合すれば五千八百以上を算し、毎期壹割貳分の利益配當をなし現在の役員は左の如くなり。

取締役社長 生澤治太郎
監査役 石井佐二郎

専務取締役 根岸慶三郎
監査役 小坂橋 彦治郎

取締役 井上保三郎
監査役 松山真哉

取締役 塚越勝三郎
監査役 芥川辰次郎

株式會社高崎病院 (柳川町)

陸軍三等軍醫正醫學士林曄禮氏が獨立經營し來りしもの、明治四十三年

貳萬五千圓の株式組織に改めたるも事業の性質上良好なる成績を擧ぐるに至らざりしも、兩三年來漸く順調となり最近林氏の女婿醫學士林正道氏入るに及んで漸く光輝を添えんとしつゝあり、現在の役員左の如し。

院長醫學士 林 曄禮
取締役 蠟山政次郎
監査役 清水國太郎

副院長醫學士 林 正道
取締役 栗本 秀雄

取締役社長 清水新一郎
監査役 沼賀 秀治

常務取締役 中村友太郎
監査役 清水久太郎

惣社水力電氣株式會社 (連雀町)

資本金六萬圓を以て明治四十五年創立したるもの、最初舊前橋電燈

會社の惣社發電所に於て電力を起し附近に供給したるも収益は營業費を償ふに至らずして毎期尠ながらざる決損を來したるより、其の後高崎水電より電力を購入して供給し大に面目を改め、現在に於ては群馬郡内駒寄、惣社、元惣社、國府、中川、新高尾、東等七ヶ村に於て二千四百戸に對し二千五百燈を點火し、毎期一割五分内外の配當をなし居れるが、役員は左の如くなり。

取締役社長 白田柳吉
取締役 新井 壽作

常務取締役 小坂橋彦治郎
監査役 深町榮太郎

取締役 成田八百藏
監査役 渡邊興喜松

取締役 清水國太郎

株式會社高崎常設家畜市場 (鶴見町)

明治四十四年發布せられたる縣令第四號家畜市場法に基き、資

本金壹萬五千圓を以て大正元年創立せられ、該法に依り高崎、群馬、碓氷、多野、北甘樂の一市四郡を營業區域とし家畜の賣買、委託販賣、擔保貸金、宿泊等を營業し賣買の確實、家畜の改良を期し、最初關根作三郎氏社長たりしも、縣に於て最初の創立とて當時市場法未だ一般に徹底せざる爲め種々困難ありしも、法規の徹底と共に漸次順調に向ひ、現在に於ては一ヶ年馬三千頭、豚二千五百頭、牛五百頭内外の取引をなし、七朱以上の利益を配當しつゝありて役員は左の如くなり。

取締役社長 井上保三郎
取締役 小嶋亮四郎

取締役 松山 真哉
監査役 根岸昭太郎

取締役 倉品重次郎
監査役 清水新一郎

取締役 佐藤 熊吉
監査役 富田省三

株式會社高崎電氣館 (柳川町)

近時娛樂的興行に就て活動寫眞は絶大の流行となり何れの市に於ても

活動常設館を見ざるなきに至れるが、高崎電氣館は此の機運に乗じ大正二年資本金三萬圓を以て、創立せられたり。此の企てたるや時代の嗜好に投じたる事として忽ちにして良好なる成績を擧げ、比較的廉價を以て觀覽せしむるにも係はらず、尙一ヶ年の収益は六萬圓を超過し營業費を差引くも參萬圓以上の利益を見、毎期四割の利益配當をなしつゝあり。現在の役員左の如し。

取締役社長 湯淺縫一郎
取締役 平形 藤平
監査役 淺見 助七

専務取締役 吉井梅次郎
取締役 小林元次郎

常務取締役 熊井常三郎
取締役 淺見 辨次郎

常務取締役 相川米吉
監査役 駒林榮之助

高崎板紙株式會社 (八島町) 高崎に於ける光輝ある事業の一つとして高崎板紙會社を推さざるを得ず高崎市に於ける工業中産額多きものは他に尠しとせざるも、會社の周圍に於て材料を求め其の製品は縣外遠く東京横濱若しくは海外に輸出せらるゝもの果して何程かあらん、高崎板紙會社は大正三年資本金八萬圓を以て創立せられ、爾來増資拾六萬圓となり、井上保三郎氏社長に、法學士荒木仙十郎氏事務取締役として經營致々たりしも歐洲戰亂突發前後經濟界混亂に際し、會社創立前に於て一噸六拾五圓内外たりし製品は參拾圓臺に暴落し會社は一時苦境に陥りしも重役以下奮闘し製品暴落に際しては生産費を輕減せんが爲め機械を増設し規模を大にし經營致々たりし結果、經濟界の順調に恢復するに及び規模擴張に依り増加されたる製品の價格は漸次騰貴し現今一噸七拾五圓を唱ふるに至り、其の後資本金を拾六萬圓に増加し、晝夜間斷なく就業するに及んで生産額を増大し現在に於ては日々十噸一ヶ年三千噸以上を抄出し、第七期の如き積立金、從業者退職手當及救濟積立金を除去するも優に三割内外の配當をなし得べき純益を擧げたるが、同社にては會社將來の基礎を益々確實ならしめんが爲め配當は二割五分に止め殘餘は全部配當準備金として積立て居れば、歐洲戰亂終熄と共に外國品の輸入ありとするも何等痛痒を感ぜざるの基礎を作るに至れり。而して之れが現在の役員は左の如くなり。

取締役社長 井上保三郎	專務取締役 清水新一郎	取締役 櫻井伊兵衛	取締役 平井八太郎
取締役 小嶋彌一郎	取締役 新井與三郎	取締役 松山眞哉	監査役 相澤吉平
監査役 櫻井仙次郎	監査役 關根作三郎	監査役 清水久太郎	

高崎製材株式會社 (旭町) 現在高崎製材株式會社及中會根製材所の二製材工場を有する高崎市に於て更に拾萬圓の資本を以て製材會社設立の企畫ありと聞く、これ畢竟前記二製材所の尠なからざる利益を擧げ居るの事實によるものならんか、由來高崎市に於ける製材業は其の需要多きに比し、木材の産地よりするの便比較的尠なく陸上材料運搬に意外の賃金を要する所よりして着手するも得失相償はざるを疑惧して躊躇せしが、併も需要は年と共に増加するより、當業者中島慶藏氏以下が寄々企畫する所あり、遂に大正二年合資組織を以て工場を起し、事業擴張と共に翌三年株式組織に改めたるもの即ち高崎製材會社にして、創立當初より常に順調に發展し來り、現在に於ては貳萬圓の資本を擁し、材料を北甘樂、栃木縣、利根、吾妻方面に仰ぎ、一ヶ年約七萬圓の製材を販賣し能く二割以上の配當をなしつゝあり、其の役員は左の如くなり。

取締役社長 中島慶藏	專務取締役 中島菊太郎	取締役 井上保三郎	取締役 大田部安五郎
取締役 中會根金四郎	監査役 島田熊次郎	監査役 本多清美	

株式會社高崎繭絲市場 (八島町) 大正三年八月資本金壹萬五千圓を以て創立せられ繭絲類の取引を爲し、賣買手数料を徴し居れるが創立當初より概して順調に進み目下一ヶ年約拾七八萬圓の取引をなし居れり、現在の役員は左の如し。

取締役社長 井上保三郎	專務取締役 石井佐二郎	取締役 横山省三	取締役 清水久太郎
-------------	-------------	----------	-----------

取締役 岩田政次郎
 取締役 根岸慶三郎
 取締役 星野正三郎
 取締役 近藤和作
 監査役 井上元三郎
 監査役 久保田廣吉

株式會社龍榮社 (赤坂村) 高崎市に於ける製絲事業は、水質の不良が累を及ぼし周圍之れが材料に豊富なるにも係はらず差したる發展を見るに至らざりしが、水道の完成に依つて此弊害は一掃せられ、數ヶ所の製絲工場勃興したり、然りと雖も尙其規模は小にして周圍の豊富なる材料を咀嚼するに至らず徒らに他地方に搬出せられつゝあるは土地發展上聊か遺憾の感なきにあらざりしが、龍榮社は此見地よりして井上氏等の企畫に依り、大正五年資本金拾萬圓を以て創立の運びに至れるもの、創立以來日向淺きに拘らず製絲界の好況に伴ひ異常の發展をなし、別に兼營する織物部に於ては二十數臺の機臺にて、英國への輸出品たる紡績を材料とせる富士絹八千疋以上を製出し尠からぬ利益を擧げつゝあるが、之れに要する職工は男女を合し約四百五十名にして、現在の役員は左の如くなり。

取締役社長 井上保三郎
 取締役 山崎正司
 取締役 井上米三郎
 監査役 小澤徳三郎
 監査役 岸啓三郎
 監査役 小澤宗平

信永運輸株式會社 (八島町) 合資會社信永運送店として明治三十三年來小林、小島の一家及有力なる米穀商を中心に經營し來りしもの、事業の發展と共に昨年末を以て資本金を五萬圓に増大し株式會社とし繼續經營せるが現在高崎驛に集散せる貨物の大部は同社に於て取扱はれつゝあり、現在役員左の如し。

取締役社長 小嶋彌平
 常務取締役 淺井新九郎
 取締役 清水久太郎
 取締役 石井佐二郎
 取締役 小澤宗平
 取締役 清水新一郎
 取締役 山田永五郎
 監査役 吉田定之助
 監査役 友松喜平
 監査役 渡邊與喜松
 監査役 橋本三十郎
 監査役 秋山萬吉
 相談役 小林彌七
 相談役 井上保三郎

烏川水力電氣株式會社 (柳川町) 經濟界の大變潮に際し高崎板紙會社の打撃を受けたる事は夥しく同社重役以下は之れに對して種々善後策を講じたる末、一面之れが救済の意を以て生れ來りしものは烏川水電會社なり、烏川水電は本年に入り資本金貳拾萬圓を以て板紙會社及高崎水電の關係者を中心として創立せられ、約七百キロの發電をなし内二百五十キロを板紙會社に殘餘を高崎水電に供給すべく、一切を横濱東西電氣會社に托して工事中なるが遅くも明七年の夏迄には竣工すべく、竣工送電後一ヶ年を経過せば高崎水電に合併する筈なり、而して現在の役員左の如し。

取締役社長 井上保三郎
 常務取締役 岸龜吉
 常務取締役 松山眞哉
 取締役 小澤宗平
 取締役 小嶋彌一
 取締役 山田昌吉
 取締役 瀧川文二郎
 監査役 清水新一郎
 監査役 住谷常次郎
 監査役 櫻井仙次郎

里見軌道株式會社 (柳川町) 昨今漸やく眞價を知られ來れる里見石材を搬出せんが爲め烏川水電と共に創立せられたる人車軌道會社にして、資本金は八萬圓、第一期線として室田より神山に至る工事は既に着々進捗しつゝあるが、將來は電動力を以て經營せんとするの計畫ありと、現在の役員左の如し。

取締役社長 井上保三郎
 常務取締役 松山眞哉
 取締役 小嶋彌平
 取締役 瀧川文二郎

取締役 岸 龜吉
 監査役 清水新一郎
 取締役 小澤宗平
 監査役 松田謙一郎
 取締役 柄澤清次郎
 監査役 小嶋彌一郎

内國通運株式會社高崎支店 (八島町) 運送業界の權威たる同社高崎支店は明治十七年の創立に係り、支店長は萩鋤三郎氏なり。

群馬製材株式會社 (鶴見町) 成田八百藏中村作太郎氏等に依つて發起せられたるものにして本年七月資本金參萬圓を以て成立し目下工場新築中なり、役員の名左の如し。

取締役社長 成田八百藏
 專務取締役 中村作太郎
 取締役 川村富藏
 取締役 新井勳治
 取締役 清水元七
 取締役 岩田政次郎
 取締役 手塚彌作
 取締役 富所常次郎
 監査役 住谷常次郎
 監査役 徳田市太郎

群馬紡績株式會社 井上保三郎氏を委員長とし主として板紙會社株主に依り、資本金六拾萬圓を以て起劃され既に第一回拂込みを了したれば近々に工事に着手さる可し。

高崎海産物株式會社 (九藏町) 大正五年十一月海陸物産依托販賣を目的とし資本金壹萬五千圓(内參千七百五拾圓拂込)を以て創立せられたるものにして事業開始以來未だ幾何ならざるに成績は頗る良好なり、而して現在の役員左の如し。

取締役社長 白田柳吉
 常務取締役 佐藤金八
 取締役 羽鳥源四郎
 取締役 磯部榮三郎
 取締役 小坂橋 彦治郎
 監査役 清水國太郎
 監査役 金子宇太郎
 監査役 小野塚福藏

主なる事業

高崎信用組合 (九藏町) 商工農業の金融調節をなし事業の圓滑を計らんが爲め大正三年組織せられたる組合は其の事業の確實なるが爲め忽ちにして内外の信用を得、大發展をなし今や加入者六百八十四名、口數參千四拾(一口五拾圓)を算するに至り、最近一ケ年の出入金額貳百四拾八萬七千八百八拾壹圓七拾七錢の多額に達し貸借を差引き純財産拾五萬九千六百貳拾九圓を有し、基礎は愈々確實なるに至れり、而して之が役員として現在其の衝に當る者は左の如くなり。

組合長理事 小澤宗平
 理事 山田昌吉
 理事 巖山政次郎
 理事 櫻井仙次郎
 理事 住谷常次郎
 理事 清水久太郎
 理事 友松喜平
 理事 井上保三郎
 監事 岸 啓三郎
 監事 富所常次郎
 監事 須藤定八
 監事 中島慶藏
 顧問 高崎市長 内田信保

碓氷社高崎支部 (八島町) 本邦製絲界に於て重きを爲すものとして有限責任信用生産販賣組合碓氷社を擧ぐるは、何人も之を否定せざる可し、而して昨大正五年度の如きは實に壹萬五百捆餘を産出し之れが代價八百萬圓に近からんとせり、碓氷社は本社を碓氷郡原市町に置き百八十組參萬餘の社員を統べ、製絲釜數機械のみを以てするも一千三百釜に及び座繰亦其半數に垂んとし製品の優良なるは他の製絲場の企て及ばざる所本年七月信州上一番壹千五百圓の時に於て壹千七百圓を以て商談成立するの狀況なり而して高崎支部は明治三十五年創立せられ、現在百二十名以上の工女を督し碓氷社全體の六分以上は茲

に於て取扱はれつゝあり、現在の高崎支部役員としては副社長萩原量平氏専ら事に當り、理事森田周作氏内外を擔任し居れり。

碓氷社上和田組 (相生町) 明治三十年の創立にして製絲釜數器械百五十、工女百六十名、組員各家の坐繰製絲を合して一ヶ年約百五十捆の生絲を産出しつゝあるが現在の組長は植原重三郎氏なり。

茂木製絲所 (並禮町) 西上州に於ける製絲所中優なるものは旭社茂木製絲所なり、明治十九年高崎市の有志に依りて創立せられ其後三十一年に至りて茂木家一手の經營に移りて今日に及びしものにして、最初は坐繰製絲なりしも茂木家の事業となるに及んで機械製絲に改め規模を擴張し橋本清七氏之が營業を管理し爾來年を逐うて隆昌に趣き明治四十二年新たに大汽罐を設け本年は更に約二倍に擴張増築したが現在に於ては製絲釜數四百、工女四百五十名、一ヶ年一千捆以上を産出するの狀態にありて、本年七月の相場に於て優等壹千六百圓に取引ありたり。

昇明社製絲場 (山田町) 明治二十三年創立せられたるも、工場主は須藤市之助氏にして、現在八十釜機械、工女百名に依り一ヶ年百六十捆以上を産出しつゝあり。

相澤製絲場 (南町) 相澤綱吉氏が獨力明治四十五年創業したるものにして機械釜數七十四を有し、八十名の工女に依り一ヶ年百五十捆内外の生絲を産出しつゝあり。

淺香製絲所 (鶴見町) 多野郡萬場に於て製絲所を經營せる淺香龜吉氏が大正五年、其の倉賀野製絲所

の組織を移し來れるもの、水道使用に依つて倉賀野當時に比し同一原料にして數等優良なるものを産出しつゝありと傳へらる、現在釜數は百八十釜にして工女は通勤寄宿を合し合計約二百二十名、一ヶ年製絲額は約五百捆なり。

小嶋鐵工所 (歌川町) 三千八百坪の敷地、一千二百四十七坪の建物、百八十餘の職工を有する小嶋鐵工所は之を此儘他に移すも工業界に大に誇るに足る可きものたり、同工場は文政六年現在の經營者小嶋彌平氏の祖父に依りて創始され専ら日用食器及農具家具類の鑄造を營み毛武信越の地方に販賣し居たり、爾來世運の進展に伴ひ明治十八年に規模の大擴張をなし、汽機、汽罐及機械工具其他諸般の設備を完成し鑄器製造と併せて諸機械製作及修繕の依頼に應ずるに至れり、官線碓氷峠アプト式鐵道敷設せらるゝに當り該工事に使用する臺車の車輪を苦心研究の結果木炭熔解を以てチルド鑄造をなすに良好なる成績を擧げ、之を動機として冷剛鐵製車輪の製造研究に熱中し遂に一種獨特の製法を發見し益々好果を得、第四第五回内國勸業博覽會に於ては進歩三等賞を獲得し日露戰役に際しては陸軍兵器本廠の命を承け軍用臺車用車輪數萬を供給し好評を博し、爾後益々諸機械の設備を完全にし、戦後東京砲兵工廠及岩鼻火藥製造所に納入せる鐵器、現今工業界の機械類補充に苦めるに當り、紡績界及綿絲界の需要する諸機械の供給に應ずるのみならず、各種工業用諸器械就中製絲用特許乾燥機、礦山用諸機械の製作に就ては絶大なる信用を得たるが、尙最近に至りては更に製罐部の大擴張を行ひ本邦最大厚さを有する利根發電會社の一

萬二千キロワット發電用水壓鐵管及送電用亞鉛鍍金鐵塔一千餘臺其他各新汽罐橋梁及鐵塔等の製作をな
しつゝ、最近に至つては平均

食器、風呂罎、農具類	金四萬壹千貳百圓	雜器具類	金貳萬參千七百圓
諸器械類	金八萬五千九百圓	製罐	金貳萬七千壹百圓

の製造をなし本年の如きは更に倍額以上の増加を示すに至る可し、而して現在工場代表者としては高等
工業出身の小嶋彌一郎氏其任に當り技師としては同鈴木斌、小嶋行五郎兩氏他の職員と共に執心督勵し
つゝあり。

【六】 農 業

商業の高崎として進み來り、新たに工業の高崎として進展せんとしつゝある我が高崎は、由來農業方
面に於て見る可きものなきも、高崎市を説き市の状態を知らんとするに當つては之亦其一般を知らざる
可らず、高崎市に於ける農家戸數は合計二百五十七戸從業者四百四十七人にして、之を專業とする者僅
に六十二戸に過ぎず百九十五戸は兼業なり、而して之が耕地は作付田百二十七町九反、畑三十三町二反、
農家中自作のみをなし居る者は五十六戸、小作九十五戸にして他の百六戸は自作及小作を兼ね居れり。
最近一ヶ年間の收穫中主なるもの左の如し。

米	二千七百三十四石	麥	二千七百七十五石	桑	二萬二千五百貫	(春繭百二十八石 秋繭百石)
---	----------	---	----------	---	---------	----------------

【七】 市 政 (官公署)

高崎市役所 は市の中央より稍々南部宮元町に在りて左記吏員に依り市の行政を處理せられつゝあり

市長	内田信保	助役	山崎金四郎	収入役	清水留四郎	書記	二十六名
技手	一名	掃除監督長	一名	掃除巡視	三名	雇	三名

市會 議員定數は一、二、三級を通じ三十六名にして大正五年中に於ける招集回數は七回、三十件を議
決せり、議員名左の如し。

高崎市會議員

- | | | | | | |
|-----|----------------------------|-----|-----------------------------|------|-----------------------------|
| 一 番 | 清水誠哉 <small>(參事會員)</small> | 二 番 | 高橋柳太郎 | 三 番 | 木暮竹次郎 |
| 四 番 | 吉村平七 | 五 番 | 岩井彌平 | 六 番 | 新井清兵衛 |
| 七 番 | 樋口堅吉 | 八 番 | 小林竹次郎 | 九 番 | 井上一之 |
| 十 番 | 住谷常次郎 | 十一番 | 相澤吉平 <small>(參事會員)</small> | 十二番 | 蠟山政次郎 <small>(參事會員)</small> |
| 十三番 | 松井親民 <small>(議長)</small> | 十四番 | —— | 十五番 | 金子薰藏 |
| 十六番 | 瀧川文二郎 | 十七番 | 井上保三郎 | 十八番 | 友松喜平 <small>(參事會員)</small> |
| 十九番 | 田中輝司 | 二十番 | 福田儀兵衛 <small>(參事會員)</small> | 二十一番 | 岸龜吉 <small>(副議長)</small> |

二十二番 清水久太郎(參事) 二十三番 吉井梅次郎 二十四番 吉田庸橘
 二十五番 成田八百藏 二十六番 土谷全次 二十七番 小林春造
 二十八番 小坂橋 彦治郎 二十九番 小澤吉平 三十番 木暮彌平

市參事會 參事會は市長助役の外名譽職參事會員六名を以て組織し大正五年中二十回開會四十件を議決したり。

常設委員會 勸業、水道、土木、公園、學務、傳染病豫防の六部に別ち市會議員及市公民より委員を擧げ在りて常に市の行政を補けつゝあり。

市費 大正六年度に於ける高崎市の歳入歳出豫算は各拾五萬四千四百四拾七圓六拾錢にして、歳入に於ては市税の八萬壹千四百四拾八圓五拾壹錢を最とし、使用料及手数料の四萬七千七百九拾六圓六拾五錢之に亞ぎ、歳出に於ては教育費(經常費、臨時費、補助費を通じ五萬六千八百九拾參圓拾七錢)を最とし、公債費役所費等之に亞ぐ。

市税 家屋税附加税は市税中最大なるものにして其額五萬四千六百六拾九圓六拾八錢を算し、所得税附加税の五千九百貳拾參圓八拾五錢之に次ぎ、収入成績は何れも良好にして例年豫算を超過するの狀態にあり。

高崎稅務署 八島町に在り高崎市及群馬碓氷二郡を管し、署長は副司稅官岩田周作氏にして吏員は稅

務署屬十七名、雇員十名なり。

高崎專賣支局 鶴見町に宏壯なる建物を構え專賣局參事富澤充氏を支局長とし庶務、事業、製造、鑑定四課に分ち、出張所を本縣の吉井、埼玉縣秩父、長野縣松本、新潟縣小出雲、直江津、長岡、關原、新潟の八ヶ所に置き群馬縣一圓、埼玉縣の大里秩父兒玉三郡を管轄す、現在日々事務を執りつゝある者高等官三名、判任書記三十名、技手十二名、工師三名、囑託員六名、見習一名、雇員二十六名、巡視七名、看護手一名にして各出張所其他を合すれば約三百四十名に達し、高崎、小出雲、關原の三ヶ所に製造工場を有し職工約一千名(高崎工場は三百七十名)製造に従事し大正五年度の總賣高は五百參拾參萬九千圓に達したり。

高崎小林區署 八島町にありて多野、北甘樂、碓氷、群馬の四郡を管轄し山林屬二名、森林主事十名、雇五名



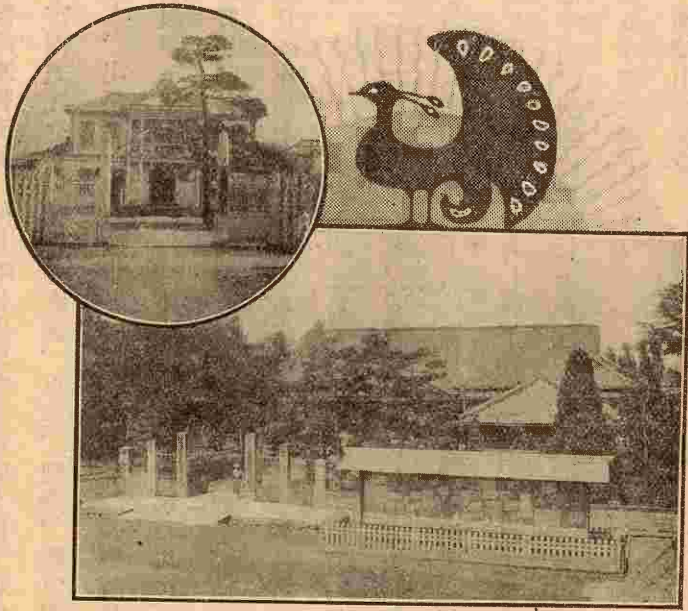
高崎稅務署

にて事務を分擔し山林技師沼澤隆太氏署長として之を統轄せり。

高崎警察署 は連雀町に在りて群馬縣警視乘竹映一氏之が署長たり、高崎市及群馬郡の大部分を管轄區域とし市内六ヶ所に巡查派出所を置く、署員としては警部一、警部補一、巡查部長六、巡查七十四名あり。

高崎區裁判所 宮元町に位置し判事柚木理次氏監督判事として以下三、檢事一、書記十一、雇七名を統べ、多野郡吉井、藤岡、鬼石、神川、北甘樂郡富岡、下仁田、碓氷郡安中、松井田、吾妻郡中之條、長野原、群馬郡金古、倉田等に出張所を置き一部を除く群馬郡及碓氷、吾妻、多野、北甘樂、高崎の各郡市を管轄す、所屬辯護士五名。

高崎警察署



高崎區裁判所

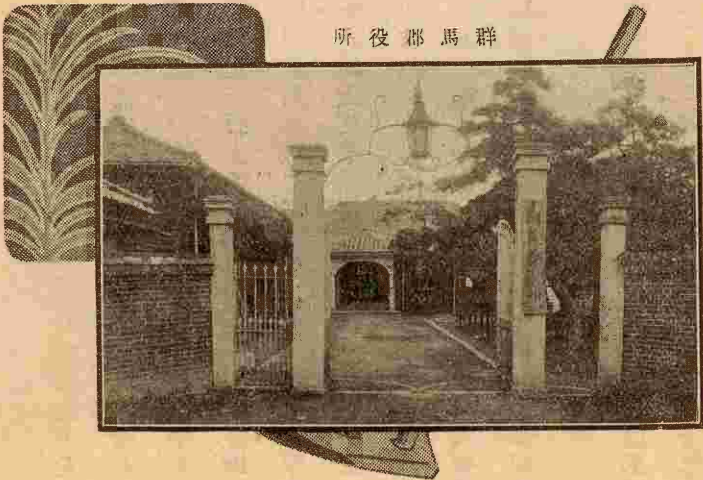
高崎土木管區 連雀町に在りて高崎、碓氷の一圓及長尾、白郷井二ヶ村を除く群馬郡、佐波郡芝根、玉村兩町村を管轄し、高柳虎三郎氏を主幹とし吏員九名にて事務を執りつゝあり。
高崎郵便局 連雀町所在橋洵造氏局長にして詳細は通信の項に記載しあり。

群馬郡役所 連雀町に在りて群馬郡を統轄し所員は二十餘名、橋本直次郎氏郡長たり。

其他

- | | |
|-----------|------|
| 前橋監獄高崎出張所 | 宮元町 |
| 新紺屋町郵便局 | 新紺屋町 |
| 四ッ屋郵便局 | 四ッ屋町 |
| 南町郵便局 | 南町 |
| 鐵道院高崎驛 | 八島町 |
| 同 飯塚驛 | 大橋町 |

群馬郡役所



【八】教 育

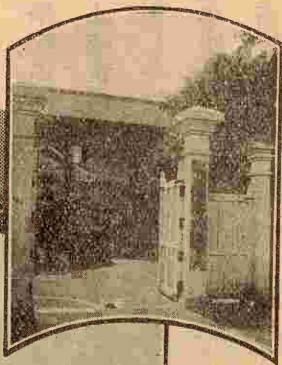
高崎市は元來商業を以て覇をなしたるも商人の學事に於ける思想疎く唯己れの名を署し帳簿記入をなし得れば足るとの觀念因襲をなし、教育に關する事蹟案外に尠なく、藩主大河内輝聲氏大に之に努めたりと雖も特記して誇るに足る可きものなし、然り而して幕末の期に至るや人文一般に進むに伴ひ漸やく教育の要を認むるに至り、藩主大河内氏宮元町石上寺を以て學校に充て石上寺學校と稱し市川左近氏をして教授の任に當らしめ藩士の子弟を收容したり、當時私塾に學習堂ありしも振はずして、石上寺學校のみ益々隆盛なりき、現今翻譯家として聲名を馳せつゝある高橋五郎氏及最近物故せられたる堤辰二氏の如きも當時の學校の出身にして、其後維新改變に際し烏川學校に改められ、幾程もなく明治五年八月高崎學校と改められたるもの現在の中央尋常高等小學校の前身なり、爾後年と共に教育は益々擴大普及せられ現今に至つては中學校、高等女學校、商業學校、小學校以下の施設全く整ひて教育機關の不足を告げざるに至れり。

群馬縣立高崎中學校 澤柳政太郎氏を校長としたる群馬縣尋常中學校の群馬分校として教諭峰岸米造氏主任となりて開校したるは吾が群馬縣立高崎中學校の前身にして時に明治三十年四月なり、當時學校は赤坂町の假校舎に在りしが、翌三十一年現在の上和田町に新築して移り三十五年第一回卒業式を擧げ

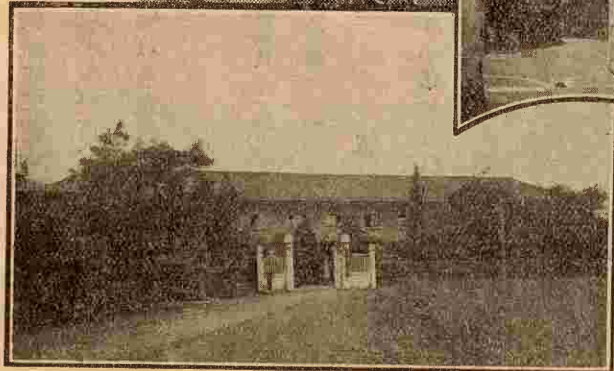
たるが、爾後年と共に實質と規模の向上を來し創立以來本年迄に一千三十一名の卒業生を出し、現在十四學級に分たれ五百七十一名の生徒を收容し職員は二十五名、文學士伊藤允美氏之が校長たり。

群馬縣立高等女學校 明治三十二年五月開校群馬縣高等女學校と稱し本縣に於ける最初の高等女學校にして當時今井退藏氏を校長とし三十五年六月第一回卒業式を擧げてより年と共に盛況を呈し四十五年群馬縣立高崎高等女學校と改稱して、今に至る、本年より更に補習科を増置す、開校以來本年迄卒業生を出す事一千百九名、現在は佐藤穂三郎氏を校長として十六名の教諭にて三百八十名の生徒を教育しつゝあり。

高崎市立甲種商業學校 明治四十一年の創立に



群馬縣立高崎高等女學校



群馬縣立高崎中學校

高崎市立甲種商業學校



係り松村明敏氏を最初の校長とし現在は坂口直馬氏校長の下に本科豫科を通じて十名の教諭は二百十四名の生徒を教育しつつあり、而して本校創立以來本科百三十三名豫科三百十一名の卒業生を出し卒業生は何れも左記の位置に就き優良なる成績を擧げつつあり。

自家營業	三一	銀行會社員	四三	商店員	二七
官公吏	一〇	他學校在學	一〇	在營	三
海外在留	四	死亡	五		

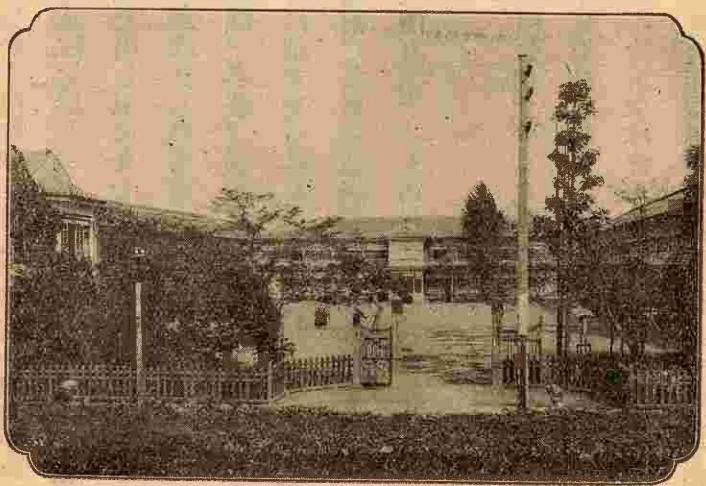
市立小學校 明治五年八月創立せられたる高崎學校は現在の中央小學校の前身にして爾後幾多の變遷を経て明治二十五年十月高崎尋常高等小學校となりたるが、其後學齡兒童は、漸次に累加し一校を以ては收容し能はざるに至りしより、明治三十五年四月八島町及請地町に二校を増設し、八島町なるを南尋常高等小學校と稱し、請地町なるを北尋常小學校と稱し同時に従前の小學校に中央の二字を冠せるに至りしが明治

四十一年學令改正せられ尋常科の義務年限延長せらるゝや南校の高等科を廢し中央校に併せ、大正四年更に弓町に東尋常小學校を増設して今に至れり、現在の職員學級兒童左の如し。

校名	校長	職員	學級	兒童		卒業生
				男	女	
中央尋常高等小學校	小林茂	三三	二八	高等科二二	二一	二二
南尋常小學校	土屋性一郎	二七	二四	高等科四四	四〇	四三
北尋常小學校	淺井繼世	二八	二二	尋常科七一	六六	七三
東尋常小學校	上原喜曾八	一四	一二	尋常科七一	六六	七三

私立國振學校 高崎市に現在せる學校中創立最も早きものにして其の創立は明治十一年なり、尋常小學校程度にして深井仁子氏校主として教員二名にて現在十二人の生徒を教育し四百六十三名の卒業生を出したり。所在宮元町。

私立濯來社 明治十二年柳瀬倉六氏に依つて北通町に創立せられ修身國語算術裁縫外二科目を教授し二名の教員に



高崎市立中央尋常高等小學校

依り二十二人の生徒を教育しつゝありて、創立以來の卒業者は三百十二人に及べり。

私立樹徳子守學校 山端息耕氏に依り明治三十九年赤坂町長松寺内に創立せられ尋常小學校を卒へざる子守兒女を收容教育し來りしが、近來著るしく發展の結果狹隘を感じ、大正五年現在の北小學校校内に新築移轉せり、而して創立以來既に二百七十九名の卒業生を出し現に九十九名を教育し居れり。

私立高崎裁縫學校 三十九年清水新一郎氏に依り柳川町に創立せられてより既に三百六名の卒業生を出し現在二名の教員に依り九十四名の生徒に修身、國語、裁縫、手藝、家事等を教育し居れり。

私立佐藤裁縫女學校 三十九年佐藤かね子氏に依り柳川町に創立せられたるものにして私立學校としては規模大に組織整へる方なり、教授科目は修身、國語、算術、家事、裁縫等にして本科を二年、普通科を一年半、師範科を一年とし現在七名の教員に依り六學級四百二十三名の生徒を有し卒業生八百十名に及ぶ。

私立吉田裁縫女學校 吉田百太郎氏に依り四十二年中紺屋町に創立せられ主として裁縫教授法、編物、修身を教授し既に三百四十名の卒業生を出し現在十七名の生徒を教育しつゝあり。

高崎徒弟夜學校 大正二年高崎市教育會の創立に係り商工の徒弟中尋常小學校卒業程度の者を收容し八十三名の卒業生を出し現在五名の教員に依り二學級七十五名の生徒を收容せり、所在中央尋常高等小學校内。

幼稚園 高崎市の幼稚園としては市立高崎幼稚園(園長心得三橋ヒロ)私立深井幼稚園(園長深井仁子)の二にして高崎幼稚園は明治二十一年の創立にて現在幼兒百十九名を、深井幼稚園は四十年の創立にて現在七十五名の幼兒を保育しつゝあり。

圖書館 高崎圖書館は高崎市教育會の事業として明治四十三年創立せられたるものにして現在和漢洋約七千冊の書籍を有し一ヶ年の閱覽者約一萬五千名に及ぶ。

【九】新聞雜誌

高崎市に於ける新聞事業は其の何に基因せるかは知らざるも從來目覺しき成績を擧げ得たるもの一としてなきは社會教育乃至人文發達の上に於て遺憾なしとせず、其の最も古きは吉田圓太郎氏に依つて創立せられたる「上毛自由新聞(?)」なりしも永續するに至らず、其の後大島不染、豐國覺堂氏等に依つて「坂東新聞」起り、續いて木檜吾川氏等に依つて「上野日々新聞」起り當時記者も所謂腕揃ひにて互に雄筆を馳せたりしも亦永續するに至らず、坂東新聞先づ倒れ上野日々新聞亦組織を改め次で前橋市の關東産業新聞に賣收せられ合併したるが、其の間坂東新聞は岡田佐一郎氏に依り復活せられ週刊より日刊に至りしも持續し得ずして復び週刊に歸し幾多の變遷を経て今に至れるが現在に於ける

上野新聞は 塚越勝三郎氏獨力にて經營し深井貞藏氏編輯長兼主筆として事に當り未だ他の地方新聞

に比し遜色なく高崎市に利便を與ふること大なり。

民聲新聞 は前橋市に於て栗田秀一氏に依り創刊されたるものを本年六月より理事組織に革め本社を高崎市に移し來れり、而して之が主腦者としては高崎市會議員岩井彌平氏及栗田氏總務として、事務に當り今や急速なる發達をなしつゝあり。

坂東新聞 は岡田氏の努力に依つて繼續發刊せらる、縣下發行の新聞にして當市に支局を有する上毛新聞は其の創刊が本縣最古のものだけありて紙面整ひ其の勢力も最も大なるが、上州新報群馬新聞亦各支局を有し相當の勢力を張りつゝあり、翻つて

東京新聞 の趨勢を見るに國民新聞及報知新聞は本市に各特派員を置き、他の地方新聞支局員其他に依りて兼任通信を受くる東京朝日新聞、東京日々新聞、やまと新聞、世界新聞、中央新聞と共に何れも群馬版(若しくは上武版)を發行し地方新聞を凌駕せんとするの勢力あり。

地方雜誌 としては見る可きもの一もなく東京其他に於て發行せらるゝ雜誌に依つて讀書子を満足せしむるに過ぎず。

【107】軍事

嘗て日清日露兩戰役に於て殊勳を現し遼東半島に高崎山の名を止めたる歩兵第十五聯隊の所在地とし

て軍事思想は一般に普及し他の都市に比すれば一日の長あるは何人も認むる所にして現在高崎人の軍籍に在る者、陸軍に於ては現役百九十八人、豫備役二百五十七人、後備役二百七十七人、補充兵役八百十八人合計一千五百五十二人、海軍に於ては現役五名、豫備役三名あり、左に高崎市として軍事に關係せるものを擧げん。

帝國在郷軍人會高崎支部 群馬縣に於ける在郷軍人會を總括せるものにして明治四十三年十月の設立に係り高崎聯隊區司令部内に事務所を置く、設立當時の支部長に任ぜられたるは陸軍歩兵中佐山田記愼氏(司令官)にして爾後年を閱する八年支部長を更迭する事七回にして現時の陸軍歩兵中佐子爵小倉英季氏に至り縣下二百八箇の市町村分會を率ゐ成績頓に揚り來れり、現在の役員左の如し。

支部長 子爵 小倉英季 支部副長 平野四郎 豊島 卓 理事 津留武彦 鈴木 廉 高山藤四郎 小暮龍助
監事 林 曄禮 清水留四郎 評議員 十三名

帝國在郷軍人會高崎市分會 高崎支部創設せられて間もなく明治四十四年一月の創立にして現在七百七十九名の分會員を有し軍人精神の振作、體育、其他平時に於ける軍事能力増進等を主なる目的として大に社會に貢獻する所あり、現在の役員左の如し。

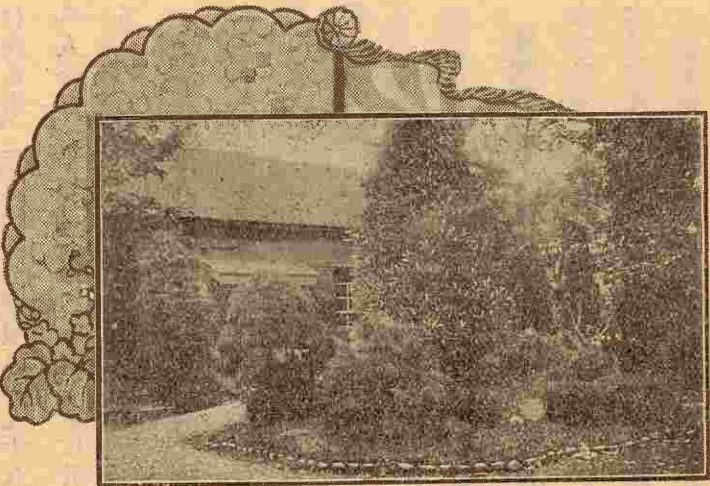
分會長 歩兵大佐橋 七三郎 副長 二等軍醫正 平野四郎 顧問 二等軍醫正 星野俊光 三等軍醫正 林 曄禮
歩兵少佐 橋 漸 理事 二十名

高崎尚武會

軍事思想の涵養、出征(若しくは在營)軍人の後援となり後顧の憂なからしめんが爲め、

高崎市民全部を會員とし明治三十七年二月創設されたるものにして役員としては内田市長會頭に、山崎助役副會頭となり市會議員を以て評議員に、各町組長を以て幹事とし着事業の効果を擧げつゝあり。

歩兵第十五聯隊 明治五年歩兵第三聯隊第一大隊として



高崎聯隊司令部

成り師團名譽射撃、銃鎗術競争に際し常に他聯隊を壓して優秀なる成績を示したる事は世人の知る所なり

り、設置以來聯隊長の交迭する事十四回大正三年古木大佐就任したるが、現在の幹部は左の如くなり。

- 聯隊長大佐 古木秀太郎 聯隊副官大尉 高橋和麿 聯隊附中佐 中谷定之丞 柴田繁枝 少佐 野村素一
- 第一大隊長少佐 岸孝一 第二大隊長少佐 佐藤 充 第三大隊長少佐 三宅廉士

高崎聯隊區司令部 明治二十一年高崎大隊區司令部として設置し少佐横井鎮雄氏司令官に補せられ高

崎、伊勢崎及埼玉縣熊谷、長野縣松本等に監視區を置き三縣を管轄し來れるが明治四十年現在の制度に改めらる創立以來司令官を代ふる事十三回にして現在幹部左の如し。

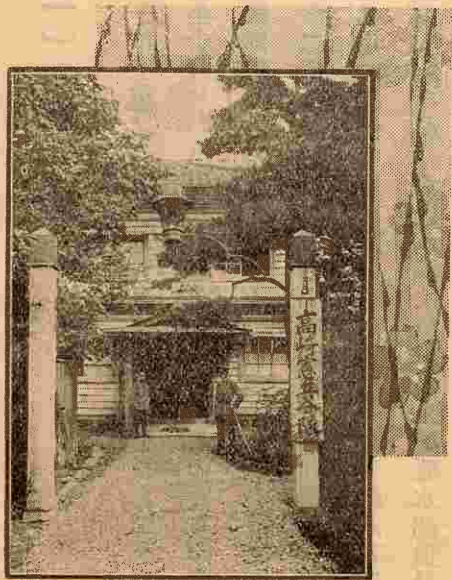
- 司令官中佐 子爵 小倉英季 副官大尉 津留武彦
- 附少佐 豐島 卓 大尉 鈴木 廉

高崎憲兵分隊 新町に在り、明治二十九年一月第

一憲兵隊群馬分隊として設置し大尉池田筆吉氏分隊長に補せられたるが爾後幾多の變遷を経て明治四十四年八月宇都宮憲兵隊高崎憲兵分隊となれるものにして現在は中尉田中政太郎氏を分隊長とし群馬縣一圓及埼玉縣の四郡を管轄しつゝあり。

高崎衛戍病院 歩兵第十五聯隊營内に在りて明治

六年設置されたるもの現在の病院長は陸軍三等軍醫正木村清氏なり。

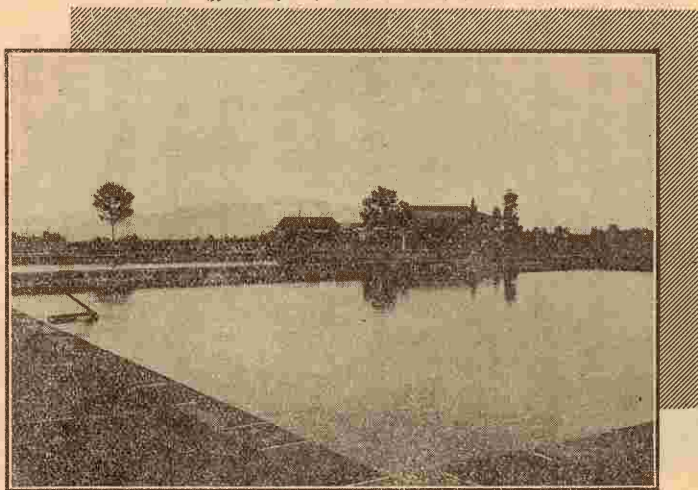


高崎憲兵分隊

雜纂

【一】水道

高崎水道浄水場



明治四十一年工事に着手し工費五拾八萬圓を投じ二ヶ年を費し四十三年十月其の第一期工事を終りたるものなるが其の後年と共に設備整頓し來り今や一千二百二十八個の放任専用栓、四百九十二個の計量栓、一百十七個の公設共用栓、四十八個の私設共用栓に依り全市民に給用され一ヶ年約八百萬石を使用されつゝあるが、水道水源は烏川の上流碓氷郡里見村に在り、水質極めて良好にして製絲事業等には最も適當し此の方面に使用せらるゝ量漸次多きを加へつゝあり。

【二】衛生と警備

水道の完成せるは衛生上市民の最も幸福とすべきものにして最近市内に傳染病患者數の著しく減退せるは一に之が爲め

なりと云ふも敢て過言にあらざる可く、最近一ヶ年中高崎市現住者に對する出生は一千三十名にして千分の二十四、七を示し、死亡者は七百三十名にして千分の十六、一を示せり。

病院 高崎傳染病院は 明治十五年八月創立せられたるものにして下和田町に在り、最近新たに病舎を新築し、市内醫師より院醫を囑託し、看護婦事務員を常置し約五十名の收容力あり、一ヶ年の經費は平均約貳千參百圓なり。

醫師其他 市内に開業する醫師の數は年毎に増加し最近六十一名となり、之を人口と比較すれば市民六百八十五人に對する醫師一人の割合なり、其他醫事關係者左の如し。

藥劑士 二十 齒科醫師 八 産婆 三十二 看護婦 六十

消防 最近高崎市に於て大火なく小火災と雖も著しく減少せるは水道の完成に依るものにして市内の消火栓は公設百七十一、私設四十一あり、高崎消防組は吉田庸橘氏を組頭とし八部に分ち役員二十四名消防手二百四十名を以て火防に任じつゝあり。

高崎警察署 (別項五二頁にあり)

【三】宗教及慈惠

神社と神職 本市の神社は郷社一、村社一無格社一にして神職は三名なり。

宗教及慈惠

寺院と僧侶 本市に於ける寺院は曹洞宗七、眞言宗五、淨土宗三、眞宗三、天台宗一、日蓮宗二、合計二十一にして之に屬する住職は二十名なり。

教會 本市に在る教會は神道に屬するもの四、佛道に屬するもの二、基督教に屬するもの四にして基督教には別に救世軍高崎小隊あり。

高崎育兒院 明治三十九年田邊鐵定氏に依つて創立せられたるものにして下横町興禪寺内にあり、現在保育しつゝあるものは三十餘名にして一ヶ年約貳千六百圓を要し主として補助金、寄附金及興行に依る利益を以て經費に充當しつゝあり。

【四】公會堂

高崎市は從來公會に適當せる會場の設備なく公會又は祝典等は其都度料理店等に依らざる可らず、斯くては不便極るのみならず又市の面目よりするも寒心に堪えざるより有志間には早くより之が建設の急なるを説く者ありしが偶々高崎商業會議所に於ても亦事務所新築の要を感じつゝありしより會議所は市と協議の上共同新築する事に決し會議所及市當時者より資金を得て本年六月起工したるもの請負者は市内請負業島田熊次郎氏にして設備裝飾費等を合し約參萬五千圓を要し十一月に入りて完成せり、建物は洋式百十二坪五合總二階建にして階上は大廣間とし公會の用に充て、階下は六室とし商業會議所事務室、

貴賓室、應接室、日本式控室、洋式控室、遊戲室等に充當せられあり。

【五】團體

同氣茶話會 高崎市の現在を説くに當り茶話會の存在は必ず逸す可らず、茶話會は當時の少壯實業家に依つて明治二十六年創立せられたるものにして友情の完美を目的とし家庭中心を主義とし來れるが、又商工業其の他の市發展に資したる事尠ならず、高崎圖書館の設立、高崎信用組合、上毛貯藏銀行の創立等は主として茶話會若しくは茶話會員の努力に依りて成りしと云ふも過言にあらざる可く、今回の公會堂に對しても盡力する所亦尠からざるなり、而して同會は彼の戊申詔勅煥發せらるゝや直ちに勤儉會を起し既に數萬の貯蓄を有し基礎は頗る堅く益々發展の域に進みつゝあり、現在の役員は左の如くにして會員は本市一流の人士を網羅せり。

- 工業部長 小嶋彌一郎 農業部長 櫻井伊兵衛 商業部長 須藤定八 理事 山田昌吉
- 蠟山政次郎 佐々木金三郎 住谷常次郎 小澤宗平 會計 清水久太郎 小坂橋彦治郎

高崎市教育會 明治三十五年群馬高崎教育會より分離創立せられたるものにして高崎市に於ける教育關係者は殆んど全部を網羅して會員とせり、而して其の事業としては通俗講話會、學術講習會、教育演說會等を毎年開設するの外圖書館を經營し無料にて一般に開放し常に教育の改良に資しつゝあり、現在

會員は名譽會員三、特別會員三十九、正會員百五十一名にして役員は左の如し。

會長 内田信保 副會長 平井八太郎 評議員 蠟山政次郎 以下十五名 幹事 小林茂 以下九名

高崎市醫師會 明治四十四年内務省醫師會規則に依り高崎市醫師會より改稱したるものにして現在會員五十七名役員は左の如くなり。

會長 平野四郎 副會長 高草木 又吉郎 縣醫師會代議員 小林春造 吉田庸橋 小田橋二
理事 高橋良雄 秋田聰太郎 評議員 田中兵作 以下六名

【六】 娯 樂

劇場 高崎市に於ける劇場としては株式會社高崎高盛座(八島町)及び藤守座(新紺屋町)の二あり、前者の創立は明治三十七年後者は明治十三年の創立にして藤守座は藤守文衛氏の經營なり。

寄席 寄席としては嘉多町に睦花亭あるのみ、明治三十一年に創立されたる松田亭より引續ぎたるものにして現在は吉田喜平治氏の經營なり。

活動寫眞 株式會社高崎電氣館は柳川町にあり、大正二年の創立に係る (會社の項参照)

花柳界 高崎市に於ける料理店は甲種二十五軒、乙種六十一軒あり。之に配するに藝妓大小約百名、酌婦約百七十名、藝妓は共同、三業兩見番に屬し主として新町(下)柳川町(上)に居を構え、酌婦は柳川

町新紺屋町嘉多町を中心とせる乙部料理店に於て客席に侍しつゝあり。

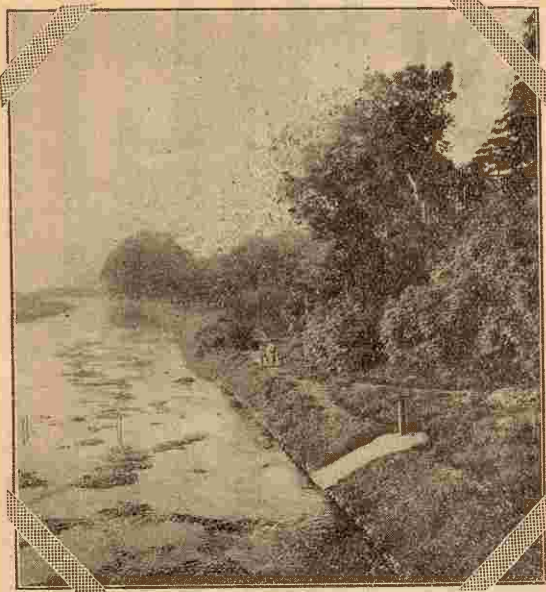
【七】 舊 跡・と 名 勝

高崎城址 往昔は和田城と稱せり、天文年間に和田兵衛太夫城主となり武田北條兩氏に隸屬し居りたりしも、天正十八年に至り改易さる、後ち井伊直政箕輪城主として入り此地をも兼領し居りたりしが慶

長三年に至りて此處に移り修造を加へ高崎城と改稱せり、其の後酒井家次、松平守長、松平信吉、安藤重信、大河内輝貞、間部詮房等城主の代る事六回にして享保二年再び大河内氏城主となり明治維新迄續けり、明治五年陸軍省御用地となり東京鎮臺分營を置き同十七年歩兵第十五聯隊に更められて今に至れり。

高崎公園 歩兵第十五聯隊兵營の南にありて頼政神社に隣接せり、明治九年始めて公開されしも其の當時は未だ狹隘なりしが漸次擴張し且つ聯隊

高 崎 公 園



舊 跡 と 名 勝

の工作地を併せるに至り今日にては七千四百坪を超え樹々も相當に古びて櫻樹躑躅等よく開花す、市の水道完成すると同時に大小の噴水は天上に高く、殊に脚下に鳥、碓氷の二川を配し近くは觀音山及び乘附、遠くは淺間の噴煙を望むあたり、四季を通じて眞に好個の公園と云ひ得べきなり。

英靈殿 高崎公園の一角に建てり、曩に高崎聯隊區司令部の管下なりし群馬、長野、埼玉三縣の戊辰以後國事に殉したる三千八百七十五名の忠魂を祀る。

賴政神社 高崎公園に隣接し眺望亦極めてよく參詣人常に絶る事なし、祭神は舊高崎城主大河内氏の先祖源三位賴政卿なり。

高崎神社 以前は熊野神社と云ひ古寛元年相模の三浦より勸請せしものなりしが井伊氏高崎城主となるに及びて高崎總鎮守として奉崇され明治に入りて郷社となり、明治四十年市内の小社を併せ高崎神社と改稱されたり。

駿河大納言の墓 通町大信寺の境内にあり、寛永九年、駿河大納言忠長卿將軍家の相續争ひより自暴自棄に陥り驕暴の振舞多く爲に五十五萬石を改易され高崎城主安藤對島守に預けられしが翌々十一年に至るも將軍の怒り解けず、遂に切腹するに至つて遺骸を玆に葬りたりしも未だ將軍家の怒りは解けず、墓標は鎖を以て圍はれしなり、故に今に至るも俗に鎖の御靈屋と呼ばれつゝあり、寛文三年罪を赦し鎖を取拂ひ今の靈廟を作られしが、忠長卿遺愛の松は、今も尙墓標の後ろに高く翠枝を垂れつゝあり。

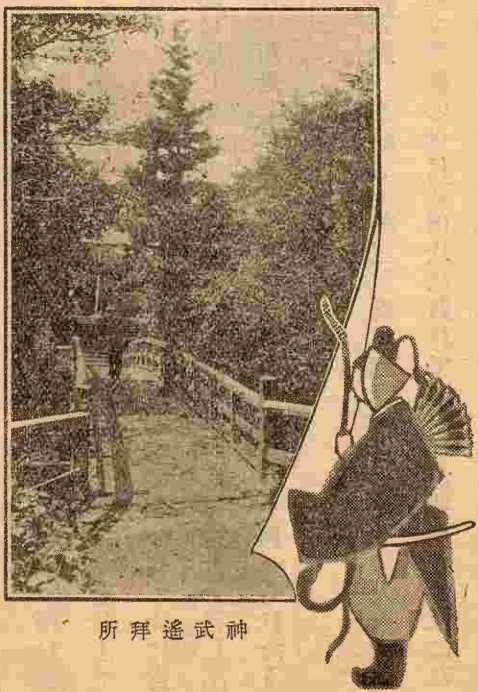
神武天皇遙拜所 上和田町に在り、明治十一年神道教徒の建設せしものにして、土地高燥、眺望頗る佳なり、殊に老櫻數十株ありて花時に至れば市人彌が上にも集り夜間の篝火は花に照り、動き得ざる迄賑ふなり。

神武の鑛泉 神武遙拜所の隣接地にありて上和田鑛泉と云ひ、リウマチス、體毒等には特効あり。

聖石 賴政神社の脚下烏川に在りて昔は利根に通ずる高瀬船の繫留地なりしと云ふも今は河中の巨石其の昔を偲ばしむるに過ぎざるなり。

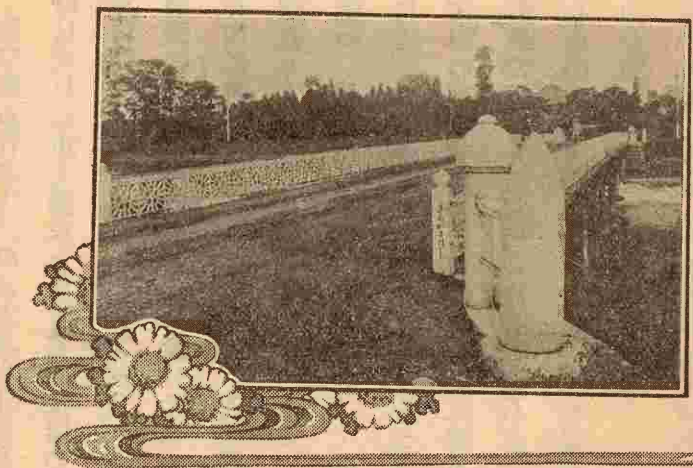
和田の三石 上和田の立石、圓石、下和田の方石を和田の三石と云ひ和田氏の愛玩せしものと云ふ、下和田の方石は俗にバケ石と呼ばれ若松町にあり、立石は高崎神社の境内に移されしが、圓石は割つて一片を天保の歌人武井世平の碑に、一片は元紺屋町善念寺の石橋にせりと傳へらるゝも詳かならず。

君が代橋 明治十二年明治天皇北陸御巡幸の際始めて架せられしものにして、歌川町より碓氷郡に通



神武遙拜所

君ヶ代橋



ずる仲仙道の要路に當り、觀月觀雪に佳なり。

佐野の渡 謠曲「鉢の木」に名を知られし佐野の渡は市外十二町群馬郡佐野村に在り、高崎より山名、藤岡の通路に當れり、舊記には佐野の船橋とあり、今より約六百六十年前佐野源左衛門常世冤罪に依つて貶せられ當時鎌倉街道（現在高崎市に鎌倉町の名あり）に添ひし此地に潛居せり、一日大雪に難められし行脚僧の宿を乞ひたりしが常世の貧は僧に爰を採らしむるの薪すら無かりしを以て秘藏の鉢の木を折りて爰を侷めたりき、僧は公明の名高き最明寺時頼公にて大に常世の志に感じて去りしが、鎌倉に歸るや直ちに常世を召し出し舊領を復せしめたる外、鉢の木に因む三莊を興へられたりと云ふ。

箕輪城址 高崎より約三里群馬郡箕輪村に在り、大永六年長野信業の築きたるものにして、其の子業政を経て業盛の世に武田氏に敗れて滅びしが徳川氏の世になりて井伊直政城主となりしも間もなく高崎に移り廢城となれり。

寺尾城址 觀音山の南、館山（群馬郡片岡村）に在りて新田義重の居城なりしと云ふ、今は其下、谿畔の民家を館と稱し、煙草の産地として名あり。

清水觀音 群馬郡片岡村にあり、高崎を距る約二十五町、眞言宗に屬し觀音は大同三年征夷大將軍坂上田村麿東夷征討の際勸請せしものと云ふ、別に田村堂在りて、高崎藩士の小坂戰死者の木像合祀しあり、山上より見下せば高崎の市街は烏川を距て、指呼の間に在り、關東の平野を一眸の裡に收め、土地高燥隨て眺望は極めて佳絶なり、十月十日夜及び一月二日は縁日として集ひ來る參詣人十萬を超え頗る雜踏を極む。

山名八幡宮 高崎より一里十八町、上野鐵道に依つて走らば約二十分にて到着す、昔宇佐八幡宮を勸請せしものにて、文明年間新田氏が、源家の守護神たるの故を以て宮殿を再建し、其の後益々崇敬され今尙春秋二季の八幡祭には、遠近の參詣人雲の如く集まり、上野鐵道は爲に臨時列車を運轉す。

小林山達磨寺 仲仙道を高崎より一里半、碓氷郡八幡村に在り、厄除十一面觀世音を本體とし別に達磨大師を安置せり、毎年一月七日の縁日には近郷近國の信者集り來り其數十萬と算せらる、路上張子の達磨を嚮く者多く、俗に小林山の達磨市と呼ぶるなり。

小祝神社 延喜式神社にして高崎を距る十二町群馬郡片岡村に在り、安産の神として信仰淺からず明



資本金五十萬圓



株式會社

上毛貯藏銀行

無限

高崎市九藏町

電話百十六番
振替口座東京八五七五番

市内支店

本町、田町、新町、
旭町、大橋町

■ 本支店何れにても出入御隨意に候

■ 壹錢以上何程にても御預り申候

■ 貯金獎勵の為貯金函無償御貸申候

- 荷爲替、代金取立精々御便利に取扱申候
- 貸出金、手形割引精々低利に御辨用申候
- 日曜日も平日通り營業仕候



高崎商工業案内 終

舊跡と名勝

治の制に依り郷社に列せられたり。

八幡八幡宮 小林山より近く碓氷郡八幡村に在り、村上天皇の天徳元年の鎮座にして、前九年の役に義家凱陣を祈られしと、今の隨神門は源賴朝の建立と傳へらる。



價廉銘酒

米酒醇釀

夏秋熟



酒次政出純元造釀

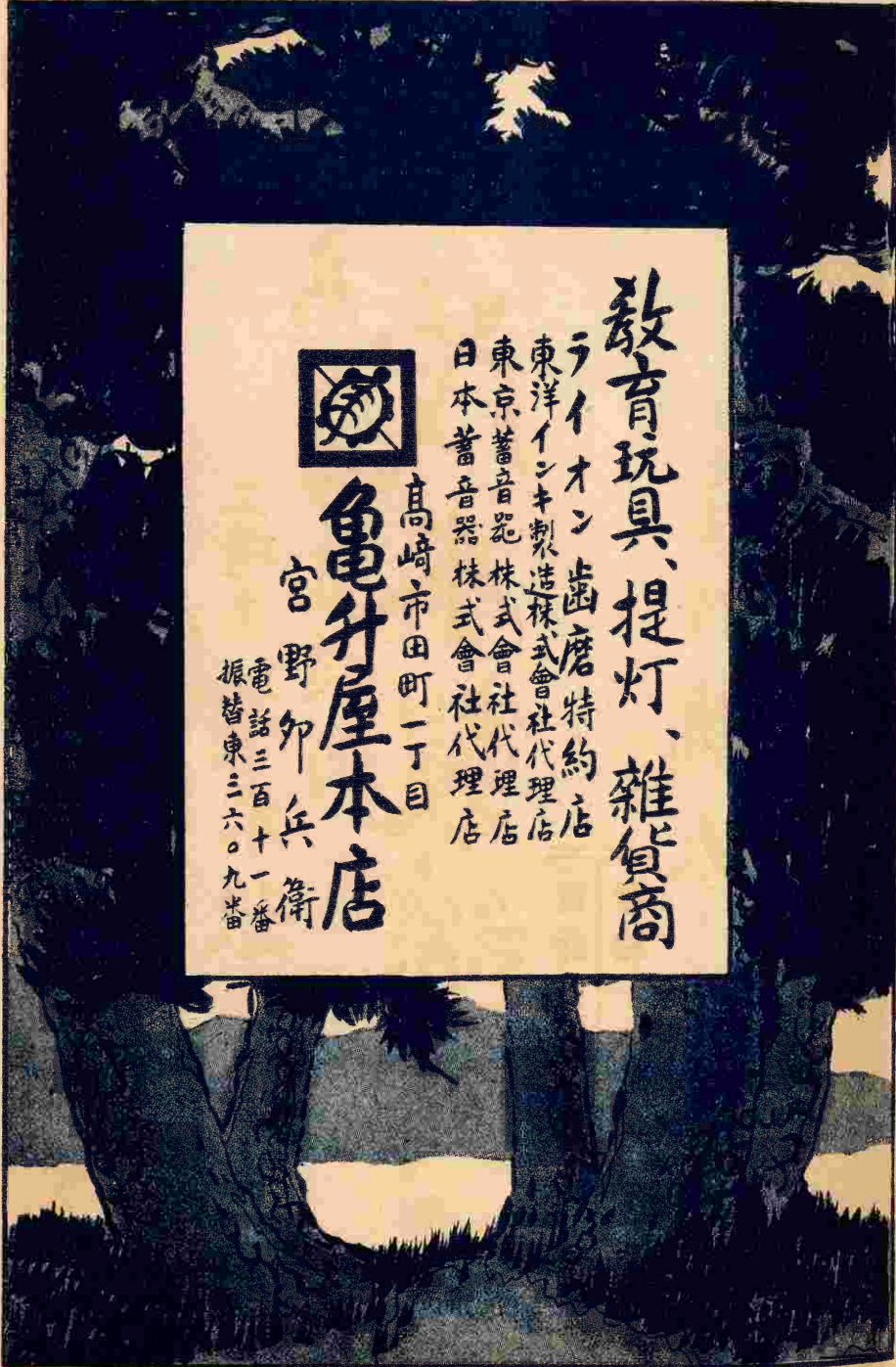
第五十二百酒電

製精精肥米
粉麥米料穀

本橋本三郎商店

高崎市臺町五番地

電話帳 六二番
電略(八)又(ハシ三)



教育玩具、提灯、雜貨商

ライオン 齒磨特約店
東洋インキ製造株式会社代理店
東京蓄音器株式会社代理店
日本蓄音器株式会社代理店



高崎市田町一丁目
龜井屋本店

宮野卯兵衛
電話三百一十一番
振替東三六〇九番

高崎市並榎町

工場主 茂木惣兵衛

横濱市并天通三丁目番地

茂木製糸所

主任 橋本清七

電話 三七三番
電略 (七七)

電話 二六七番





☐ 資本金五萬圓

☐ 營業項目 貨物運送、代金取立
代金立替、貨物保管

上毛高崎驛前

△ 信永運輸株式會社本店

電話 一四番
電路 (イリ一) (シン)

信越線飯塚驛前

△ 信永運輸株式會社支店

電話 四一六番
電路 (イリ一) (シン)

社長 小島 彌平

常務取締役 淺井 新九郎

◆ 諸國疊表花莫塵問屋 ◆

高崎市田町

福田屋號

久
住谷喜平商店

電話 百三十二番

振替 東京 二〇一五八番

◆ 傘麻細工類草履材料一式 ◆

群馬縣 生絹太織 商同業組合

高崎市田町三十五番地

電話 百二十七番

高崎市中紺屋町三十七番地

中島 仙助

電話 一二五番

高崎市寄合町二十二番地

中島合資會社

電話 一六番

高崎市本町四番地

櫻井 忠三郎

電話 五五番

染絹 太織

生絹 太織

買繼 問屋

高崎市田町八十九番地

小澤 吉平

電話 一二八番

高崎市新町四十六番地

吉野 藤一郎

電話 三二番

高崎市田町三十番地

小山 眞木太

電話 三四番

高崎市連雀町八十九番地

合資會社 市田商店

電話 五一六番

明治二十九年創立
 銀行一般業務敏速取扱



株式會社 高崎積善銀行

高崎市田町甲第二十二番地
電話 七 番

公債諸株式賣買
有價證券擔保貸付

勸業貯蓄債券賣買
古金銀地金賣買

高崎市九藏町百〇六番地

平須藤清七商店

電話 高崎 十九番
振替 東京 五九五二番

帝國生命保險株式會社
東京火災保險株式會社

代理店

御料理仕出し
 三ツ海屋號
 小林久兵衛
 高崎市森多町
 電話百十三番

煉油
 水油
 石油

商

サ
 小林新吉商店

高崎市本町七十番地

電話三一四番
 電器キ又シン

雜穀
乾物
菓子
蜜柑

高崎市本町九十八番地

久秋山萬吉

電話 二百五十九番
電略(アキマン)又ハ(アキ)

高崎市寄合町

株式會社 高崎銀行

電話 六番
振替東京四四四一番



多野郡新町驛

株式會社高崎銀行

新町出張所

電話 五番



紙

文

房

具

商

高崎市九藏町
余大和屋號

新井清兵衛

電話 二〇八番
振替 東京 四七三番

日本煉瓦製造株式會社
愛知セメント株式會社 特約販賣
磐城セメント株式會社

高崎市八嶋町

井上商店

電話 一四一番

元賣發造製油石止火印鷹

石油洋蠟
機械油類
空罐
返紙封筒
カーハット

卸 高崎市連雀町

商 **高** 高木商店

商

電話 三一二番
電畧(夕)又ハ(夕力キ)

目科業營

生絲繭絹布鐵道積陸送

東京本三立社代理店

上州高崎市停車場前
福澤荷物方

電話 十七番・電路(フ)
振替東京 二二九二三番

上州富岡町停車場前

福澤荷物方

電話 十七番・電路(フ)

營業主 福澤仁太郎

其他諸貨物運送、運送保險、代金取立

米雜穀肥料販賣

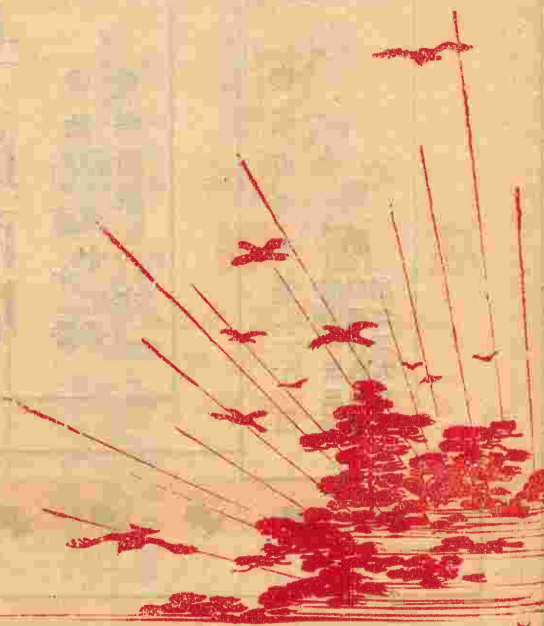
高崎市停車場前

山 横山支店

横山省三商店

電話 四十七番

電畧 (ヨコ) 又ハ (ヨ)



營業科目

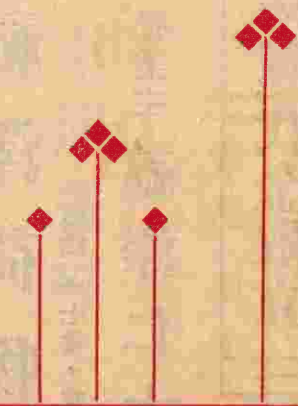
罐詰類	和洋酒	塗料	賣藥	新藥	醫藥
醬油	清涼飲料	セメント	寫真材料	醫療器械	工業藥



社會名合

店商澤小

地番一十四町藏九市崎高
番九二一話電
番三〇六五京東座口替振



貨物運送 確實 勉強



合資
會社

上野運送店

高崎市停車場前
交計加盟店

代表社員 上野登喜一

電話二〇番・電略(ウ)
振替口座東京六六五五

蠶絲仲次商

高崎市停車場前
下星野正三郎商店

電話(長百十一番)
電信略號(ホ)

本店

蠶絲貿易商

横濱市辨天通三丁目

電話(特長一三三番)
(長四六九〇番)
(短二五九六番)

鏡
橡額
子硝板

店子硝長玉

目丁一町田市崎高
番九二四崎高話電
番四六六〇二東振

T.D.

電業社

電氣機械
器具諸材料

高崎市連雀町郵便局前
電話連接四百二十九番

常盤石油商店

高崎市旭町百貳拾四番地

電話 五六六
電畧 (卜キ)

日本石油株式會社製品販賣店



- ◆ 椿製あやめ香油
- ◆ あやめ香カタスキ
- ◆ 花の香ギンダシ

製造元

高崎市田町

以世田商店

振替東京一八六三六番



寶田石油株式會社專屬店
ライジングサン石油會社洋蠟部代理店
英國リバープル火災保險會社代理店
日本石鹼株式會社代理店

高崎市旭町百六十七番地

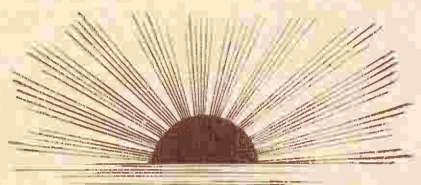
旭石油商會

電話 三〇四番

宇都宮市川向町七十五番地

旭石油商會出張所

電話 一四五番



菊印裏地發賣元

高崎市布田町

三 淺見呉服店

電話 三四四番



内外各種肥料完全肥料販賣
肥料委託配合應需

高崎市旭町百四十九番地

小嶋製肥所

店主 小嶋亮四郎

電話 三〇三番

資本金 五百萬圓

本社 東京市日本橋區
佐内町三番地

高崎市八島町五十八番地 (電話 一〇番 五四五番)

内國通運株式會社 高崎支店

支店長 萩 鈔次郎

電話 六二二番



貨物の多少に拘はらず御用命を乞ふ

米

米

米穀肥料商

本店

石

石井伊三郎

群馬縣碓氷郡安中町

電話 一〇番
電略 イシイ

出張所

石

石井出張所

電話 一四番
電略 (イシイ)又(イシシ)

米

米

前 縣 塚 飯

店計巡計交社會式株送運治明

所張出店送運口關

番一十六 崎高話電
(メOI)又(OI) 號略信電
地番二〇百町橋大市崎高

明

前 縣 崎 高

店引取縣崎高社會式株送運本日
店計巡計交社會式株送運治明

店本送運口關

(イメO)又(O)略電・番三二話電
番一七二四 京東 座口金貯替振
地番五十六町島八市崎高

運

輸

百

般

取

扱

主 店
郎三耕口關
白 敬

最 新 べ ン ト 式

金庫界革新の機會來れり此時此際新時代の
 新要求を充す可く出現せるを松浦式壓曲機
 を以て製作せし松浦製ベント式金庫とす

◇價高きが故に貴からず實用に適するを貴しとす◇

松浦金庫

圖解定價表
 御申越次第
 贈呈仕候

- ☐ 技術優秀
- ☐ 品質精良
- ☐ 體裁壯麗
- ☐ 價格低廉
- ☐ 耐久保證

諸官衙郵便局
 銀行諸會社
 金庫御用
 美術手提金庫
 御販賣

石藏煉瓦
 土藏扉
 各種

東京市神田仲町一丁目九番地

松浦新太

電話 下谷長一九七一番
 振替 東京二〇〇〇四番

高崎市八島町

近藤和作

電話 二二三五番
 振替 東京一五二八三番

松浦金庫 群馬一手代理店

和洋紙具
 文房具



龜舛屋紙店

高崎市場
 電話 四十九番

安全第

高崎市田町二丁目
合。鍋屋金物店

電話二七一番

廉價販賣は

月並の店の

月並語

薄利多賣は

獨り弊店の

専用語

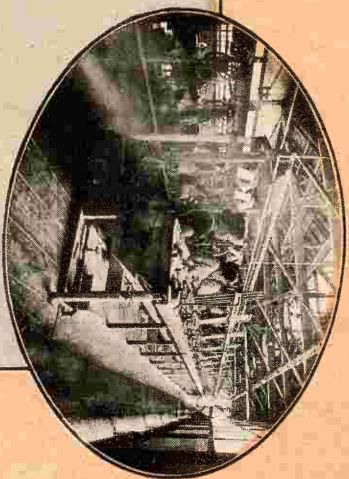
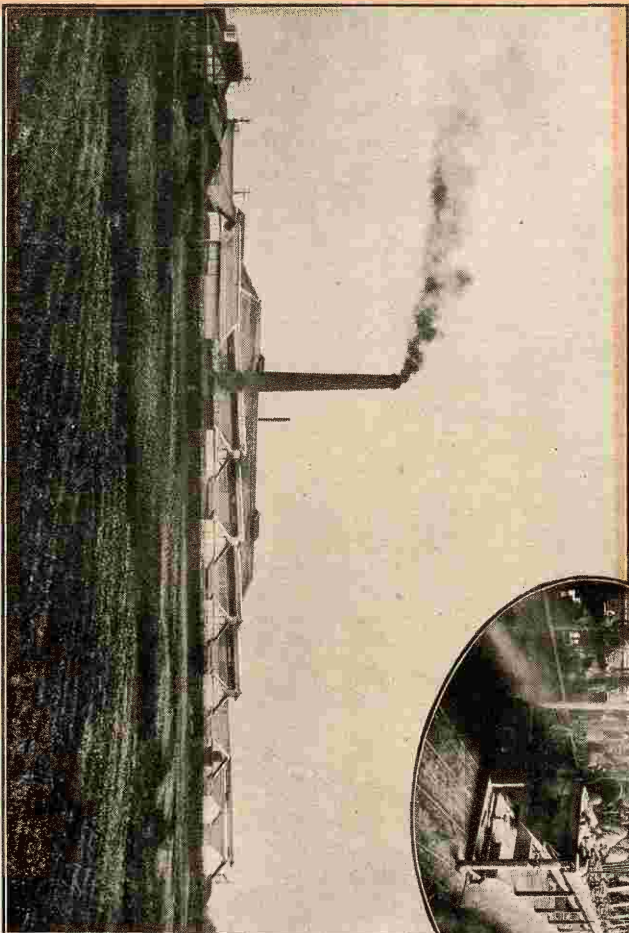
製絲織物



株式會社

龍榮社

電話四二〇番





株式會社

第二銀行高崎支店

高崎市九藏町

資本金 壹百五十萬圓 (全額拂込済)
 積立金 壹百六拾七萬圓
 繰越金 拾五萬五千餘圓



電話
 第二番 第三六〇番

本店
 支店

横濱市本町三丁目
 群馬縣高崎市九藏町
 同 前橋市本町
 同 東京市日本橋區室町
 同 神奈川縣橫須賀市旭町

取締役頭取 原嘉兵衛
 取締役 增木 嘉兵衛
 同 茂木 惣兵衛
 同 原善三郎
 同 安部 幸兵衛
 同 監査 金子 政吉

商工人名錄

業別	商名	電話	電話番號	商號	營業所	所得稅	營業稅
糸商	松山右三郎	四五	四五	松山右三郎	本町	一〇、三〇〇	三、六八〇
同	小森善吉	四五	四五	小森善吉	同	六、二五〇	二、二五〇
同	住谷常次郎	二五二	二五二	ふくだや	田町	三、二七〇	五、三五〇
同	青木勘之助	三四三	三四三	白木屋	同	一、二五〇	三、九七五〇
同	荒井 〇	二二七	二二七	和泉屋	中紺屋町	三、七二〇	七、三五〇〇
同	吉田吉次郎	三四〇	三四〇	精真社	九藏町	三、六四〇	三、九八〇〇
同	櫻井仙次郎	一一一	一一一	松屋	本町	三、七四九〇	四、七三六〇
同	鹿野正太郎	二二五	二二五	〇	〇	〇	〇
同	小川安藏	七五	七五	九一屋	本町	一、六二〇	四、一七〇〇
同	〇	〇	〇	小川屋	同	一、六〇一〇	三、〇六〇〇

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
營業	三三三〇	八二五〇	連雀町	樋口		樋口 豊治
豆	二〇七〇		同	中村		中村 鑑三郎
陶器	三三三〇		同	水村		水村 傳次郎
茶	五五七〇〇	五六七五〇〇	本町	水村	二二三	水村 傳次郎
同	三三三〇〇	三三四一〇	同	駒井園	五三四	駒井 八廣吉
同	四三〇〇〇	四七二四〇	田町	豐田茶舗	一六六	豐泉 倉之助
同	六八七〇	五二二一〇	同	駒林園	六二二	駒林 榮之助
同	五五〇五〇	三六〇九〇	連雀町	金子屋	三七二	神山 才次郎
同	四九五四〇	四九二一〇	相生町	釜久	二二五	中島 新藏
同	二二三五〇	六二五〇	田町	水本	三三二	法師 松五郎
同	三三三〇〇	三三三六〇	同	藤屋	一九	須藤 清七
兩替	一三、七〇〇	三三、六六〇	九藏町	藤屋	三三三	須藤 清七
綿	三、四〇〇	二、二五〇	本町	金澤屋	五七一	本木 兼太郎

わり

ち

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
同	六六〇六〇	九五四六〇	相生町	蛭子屋	二六〇	友松 喜平
同	一〇、四〇〇	一〇、五〇〇	田町	信濃屋	四四	瀬下 清二郎
乾物	一〇、五八〇	一八〇三〇	本町	信濃屋	二五九	秋山 萬吉
同	二、三七〇	一、六九〇	同	信濃屋	二二〇	堺 米次郎
同	三、四〇〇	一、二五〇	住吉町	角屋	三三三	本元 米次郎
同	二、一五〇	七三五〇	九藏町	角屋	四一四	佐藤 金八
紙	四八、二〇〇	一〇、五九〇	本町	白木屋	三三〇	横山 文四郎
同	五七、五〇〇	四三、〇九〇	九藏町	大和屋	二〇八	新井 清兵衛
同	六、〇〇〇	二七、二〇〇	田町	龜升屋	一四九	宮野 金五郎
同	四八、二五〇	一七、二七〇	同	福田屋	三七八	杉浦 新三郎
同	二四、二一〇	七、五〇〇	同	玉屋	二〇	大塚 梅太郎
同	四三、二一〇	二八、三六〇	同	中屋	四三九	笠原 長次郎
同	三三、九七〇	二八、四七〇	同	新月堂	三六〇	戸塚 常吉
菓子商	三六、三九〇	二〇、七〇〇	本町	新月堂	四四〇	米山 守哉
菓子商	六七、二九〇	四七、二一〇	連雀町	さん田	四七四	浦野 正之助

か

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
菓子種商	四・四〇〇	二・八七〇	連雀町	日英堂	二〇三	清水濱吉
菓子種商	三・四〇〇	一・三八〇	同	松浦	三〇二	松浦吉次
菓子種商	三・八二〇	一・八七七	同	近新	二七三	岩崎新六
菓子種商	三・六八〇	一・八九二	新町	みやげ屋	二〇一	大谷金之助
菓子種商	二・八六二	六・六〇〇	新田町	太陽堂	一一七	風間勇右衛門
菓子種商	三・四七二	三・七八四	寄合町	同		加納良吉
菓子種商	二・六四七	一・四八七	住吉町	同		島田良作
菓子種商	二・〇九四	一・八一七	同	龜升屋本店	二一一	井田源太郎
菓子種商	六・九八〇	五・九三〇	田町	形半	三三七	宮野卯兵衛
菓子種商	五・六〇〇	一・〇九五	柳川町	糸庄	三三九	秋池半藏
菓子種商	三・四五〇	八・六二〇	本町	篠屋	一一八	松本庄八
菓子種商	三・六・七〇	一・七五〇	田町	和泉庄		篠原茂三郎
菓子種商	三・六〇〇	四・九・九五〇	同	木戸又	五三	吉田庄八
菓子種商	三・七・三〇	五・七・六一〇	中紺屋町	同		木戸又三郎
菓子種商	三・〇・一〇〇	二・八・五七〇	新町	同		富田省三
菓子種商	三・二・〇・八〇	三・三・二〇	新田町	同		澁澤伊作

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
同	二・四・三・六〇	一・八・八一〇	同	同		武井角次郎
同	三・〇・二・五〇	三・七・二・五〇	新喜町	伊藤		小池梅太郎
同	三・五・三・四〇	四・七・三・三〇	龍見町	同		伊藤兼太郎
同	二・〇・五・七〇	二・七・〇・〇〇	下横町	同		清水象藏
同	三・〇・三・六〇	一・〇・四・二〇	柳川町	同		上宮覺太郎
同	二・二・一・四〇	八・九・二〇	住吉町	同		山口徳次郎
同	二・八・四・〇〇	三・九・二・五〇	田町	同		橋本嘉四郎
同	三・〇・二・五〇	三・三・一・〇〇	翰町	小野屋	四五七	神保竹次郎
洋物商	三・八・七・八〇	二・二・四・五〇	本町	糸屋	六三四	樋口友吉
洋物商	三・三・六・二〇	二・〇・五・五〇	九藏町	結城屋	二四八	松島新七郎
洋物商	二・一・四・七〇	八・八・八・五〇	田町	龜升屋	一四四	小林元次郎
洋物商	三・八・五・六〇	二・三・三・三〇	同	福田屋		住谷隆
洋物商	三・三・一・九〇	一・九・九・二〇	同	伊勢屋	五三〇	土橋竹次
洋物商	三・三・三・五〇	一・八・二・七〇	同	中村屋		鈴木伊三郎
洋物商	二・四・七・六〇	一・三・八・〇〇	同	糸屋		樋口熊吉

營業別

う

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
魚類商	一九四・九九〇	二九・三〇〇	本町	信柳	一四三	臼田柳吉
同	八二・〇〇〇	八七・六〇〇	同	小山屋	二六六	荒木利兵衛
同	四八・〇五〇	二九・四九〇	同	飛驒屋	一七〇	田原金次郎
同	三三・九〇〇	二一・六〇〇	同	山口屋	三三三	小澤松次郎
同	五七・一〇〇	五・二一〇	田町	淀屋	三三三	石田金次郎
同	四八・七〇〇	四九・六四〇	連雀町	大竹屋	四二一	田中與四郎
同	二四・六五〇	七・八七〇	相生町	川口屋	四二一	大竹忠吉
請負業	二六四・〇五〇	五八・七八五〇	八島町	同	同	井上保三郎
同	二一・九〇〇	三〇・五六〇	同	同	同	井上米三郎
同	四六・五〇〇	一九・四七〇	同	同	同	栗田源八
同	六六・三三〇	三四・四一〇	新町	同	五四二	澤木金之助
同	五四・〇〇〇	三二・七五〇	同	同	同	瀨川金太郎
同	二〇三・三九〇	二八・四〇〇	南町	小松川	四〇二	德田鹿藏
同	一〇七・八五〇	一〇・五四五〇	同	同	同	德田市太郎

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
同	三三・〇〇〇	—	下和田町	—	—	宮越幸作
同	八八・〇〇〇	五五・〇三〇	羅漢町	—	五四七	島田熊次郎
同	六四・五〇〇	三四・三四〇	柳川町	—	五〇五	新島清吉
同	七八・四〇〇	四三・四八〇	通町	—	—	富田幸太郎
同	二〇・〇〇〇	三三・〇〇〇	末廣町	—	—	熊野清七
同	四六・〇〇〇	三九・〇〇〇	八島町	明石屋	二三	關口耕三郎
同	四一・〇〇〇	—	同	福澤	一七	福澤仁太郎
同	—	—	同	—	—	—
同	二七・五〇〇	—	新町	—	—	金井金次郎
同	二〇・一〇〇	一四・五〇〇	鞘町	—	—	高見澤一衛
同	二〇・一〇〇	一七・四七〇	同	—	—	澁谷金次郎
同	—	—	同	—	—	—
藥種商	二六・一〇〇	一四・〇五〇	九藏町	大津屋	三五二	飯塚吉平
同	九八・七〇〇	二二・〇六〇	赤坂町	大津屋	一一	瀧川喜平
同	三八六・四〇〇	四八九・九八〇	田町	大津屋	一一三	相澤吉平
同	二八・四〇〇	三七・二五〇	連雀町	天神堂藥局	二五二	井上一之

營業別

營業稅

所得稅

營業所

商號

電話番號

氏名

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
小間物商	三・四・一〇〇	二・三・七・一〇	本町	若松屋	四二五	須田清太郎
同	二八・三〇〇	一・二・八・〇〇	田町	こくれ	一一二	木暮彌平
同	三・一・五〇	七・三・五〇	同	金子分店	五三六	金子四郎
同	三・七・二・八〇	三・七・九・八〇	新紺屋町	金子本店	四六三	金子織衛
同	三・七・三・九〇	二・〇・五・〇	本町	菊水		清塚佐太郎
古物商	四・四・〇〇〇	三・四・一・三〇	連雀町	中村屋	五二五	吉川まゐる
麴商	二・三・四・〇〇〇	一・〇・一・五〇	元紺屋町	糶屋		飯島ふみ
鐵物商	一・二・四・五〇〇	一・七・二・五〇	本町	福田屋	四八	小保方元吉
同	七・八・五〇〇	五・六・七・四〇	九藏町	小松屋	五四	小林具五郎
同	二・四・〇・五〇	八・九・五〇	同	佐渡屋		永山源平
同	三・四・六・八〇	二・五・〇〇	同	鍋屋	四三三	倉地淺次郎
同	二・九・六・四〇	一・一・〇・〇〇	田町	鍋屋	二七一	阿部榮助
鐵工業	三・四・三・四〇〇	三・六・四・〇〇	歌川町	小嶋鐵工所	四一五 一四七	小嶋彌平

て

あ

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
荒物商	二・五・九・〇〇	九・六・〇	本町	いせや		服部タカ
同	二・二・〇・〇〇	六・五・五〇	同	松屋	五七八	淺川彌太郎
同	一・一・〇・九〇	一・六・三・〇〇	九藏町	さしや	四三	岸龜吉
同	七・〇・三・〇	四・九・三・〇	同	倉上		松本太助
同	二・五・一・五〇	一・〇・六・二〇	同	釜屋		川端家壽市
同	二・〇・八・七〇	六・二・五〇	同	寺田商店	三四九	池上清太郎
同	五・五・四・〇〇	二・二・五・五〇	赤坂町			寺田永四郎
同	二・五・〇・五〇	二・二・〇・〇〇	歌川町			清水鶴吉
同	四・一・一・八〇	三・四・二・四〇	大橋町			都丸宮太郎
同	五・八・七・〇	四・〇・四・〇	住吉町	むらたや		神成傳吉
同	二・四・一・〇〇	三・五・七・三・六〇	田町	福田屋	一三三	住谷喜平
同	二・九・三・八〇	二・三・一・五〇	同	松屋	二七二	渡邊芳太郎
同	三・一・三・三〇	一・三・八・七〇	同	近江屋		橋本完逸
同	二・四・七・五〇	七・三・七〇	同	倉屋		市村常太郎
同	三・三・九・八〇	八・三・〇〇	同			高橋庄平

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
材木商	七〇・七〇	八二・七〇	末廣町		四〇三	中島慶藏
同	二五・七五	二〇・八七〇	同	古久松	六一〇	中曾根金四郎
同	五四・九二〇	六二・四八〇	同	近江屋	三三三	中曾根松五郎
同	三四・八〇〇	三二・七四〇	赤坂町	古榎屋	四二三	西澤安兵衛
同	四六・五〇〇	三二・七九〇	住吉町		四四八	小林榮三郎
同	六〇・〇〇〇	二〇・二二〇	柳川町			黒岩源十郎
同	四八・四〇〇	二八・五七〇	弓		四五九	中曾根忠太郎
同	三〇・七五〇	九四・〇〇	旭町	九佐	五二一	猿渡大次郎
同	二二・九五〇	五三・七〇	寄合町	竹道	五六一	原澤丑五郎
同	二七・八〇〇	一八・四〇〇	宮元町		五五五	櫻井八代吉
同	二四・五〇〇	六八・五〇	南町	中村屋	三六四	本多清美
同	四一・四〇〇	二二・九〇〇	新喜町		四四九	中村作太郎
同	二五・三〇〇	六・三五〇	連雀町			馬場直吉
同	四三・五〇〇	三六・六九〇	鞆町	三上商店	五二七	三上六兵衛
同	二五・三〇〇	二六・五二〇	檜物町	信濃屋	四四三	古田龜之助
同	三〇・六一〇	三三・一〇〇	八島町		六二六	松本儀八

き

同	三〇〇・九〇	一七・五〇〇	同		五五一	矢島孫三郎
生絹太織 販賣業 仲買業	三七・四〇〇	一八・七七〇	鞆町	絲屋	四二〇	浦井柳平
生絲商	一〇八・〇〇〇	一一・〇〇〇〇	八島町		四一一	星野正三郎
牛豚肉商	五四・九〇	四六・九四〇	新町	住吉屋	三四一	加藤平吉
同	二五・八〇	一七・七五〇	新田町		四二四	坂本仲次郎
同	二七・一〇〇	一五・〇六〇	柳川町	信田	二八	信田藤藏
牛乳搾取業	五二・四〇	一九・三五〇	同	栗本牧場	二五〇	栗本信作
味噌醬油製造	二二・〇〇		常盤町	藤野屋		佐藤金一郎
質商	二四・三五〇	一〇・七〇	並榎町	岸屋		岸市藏
同	六四・二〇〇	五八・八九〇	住吉町	岸屋		岸啓三郎
同	四五・九七〇	二七・〇三〇	山田町			茂木菊松

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
質商	三九・二〇	四七・三〇	樺町	堀越		堀越慶太郎
同	二二・七〇	五・七〇	北通町			矢内ゲン
同	四八・七〇	四七・九二〇	白銀町	岸屋		岸榮太郎
同	四〇・九〇	三〇・五六〇	新町			鈴木常三郎
同	二四・六九〇	一八・三七〇	元紺屋町	三吉屋	五三九	國峰宗太郎
同	三八・三五〇	二四・八二〇	中紺屋町	新井屋		新井てる
同	二二・八九〇	—	同			深堀長四郎
同	七四・一〇〇	七五・七五〇	新紺屋町	越後屋		田中新太郎
同	二六・八九〇〇	三八・九〇〇〇	柳川町	松山	四六九	松山眞哉
同	三二・〇〇〇	一八・四五〇	同	木部		木部仙太郎
同	三八・七二〇	二〇・六五〇	宮元町	岡本		岡本はる
同	三八・二〇〇	三二・七五〇	鍛冶町			上原みか
同	二四・六〇〇	二・六二〇	赤坂町			大塚庄次郎
同	二二・三六〇	二二・一五〇	新喜町			馬場伊平
同	四三・九六〇	五七・七二〇	本町		三三二	木村吉藏
同	三三・〇〇〇	二五・〇六〇	連雀町	藤屋	五〇一	岩崎昇

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
同	三二・八七〇	二七・三二〇	同	同	五五五	田中仁三
同	二五・八〇〇	五・八一〇	田町		五〇三	天田精一
同	五三・三〇〇	三三・九七〇	同	伊勢屋	二二三	中田光次郎
同	二九・九〇〇	一〇・三〇〇	同	天田屋		天田勝太郎
同	四一・九〇〇	二〇・六〇〇	同	越前屋	五五六	石本茂三郎
同	三三・六〇	八・七五〇	同	天田屋	六四四	天田梅太郎
同	四・五〇〇	二六・八五〇	九藏町	百足屋	三一	三井田與八
同	二四・一一〇	一〇・五三〇	相生町	立見屋	五三三	宮崎芳之助
同	三三・四八〇	三三・二五〇	鞘町		六四五	吉澤正則

ひ

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
肥料商	四〇・五〇〇	一九・二七〇	田町		四五六	平田保三
同	三三・〇〇〇	—	同		五九	小池音吉
同	四九・五三〇	三三・三二〇	末廣町		三〇三	石橋安五郎
同	四九・四五〇	一八・五五〇	旭町		五五〇	小島亮四郎
同	一五・三九〇	一〇・八五九〇	高砂町	釜屋本店	二二三	吉田淺次郎

廿

營業別	營業稅	所得稅	營業所	商號	電話番號	氏名
醬油味噌製造	二六二・四〇〇	原籍地納稅	九藏町	十一屋	一四八	藤崎惣兵衛
同	二九八・四〇〇	同	相生町	十一屋	三三八	高井商二
同	二〇七・六六〇	同	常盤町	河内屋	三〇六	岡宗一郎
石油商	四二・六〇〇	二三・二〇〇	田町	手塚屋	二二九	手塚彌作
同	二二・〇〇〇	一一・八七〇	連雀町	高木商店	三三二	高木吉次
同	八三・六〇〇	一五〇・一五〇	新田町	岩田屋	一四六	岩田政次郎
同	四三・五五〇	二二・七五〇	旭町	旭石油商會	三〇四	粕谷宗次郎
同	三三・〇〇〇	二四・〇八〇	同	常盤	五六六	小林彌重郎
製絲業	五四三・四〇〇	原籍地納稅	並榎町	茂木製絲所	三七三	茂木惣兵衛
同	一九六・〇〇〇	一三六・七三〇	山田町	昇明社	五二八	須藤市之助
同	五二・六〇〇	八五・五八〇	南町	相澤製絲所	二〇〇	相澤綱吉
石炭商	四四・〇〇〇	三二・五三〇	八島町	大川出張所	一七一	籠島力平
同	四三・九〇〇	原籍地納稅	通町	武藤出張所	三四七	武藤林三郎
同	三三・六〇〇	同	同	並榎町	四五八	小倉淺松

銀行會社

營業別	營業稅	所得稅	營業所	電話番號	會社名
銀行業	八九七・〇六〇	三〇〇・三三〇	寄合町	六	株式會社高崎銀行
同	四二五・七八〇	八七・八七〇	田町	七	株式會社高崎積善銀行
電氣供給運輸業	五二・二四三・〇〇	一五六・四五・三三〇	常盤町	五〇六	高崎水力電氣株式會社
鐵道業	一八七・六四〇	一・四七・一八〇	鶴見町	四四二	上野鐵道株式會社
倉庫業	四〇・七三〇	六七五・二三〇	旭町	一四二	高崎倉庫株式會社
仲立業	七四八・六〇〇	二八四・三三〇	鶴見町	二二九	株式會社高崎常設家畜市場
仲買業	三九〇・九〇〇	一八九・九八〇	八島町	五二六	株式會社高崎繭絲市場
製材業	七九・三七〇	九六・四四七・〇	旭町	一六	高崎製材株式會社
金貸業	二四・二一〇	—	連雀町	二四四	群馬産業株式會社
生絹太織商	三三二・一〇〇	四六・五三〇	寄合町	二六	中島合資會社
吳服太物商	一九〇・二五〇	一四八・〇〇〇	九藏町	二四四	合資會社淺見商店
運送業	三九・五五〇	二五七・六〇〇	八島町	一四	信永運輸株式會社
同	五六・六六〇	三・三三〇	同	二〇	合資會社上野運送店
金貸業	四三・二一〇	一八・三三〇	歌川町	五三一	高崎信託合資會社
魚類商	三二・五八〇	六・三六〇	新紺屋町	四一三五	金喜合資會社

銀行會社

銀行會社

營業別	營業稅	所得稅	營業所	電話番號	會社名
石油商	二九・四四〇	—	赤坂村	—	高崎火止石油製造合資會社
吳服太物商	八三・七三〇	一九・三三〇	田町	二六八	山德合資會社
生絹太織仲買業	八三・一三〇	—	連雀町	五一六	合資會社市田商店
金貸業	一三七・〇八〇	一七・二八〇	柳川町	三四八	山崎合名會社
染色業	五四・一〇〇	三七・六四〇	住吉町	二七	田村合名會社
荒物商	二六・三七〇	三・八八〇	田町	—	合名會社山田商店
魚問屋業	七三・〇〇〇	二〇・一六〇	連雀町	三三五	合名會社今勇商店
煉油商	三三・五九〇	一・八八〇	田町	—	合資會社伊勢田商店
砂糖商	七三・三四〇	—	同	一〇八	合名會社三河屋商店
洋物商	三九・七三〇	七・六〇〇	同	—	合名會社結城屋洋物店
藥品洋酒商	一一六・三三〇	—	九藏町	一二九	合名會社小澤商店
質商	三六一・二九〇	二〇・五二〇	砂賀町	四七六	天田合名會社
魚問屋業	五〇・〇〇〇	—	九藏町	四二一	高崎海陸物產株式會社
硝子器製造	三三・九九〇	—	末廣町	三四三	合資會社高崎硝子工場
電氣供給	九七・〇〇〇	四三・一八〇	連雀町	—	惣社水力電氣株式會社
製絲製織	一五八・六八〇	七六・三三〇	中紺屋町	—	高崎製織合資會社

名	稱	所得稅	住所	電話番號	氏名
製材業	—	—	高砂町	六四六	合名會社中會根製材所
銀行業	一、一三〇・八三〇	本店納稅	九藏町	六三〇	株式會社第二銀行高崎支店
同	一四六・一五七〇	同上	同	五四〇	合名會社茂木銀行高崎支店
同	二四・一〇〇	同上	田町	二三八	株式會社明治商業銀行高崎支店
同	一〇六・〇一〇	同上	八島町	五四〇	內國通運株式會社高崎支店
運送業	五二・一〇〇	同上	堰代町	—	東陽株式會社高崎出張所
運送業	五三・七〇	同上	八島町	三一	三隣合資會社高崎支店

所得稅ニ依ル法人ノ重役

名	稱	所得稅	住所	電話番號	氏名
株式會社高崎銀行專務取締役	—	二五・五三〇	鞘町	四三二	福田儀兵衛
高崎倉庫株式會社取締役社長	—	九四・七三〇	常盤町	五三一	山田昌吉
高崎水力電氣株式會社專務取締役	—	九七・〇八〇	九藏町	一一六	小澤宗平
同	—	五九・〇三〇	赤坂町	—	瀧川文二郎
同	—	三三・五三〇	龍見町	六〇七	金山鐵吉郎
株式會社第二銀行高崎支店支配人	—	五四・三六〇	同	六三一	鈴木俊夫

所得稅ニ依ル法人ノ重役

旅館

屋號	業營稅	所得稅	營業所	電話番號	氏名
堺谷	70,000	56,780	本町	六三	後藤保五郎
信濃屋	68,120	20,320	新町	一二四	古關ヨキ
銀杏屋	兼業(料理店參照)		本町	八	高橋源兵衛
高崎館	59,000	23,750	八島町	一三三	田中富貴壽
三浦館	53,370	38,790	同	四〇	近藤一郎
豐田屋	43,750	56,460	同	一三七	園原鎌吉
鳳陽館	38,500	16,700	同	四三八	小原クニ
武藏屋	36,170	16,470	同	三一〇	大野伊之吉
關口屋	33,370	8,430	新町	一六五	根岸卓二
美島屋	30,620	10,320	同	六三七	三河ヨシ
油島屋	29,200	12,020	同	三三一	武田勝藏
吉田屋	29,120	17,900	八島町		清水太吉
安田屋	28,750	10,300	同	六四八	安田伊三郎
山口屋	23,450	—	鶴見町	三三七	神保つね

料理店

屋號	業營稅	所得稅	營業所	電話番號	氏名
岡源	16,000	18,460	新町	三五	岡田源三郎
なべや	72,000	142,450	柳川町	四五	倉品重次郎
なべや支店	70,000	150,920	連雀町	一三九	中西啓之助
銀杏屋	68,000	40,710	本町	八	高橋源兵衛
三島屋	63,600	74,890	嘉多町	一一三	小林久兵衛
信田	60,000	115,060	柳川町	二八	信田藤藏
赤城亭	58,000	66,470	柳川町	五二	羽生田久太郎
都喜代	54,160	77,140	柳川町	二五三	清水ヒヤク
宇喜代	52,000	87,180	同	三三	田中輝司
清庵	46,000	74,980	連雀町	一〇五	田島さぬ
東京亭	44,000	20,070	中紺屋町	四二	近藤幸太郎
鳥安	39,600	20,430	八島町	三五七	日高安次郎
大國軒	34,000	20,620	新町	一六九	伊東留一郎
大正軒	33,600	12,500	同	四七八	犬飼幸吉

商標 登錄

末廣

印

乾鰓飯

發賣元

高崎市相生町

友和商店

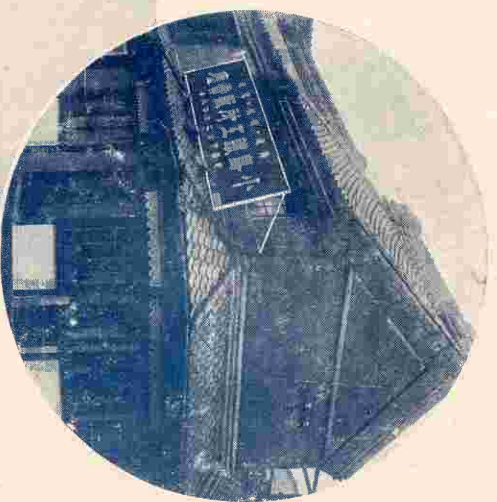
電話二六〇番

商工人名錄終

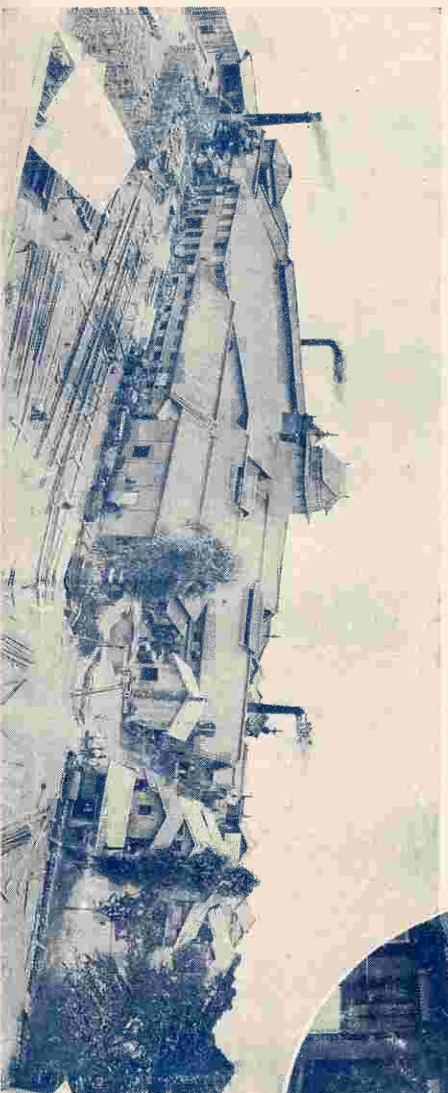
魚末屋	料理店	營業稅	所得稅	營業所	電話番號	氏名
廣園		二八〇〇〇	一八五〇	末廣町	四三二	吉岡彦治郎
仲		三六八〇〇	一八〇五〇	九藏町	四二八	羽鳥仲藏

- 一 諸機械製造各種鑄造品
- 一 汽罐煙突鐵骨建築
- 一 鑛山用諸機械
- 一 子儿下車輪車輛
- 一 特許釀造用諸機械
- 一 特許生鹼乾燥機
- 一 特許風呂罐
- 一 農具食器類各種

營業品目



東京取寄店

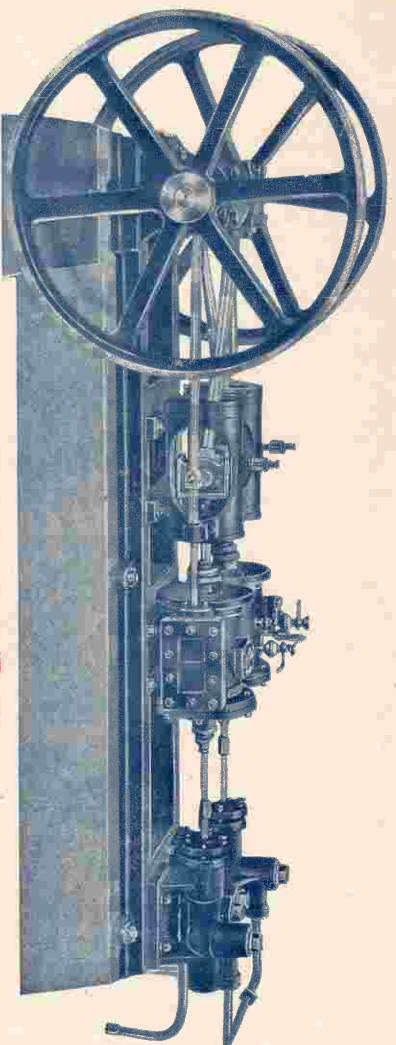


東京工場全景

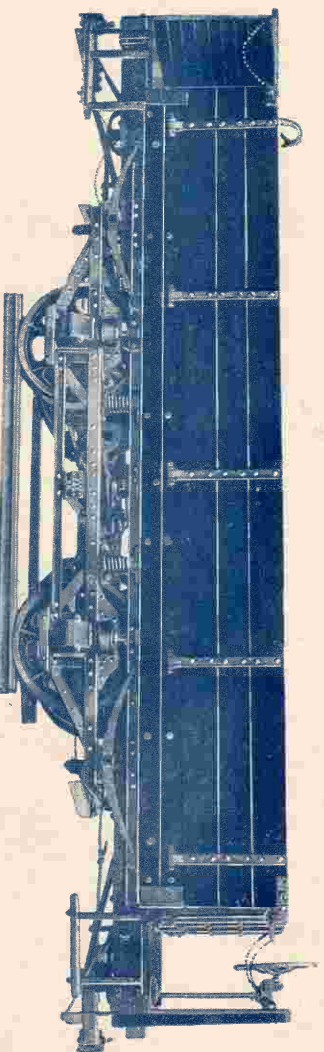
高崎市歌川町

小島鐵工所

電話 圓二五
電話 略(コ)
振替東京五七六



橫置高壓唧筒



五噸貨車(三噸六吋一吋)

東京市下谷區西黒門町十二番地
小島鐵工所販賣處

電話 下谷二六〇八
電話 略(コ)

倉

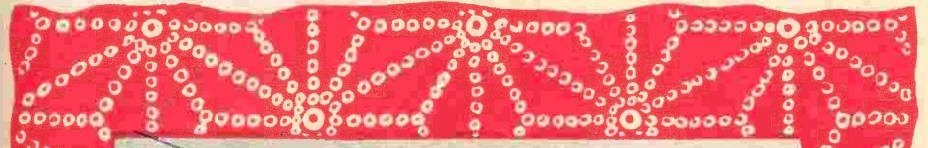
高崎倉庫株式會社

高崎市旭町
電話二四二番

同 飯塚支店

高崎市大橋町
電話四一六番

- ☐ 年中無休早朝ヨリ日沒迄營業仕リ候
- ☐ 當社保管物品ニ對シ御辨用金可致様銀行ト特約有之候
- ☐ 荷爲替附貨物之振替ハ至極御便利ニ取扱申候
- ☐ 當社へ御寄託ノ貨物ニ對シテハ總テ火災保險ノ契約有之候
- ☐ 當社本支店共生繭乾燥室ノ設備有之春秋共ニ御需ニ應ジ申候
- ☐ 保管料其他精々勉強仕リ候



高崎市九藏町 大黒屋呉服店

電話一三番 五三八番

振替口座 東京 三三八三番

目種品賣販

和漢洋藥種
 各國有名賣藥
 理化學用諸器械
 醫科用諸器械
 理化學用量器
 洋酒罐詰類
 各國染料各種

藥種
 染料
 卸問屋

ペンキ、コールタル
 塗料一式
 工業藥品一式
 諸大醫處方調劑

相澤吉平商店

高崎市田町五十五番地
 電話 百二十三番
 振替東京二〇五二二番

履物問屋

高崎市田町五丁目

久松久商店

渡邊芳太郎

電話二七二番
 振替東京二〇五二番

海產物競賣場

市開リヨ時六後午中年

陸軍御用達海產委託問屋

高崎市連雀町

五十八
五十九

番地



合名
會社

今勇商店

電話 三百三十五番
電署 (〇一)又六(〇)

蒲鉾製造業海產肥料商

エンパイヤ號
バルーン號
イロハ號
タイム號

自轉車

高崎市連雀町

總代理店

田中自轉車店

電話 五五五番

正札附懸直なし

高崎市連雀町

万屋呉服店

店主 新井與三郎

電話 二十四番

高崎市田町壹丁目

砂糖商

三河屋商店

電話 一〇八番
電略(ミカワ)ハ(三)

平

營業品目

萬葉物

養蠶具

晷表

巾

雨傘

下駄

麻裏草履

製造糸、原料一式卸小賣商

群馬縣高崎市田町二丁目

中

今市村常太郎

古

高号 田中屋

各國產

陶磁器

土管瓶

類一式

問

高崎市相生町

今市深澤彌平治商店

屋

電話百四十九番



服  吳



熊井吳服店

電話 百〇七番
高崎市田町貳拾四番地

於群馬縣物產陳列館主辦副業品手工藝品展覽會

於高崎染業組合主辦郡市聯合染色競賽會

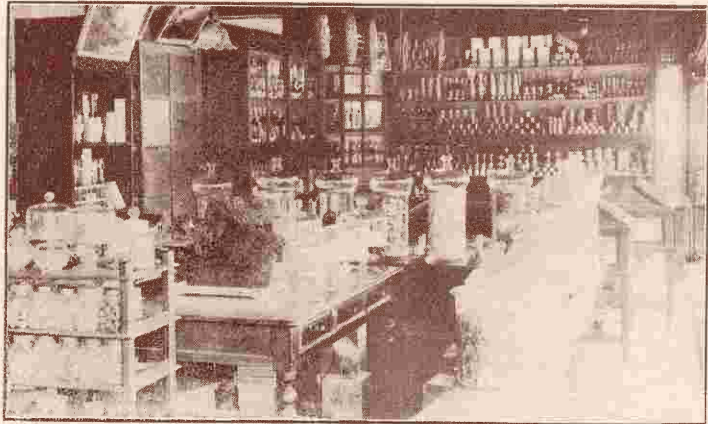
壹等賞受領

高崎市相生町五番地

吉村紅染工場

場主 吉村平七

電話 二二六番
電器 (ヨシ)



營業品目

和洋菓子	蒸菓	食料品	洋食器	洋酒罐詰	食麵包	內外煙草
------	----	-----	-----	------	-----	------



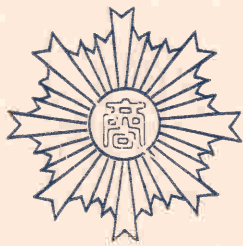
高崎市連雀町

日英堂

清水濱吉

電話 二〇三番
振替東京八〇四番

◆資本金四百八拾萬圓



高崎市田町壹丁目七拾四番地
株式會社
明治商業銀行高崎支店

電話 二三八番

本店 東京市日本橋區本船町十九番地

高崎支店長

小笠原鍵之助

支店 東京市内 四谷、本郷、本所、芝、神田
群馬縣下 前橋、高崎、桐生、伊勢崎、
藤岡、境 及 石川縣 金澤、長野縣 松本

監督 安田善三郎
頭取 安田善助
常務 金原 磊
取締役兼營業部長 佐藤小一郎

電話 一三三番
田中富貴壽

旅館 高崎

高崎市

高崎へ御出下されたときは是非
忘れて下さらぬやうに御願ひ
致して置きたい事は停車場前
の右角にある三層樓の屋上に
サチホコの乗つて居る旅館に
必ず御泊り下さると云ふ事です
それは名にしあふ高崎市の代
表的旅館高崎館と申ます



高崎館の第一



高崎市相生町



印醬油釀造元

十一屋號



高井商一商店

電話 三三八番
振替東京 壹壹七壹貳番

味噌製造酒類販賣

雜穀 製粉 食鹽



渡邊與喜松

高崎市相生町
鹽元賣捌人

電話 百二十二番
電署(ワタヨ)又ハ(ワ)



會席御料理

高崎市新町

割烹 岡源

電話 三十五番

高崎公園内

岡源支店

電話 二一四番

和漢洋藥種繪具染料
洋酒罐詰類寫真材料
商店

大津屋號

瀧川喜平本店

高崎市赤坂町四番地
電話 一一一

大

英國ロンドン

アングロサクソン コンデンスミルク會社製

銀瓶印コンデンスミルク日本一手捌

藥種貿易商

瀧川支店

東京市日本橋區本町二丁目
電話園本局九四六番

◇群馬縣監獄署製造品販賣所◇

荒物類

疊建具

家具一式

絲粹類竝に

蠶具一式

問屋

共

寺田永四郎商店

高崎市赤坂町六十七番地

電話 三百四十九番
電信略號(テラタ)

營業目錄

洋燈硝子器具
藥粧場
化學場
牛乳場
菓子場
製絲用管各種

合資
會社

高崎硝子工場

高崎市末廣町

電話 三四三番

登錄商標

最良豆醬油

宗

釀造元

高崎市常盤町

九河内屋號

岡宗一郎

電話 三〇六

材木商

製材販賣

高崎市末廣町八拾五番地

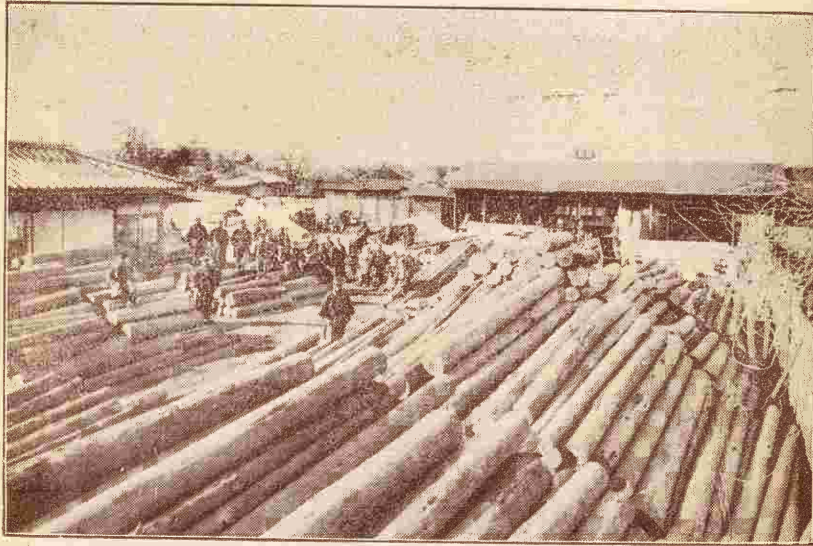
中島慶藏

電話 四〇三番

高崎製材株式會社

高崎市旭町

電話 五二六番



◆ 合 名 會 社 ◆
 中 會 根 製 材 所

高 崎 市 高 砂 町 參 拾 貳 番 地
 電 話 六 四 六 番



綿布洋織物 卸小賣
 各地織物類

春雨印裏地發賣元

近江屋

川村富藏商店

電話 二一六
 電信略號 (カワ)

共保生命保險株式會社

高崎代理店

國光生命保險相互會社西毛代理店



◇清涼飲料 發

成功サイダー 賣 元

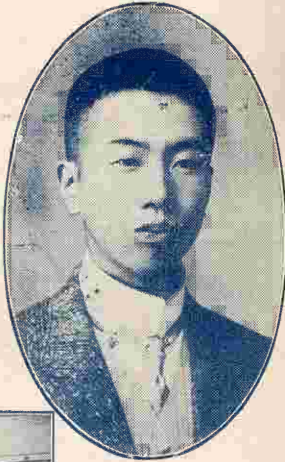
◇飲料界の大王 特約

加富登ビール 一手捌

高崎市南町

中印 味噌 醤油 發賣元 中村柳多商店

電話 五二四番
電略(十九)又(十)



主店 松井市太郎

商 品

文具 帳簿 封筒 卷紙



◇營業所 高崎市本町壹丁目
百參拾番地(電車通)
◇創 業 明治四拾四年五月

商品目錄は
郵券貳錢封入
御申越次第
御送附可致候

新案金言入

ミクニ卷紙

タカラ印帳簿

發賣元



松井日章堂

電話(大正六年度架設豫定)
振替東京三三三七二番

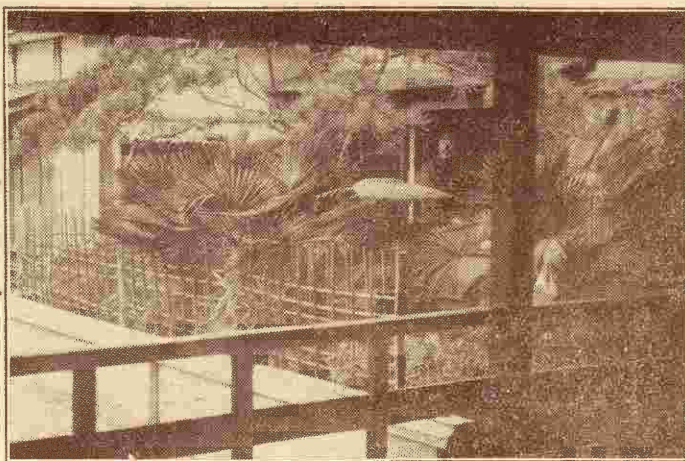
菓子部
眞綿部

高崎市新町

みやげ屋

電話二〇一

◇ 圖園庭上屋店本代喜字 ◇



割烹



宇喜代本店

店主 田中輝司

高崎市柳川町宇喜代小路

球突場の設備あり

電話 三十三番

◇ 調理は清鮮

◇ 座敷は瀟洒

◇ 大廣間あり集會に好適

◇ 離れ座敷あり

◇ 浅酌に最も好し

◆ 屋問料肥穀米外内 ◆

第一支店 平野新次郎商店

高崎市本町

高崎市檜物町

平野彦八商店

電話 三四五番

第二支店 平野金四郎商店

高崎市寄合町

建具 疊 指物 問屋

御祝儀道具一式

高崎市鞆町

小野屋號

神保竹次郎商店

電話 四百五十七番
振替東京 六千百十一番



第一式洋物雜貨問屋

八五五.四四一話電
七三八二 京東 替振

龜升屋號
小林元次郎商店
高崎巽田町

諸油類雜貨商

吉

松屋櫻井仙次郎商店

高崎市本町貳番地

電話番號 一三一番
振替東京 二五一番

商標



登録

御祝儀物一式
 新柄友仙染
 新式小紋染
 ビンゴージ黒
 新式大島染
 外糸類一式

橋本兵三郎

高崎市九藏町

茂木銀行前

電話番號三三二番

米穀肥料
 精米精粉回生
 中村御藏商店
 電話 三〇一號
 電話 (十) 八 (十)
 高崎市九藏町
 茂木銀行前
 電話番號三三二番

高崎市八島町百九拾貳番地

T 高崎板紙株式會社

電話五〇二番

高崎商工案内附錄

高崎市統計

○土地

民有地

(有租、免租、除租地)

年別	區分	住宅地	田	畑	其ノ他	計
大正三年	地面主積	110,460.5	131,733.1	42,851.4	15,642.0	310,676.1
大正四年	地面主積	110,800.2	130,713.3	33,311.1	30	286,784.2
大正五年	地面主積	111,510.7	127,922.7	35,113.3	1,880.5	286,327.2

民有地時價 (一坪)

年別	住宅	地	田	畑	其ノ他	各地目平均地價		
大正五年	最高 50,000	最低 1,000	最高 1,000	最低 600	最高 800	最低 300	最高 1,000	最低 80

土地

年別	前年末人口	出生計	他ヨリ轉入	死亡計	他へ轉出	本年末現在	前年比較増減
大正五年	二〇〇、八六六	四〇、四三三	七、五八八	三三、九八一	三、四二二	四四、四四四	四、五八三
大正四年	二二二、三三三	四三、九六三	一、二〇〇	四四、五三三	二、四四四	四七、七五五	五、四二二
大正三年	二二一、六六六	四二、三三三	一、八二二	四三、六六六	二、二二二	四四、三三三	二、六六六

〇戸口

年別	前年末戸數	他ヨリ轉入	他へ轉出	本年末現在	前年比較増減
大正五年	七、一八八	二九九	一一二	七、三三五	一八七
大正四年	七、六八七	一九七	六九六	七、一八八	四九九
大正三年	七、四一〇	五五八	二八一	七、六八七	增 二七七

戸數増減表

人口増減表

年別	前年末人口		出生計		他ヨリ轉入		死亡計		他へ轉出		本年末現在	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大正五年	一一〇、四三三	一一〇、四三三	二〇、二一六	二〇、二一六	三、七九四	三、七九四	一、七一一	一、七一一	二、二二二	二、二二二	一一〇、四三三	一一〇、四三三
大正四年	一二二、三三三	一二二、三三三	二五、五五五	二五、五五五	一、二〇〇	一、二〇〇	二、四四四	二、四四四	一、七五五	一、七五五	一二二、三三三	一二二、三三三
大正三年	一二一、六六六	一二一、六六六	四二、三三三	四二、三三三	一、八二二	一、八二二	四三、六六六	四三、六六六	二、二二二	二、二二二	一二一、六六六	一二一、六六六

〇租稅

租稅負擔額

年別	國稅	縣稅	市稅	計	人口一人ニ對スル負擔額	戸數一戸ニ對スル負擔額
大正五年	一八六、九四二、〇〇〇	六二、四四、九〇〇	八六、〇〇一、〇八〇	三三、三六七、九八〇	七、九九八	四、五三三、三八
大正四年	一七五、〇一七、〇〇〇	五六、八九四、八九五	八五、七七五、一六〇	三二、六八七、〇五五	七、八二二	四、四一九、九六
大正三年	一七一、八六九、八六九	五七、七三二、〇七五	八五、四一三、二八五	三一、五〇五、二二九	七、一六五	四、〇九七、七八

國稅負擔內譯額

稅別	大正五年度	大正四年度	大正三年度
田租	三、一七四	三、二七〇	三、三八六
畑地租	二、五五六	二、五七七	二、四七
宅地租	二、四七三	二、四七三	二、四七三
雜地租	三	三	三
所得稅	五、三八九	四、八三〇	四、七三三
營業稅	三、三六三	三、七四六	五、〇七六

相續行稅	通商稅	酒稅	醬油稅	織物消費稅	賣藥營業稅	計
二二〇	六、七八〇	四、九一三	七、九四八	一六、七二五	一六六、九四三	一、九〇一
八六五	五、八七三	三三、一四五	六、八三三	一七、八三三	一七五、〇一七	一、七〇一
五、八七三	三三、一四五	六、八三三	一七、八三三	一五、四	一、四三	一、七〇一
一、四三	一、七〇一	一、四三	一、七〇一	一、四三	一、四三	一、四三

縣稅負擔內譯額

年別	地租割	營業稅	雜種稅	附加營業稅	附加所得稅	家屋稅	計
大正三年	八、七六六、四二五	五、九七七、〇二〇	二二、八九四、三五〇	六、七二六、六一〇	一、八九九、〇一五	一、三、〇九六、五五五	五六、八九四、八九五
大正四年	七、六三六、六〇〇	七、二二八、〇〇〇	二四、二六〇、〇二〇	四、二〇九、五〇〇	二、一〇一、三六五	一、一、五六三、六一〇	五六、八九四、八九五
大正五年	九、二二九、四四〇	六、五九四、七一〇	二五、三三八、七六〇	四、三五七、二四〇	二、〇四八、三二〇	一、四、〇七三、〇三〇	六一、四二四、九〇〇

市稅負擔內譯額

年別	地價割	所得稅割	國稅營業稅割	營業稅割	家屋稅割	賣藥稅割	計
大正三年	二、九六八、一〇〇	五、六八九、五五五	七、一九八、三八〇	一、一九五、八五九〇	五七、五九、二八一〇	六、八五〇	八五、四、三二八〇
大正四年	二、九四二、八九五	五、七六六、二〇〇	五、〇六九、四八〇	一、三、四六六、二三五	五八、五三三、二〇〇	七、二五〇	八五、七、七五、二六〇
大正五年	二、九七五、八〇〇	五、九六七、六五〇	五、一八五、四六〇	一、三六、一五、六三〇	五八、三〇五、八六〇	八、九〇〇	八六、〇〇、〇八〇

營業稅賦課標準及稅額

(大正五年)

業別	課目	課稅標準額	稅額	納稅人員
物品販賣業	賣上卸賣 金額小賣	甲 二、七四七、五四五 乙 二、四七三、四九四 甲 三、一四、九六一 乙 八、一五、四四五	二五、三七四、一四〇	五一、四 一三
銀行業	資本金額 建物貸賃價格	二八四、二五〇 六一六	一、三七二、三四〇	二
請負業	請負金額 從業者	三三三、九九〇 六〇	一、三九、四三〇	營業 三〇
資本金額	資本金額	一三、三〇〇		

租稅

107

印刷業	寫真業	倉庫業	運送業	製造業	料理店業
建物賃貸價格 從業者 七五一 一三 五九	資本金額 建物賃貸價格 從業者 九〇 一〇〇〇	資本金額 建物賃貸價格 從業者 一五 三、六〇一	資本金額 從業者 三六、五八七 二二	資本金額 建物賃貸價格 從業者 一、〇六一、八五九 一四、七六六 一六四 五三三	建物賃貸價格 從業者 七、五四九 二二
一四七、九七〇	二、八〇〇	三、八〇八〇	二、四一九二〇	四、八一三、六六〇	一、三二九、八八〇
營業一七	一	一	同 一八	同 四五	同 三六

旅人宿業	周旋業	代理業	仲立業	問屋業	鐵道業	金錢貸付業	計
建物賃貸價格 從業者 四、七四〇 七六	報酬金額 從業者 一、三五〇 九	報酬金額 從業者 二、二九九 一	報酬金額 從業者 八、四四四 三七	報酬金額 從業者 七、一八 三〇	收入金額 從業者 一六七、九五八 七三	資本金額 建物賃貸價格 從業者 五五八、六二四 五、四〇五 六三	三三、六三九、一六〇
五〇七、四八〇	五八、五〇〇	七〇、九七〇	三三、七、三三〇	二七、三、五四〇	三、五、四三三、一六〇	三八、五、六〇七〇	同 一八
同 一三	同 五	同 四	同 九	同 一五	同 一	同 四四	

○金 融

高崎各銀行營業狀況

金 錢 出 納

(大正五年)

銀行別	營業日數	入 金	出 金
株式會社高崎銀行	三〇三	四,九六九,一〇九,〇〇〇	四,九六二,三三〇,〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	三〇四	八六七,九八四,〇〇五	八六五,三二一,四四五
株式會社上毛貯藏銀行	三三三	九,〇〇八,六八六,九〇〇	八,九九八,七三三,三五〇
株式會社第二銀行高崎支店	三〇一	二四,〇五三,六三九,五六五	二四,〇四九,三二六,六〇五
合名會社茂木銀行高崎支店	三〇一	七五,二八五,〇六一,一九二	七五,三三三,〇五一,七二九
株式會社明治商業銀行高崎支店	三〇三	二〇,九七六,三〇五,二四七	二〇,九二七,六三八,〇四七
計		一,八六六	一,三五,一三三,三八〇,一七六
大正三年		一,六〇五	八八,九〇五,五二四,五八七
大正四年		一,四九五	八六,〇〇九,八〇三,九六三

諸 預 金

(大正五年)

銀行別	總 預 高	拂 戻 高	現 預	後 預
株式會社高崎銀行	一,三九五,三三三,〇〇〇	一,二七三,二九〇,〇〇〇	二六九,五〇八,〇〇〇	二四五,三三〇,〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	一六六,二八一,九六〇	一六二,八四九,三三〇	三三,八八〇,九一〇	二八,九九七,八三〇
株式會社上毛貯藏銀行	二,七六七,一九〇,二八〇	二,〇四三,一〇二,九一〇	五二〇,七八四,四〇〇	七三八,七七三,七六〇
株式會社第二銀行高崎支店	五,六〇三,七八四,九六三	四,三三二,二〇七,八三〇	一,一〇〇,五七二,三五三	一,二二一,五七二,一三三
合名會社茂木銀行高崎支店	二,四三三,九三九,五五七	一,五三三,七九七,一三三,九	三,二五二,九九一,二八八	三,八八二,九七七,〇四〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	三,五八六,五二八,〇七七	二,九三三,七二四,四六〇	二六五,六五八,八一〇	三六七,一四四,八〇七
計	三,五九七,九四六,七三七	二,六〇八,七六二,三三九	五,四三三,三九五,六六一	六,四八四,八〇〇,五七〇
大正三年	二,四,六四六,五五二,八九二	一,七,二一六,七六一,三三〇	三,四四八,二七〇,三九六	四〇,一〇〇,七四九,一六
大正四年	二,二,三七八,九三七,四〇八	一,六,二七五,六四七,九三九	三,〇〇三,六八六,六七四	三,〇八〇,三三六,一三五

諸 貸 付 金

(大正五年)

銀行別	總 貸 高	返 濟 高	現 貸	後 貸
株式會社高崎銀行	一,〇九八,五九九,〇〇〇	八八六,七四九,〇〇〇	三三九,四九七,〇〇〇	二二一,八四八,〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	二,三三二,八五三,〇〇〇	二,二七〇,〇九六,一〇〇	四三,一四五,五九〇	六三,三〇六,四六〇
株式會社上毛貯藏銀行	一,〇,一〇〇,〇八二,〇八〇	六六一,六〇〇,五八〇	六四,九五六,一二〇	三四八,四八一,五〇〇
株式會社第二銀行高崎支店	三,〇五九,〇六一,七七〇	二,六〇四,六三九,九七〇	二二一,五四五,五六〇	四五四,三二二,八九〇

銀行別	手形種類	當		他	
		枚	金額	枚	金額
合名會社茂木銀行高崎支店	三、六八三、〇二六八〇		二、六六二、九一三、二九〇	六〇六、八一三、六六〇	四、二二、二八五、七四〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	一、三三四、三〇二、二五〇		一、〇九六、二七五、六八〇	六、四九一、七二〇、〇〇	一、五三三、一〇九、三三〇
計	一〇、三九五、九二〇、七八〇		八、一三九、三八七、二二〇	一、三三〇、八七五、一三〇	一、六四二、二五三、八七〇
大正四年	七、八七六、七九五、三七〇		五、四七八、三八八、八二〇	一、二七一、六六六、七九〇	一、一六三、九一六、六〇〇
大正三年	七、二三四、三二二、四七〇		四、九二一、二〇一、九三〇	一、一〇六、八一三、六六〇	一、一〇六、八一三、六六〇

割引手形

(大正五年)

銀行別	手形種類	當		他	
		枚	金額	枚	金額
株式會社高崎銀行	小手切手形	三五二	二、九二二、三三三、〇〇〇	八	二二、五二一、〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	小手切手形	五一九	三、二六九、五五三、〇〇〇	三三六	三、九七、〇七三、六〇〇
株式會社上毛貯藏銀行	小手切手形	七七	七八一、三八二、〇〇〇	二七	九、〇五四、〇〇〇
株式會社第二銀行高崎支店	小手切手形	三四三	一、〇二七、八六七、〇四〇	一九	一、〇〇四、七、五〇〇
合名會社茂木銀行高崎支店	小手切手形	三〇九八	三、一九三、四七三、〇一〇	七六七	三、九二四、七八九、九三〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	小手切手形	五五八	五、六四三、六三三、五二〇	六八	四〇〇、九四〇、七〇〇

荷付爲替手形

(大正五年)

銀行別	手形種類	當		他	
		枚	金額	枚	金額
計	小手切手形	四、九四七	六、一八六、三五二、八七〇	一、二二五	四、三九四、四一六、七三〇
大正四年	小手切手形	六、九三二	八、六四七、一六九、五七〇	一、三三三	四、九二、二七三、〇〇〇
大正三年	小手切手形	六、七三九	八、六一五、六五四、〇二〇	一、五四六	二、九六六、一八八、〇一〇

銀行別	各地へ向ケタル分	各地ヨリ受ケタル分		
			枚	金額
株式會社高崎銀行	二、二四	六六、五六八、〇〇〇	二、八九	七九、三三四、〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	一	一九、六七七、八七〇	一	二九、二六四、〇四〇
株式會社上毛貯藏銀行	五三	一、七六一、九二七、八三〇	五五	七六八、九九二、二五〇
株式會社第二銀行高崎支店	八四九	一、六五七、〇六四、七四〇	八六一	二、九五三、七三三、二九〇
合名會社茂木銀行高崎支店	二、三三五	一、五五七、〇六四、七四〇	九二一	八六七、〇八八、三三〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	二七七	一、五五七、〇六四、七四〇	七、三三三	四、六九八、四〇九、九一〇
計	三、六六八	三、六六一、〇八〇、一〇〇	六、〇一一	三、一六三、一〇九、六〇〇
大正四年	三、三三三	二、五九七、五七三、〇三〇	五、二六四	三、一〇一、八二六、七三〇
大正三年	二、五九六	一、八四八、四七〇、五六〇		

送金爲替手形

(大正五年)

銀行別	爲替金種類	各地へ向ケタル分		各地ヨリ受ケタル分	
		枚數	金額	枚數	金額
株式會社高崎銀行	普公	一、七六〇	四六四、八三六、〇〇〇	七四四	三、〇〇、三六〇、〇〇〇
株式會社高崎積善銀行	普公	二九二	一一、〇六五、八七七、〇	三三	二、五二八、六〇〇
株式會社上毛貯藏銀行	普公	一、〇九三	六九一、一三二、二〇〇	一五〇	四、五四七、六五七、〇
株式會社第二銀行高崎支店	普公	六五	八、九八八、一六四、〇	五	八四、三五〇
合名會社茂木銀行高崎支店	普公	二、九五四	二、八二八、四九五、五七〇	三、〇一八	一、三六、一〇、五八四、〇
株式會社明治商業銀行高崎支店	普公	二〇、二四六	五、五二二、三四五、六二〇	四、二二六	四、二五二、七〇、四七〇
計		二〇、四二八	二、四二一、〇七七、八〇〇	二、六〇三	八五〇、四六七、三五〇
大正三年	普公	一、七三五	八、一九九、九八、六四〇	五	八四、三五〇
大正四年	普公	一、六〇〇	二、〇二八、五四四、九六〇	一〇、六七五	六、七三三、〇九八、八三〇
計		三、三三〇	一、九六五、四〇五、九四〇	一五	一、四七三、〇四一、三〇〇
大正三年	普公	一、四、四〇七	五、四三六、八七二、七二〇	七、三九七	三、四三三、一八九六、四九〇

代金取立手形

(大正五年)

銀行別	枚數	所		他	
		金額	枚數	金額	金額
株式會社高崎銀行	四四六	二六、一六五、六〇〇	二七	三三、六六五、〇〇〇	
株式會社高崎積善銀行	一	二六、七九七、七四〇	一八	一〇、五二五、〇〇〇	
株式會社上毛貯藏銀行	六四	六、五五、四九三、一九〇	四〇七	一、三三、四〇〇、七三〇	
株式會社第二銀行高崎支店	二、三六〇	三、三三〇、三三〇、九〇	三〇七	五、一五、〇四六、一〇〇	
合名會社茂木銀行高崎支店	九二九	三、四六、五七三、九〇〇	一、七三三	八、四三、九二四、一五〇	
株式會社明治商業銀行高崎支店	九〇四	一、六〇三、五四一、八八〇	四八一	一、九二、三〇七、九五〇	
計	三、七〇三	一、六〇三、五四一、八八〇	三、〇五三	一、七二九、八四八、九三〇	
大正三年	三、五八六	一、二、六七、九二三、七〇	三、三〇八	八、二二、二一〇、七〇	
大正四年	二、一五二	一、〇、七九、二八、三三〇	二、四七四	一、二、四六、二、四三〇	

金利表

(大正五年)

銀行別	貸金		日歩(百圓ニ付)		割引		日歩(百圓ニ付)	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
株式會社高崎銀行	三三〇	二〇〇	二六五	二〇〇	三三〇	二〇〇	三三〇	二〇〇
株式會社高崎積善銀行	三三〇	二〇〇	二六五	二〇〇	三三〇	二〇〇	三三〇	二〇〇

小麥		大麥		外國米		內國米		馬尼刺麻	
保管價格	俵數	保管價格	俵數	保管價格	袋數	保管價格	俵數	保管價格	個數
▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●
三三,九七〇,〇〇〇 四,六八〇,〇〇〇	七,二七四 一,〇五七	二六,五二〇,〇〇〇 一七,二八二,〇〇〇	八,二,六三九 六,五,七〇二	三三,〇〇〇,〇〇〇 四,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇 四,〇〇〇,〇〇〇	五,四六,九二〇,〇〇〇 五,三,七〇三,〇〇〇	八,八,九二四 一,〇二,六九六	八,二,七〇〇,〇〇〇 二,五,一九〇,〇〇〇	一八四 五,六
二二,三八七,〇〇〇 四,〇九七,〇〇〇	四,八八四 九〇八	一六,三三六,五八〇,〇〇〇 一〇,三三,五七一,〇〇〇	四,〇,六八八 五,四,〇,二二六	三三,〇〇〇,〇〇〇 六,五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇	三,九三,六二六,〇〇〇 三,五,六〇,三三三,〇〇〇	六,九,二,五八 五,七,六,二五	一,九,三,六六,〇〇〇 五,九,二,四〇,〇〇〇	一,四二 一,四二
一一,〇九四,〇〇〇 五,八三,〇〇〇	二,三九〇 一,四九	一〇,四〇五,〇〇〇,〇〇〇 六,九,三,二一,〇〇〇	八,八,六,一三 二,五,〇,一四	三三,〇〇〇,〇〇〇 三,四,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇 三,四,〇〇〇,〇〇〇	一,九,八,八九,〇〇〇 一,三,三,四,一七,〇〇〇	三,三,二,九,九 三,三,四,四,〇	二,二,九,三,〇〇〇 五,九,二,四〇,〇〇〇	一,四 一,四
二九,一〇〇,〇〇〇	七〇	二,〇三三,〇〇〇,〇〇〇 二,〇三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三,三 六,七,七			一,四,一,八七,〇〇〇 一,一,一,四〇,〇〇〇	三,三,二,三 三,四,二,六		
一,一,三八五,〇〇〇 五,八三,〇〇〇	一,四九	七,〇,四一,〇〇〇 一,〇,三三,三三,〇〇〇	二,九,一,九〇 二,五,三,七,九	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇,五,〇,七,〇〇〇 一,四,四,五,五,七,〇〇〇	三,三,三,七,〇 三,三,三,七,〇	五,九,二,四〇,〇〇〇 二,二,九,三,〇〇〇	一,四 一,四

粟斗絲		玉繭		屑繭		延繭		秋繭	
保管價格	貫數	保管價格	貫數	保管價格	貫數	保管價格	貫數	保管價格	貫數
▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●
五,八二二,〇〇〇	五,一,二,九〇	八,六八三,〇〇〇 一,四,八四〇,〇〇〇	一,〇,八,一,三四〇 五,三,七,六,二二〇	四,三,九,二九〇,〇〇〇 一,六,九,七,三〇〇,〇〇〇	一,〇,二,一八,〇〇〇 四,五,二,三,九五〇	一,四,二,八,六〇〇,〇〇〇 一,八,五,九,一〇,〇〇〇	一,五,三,八,四〇〇 一,八,〇,一,二,三〇	五,二,七,八,〇〇〇 六,八,九,三,〇〇〇	六,三〇,五,八〇 二,九,八,五,九,九五〇
五,八二二,〇〇〇	五,一,二,九〇	二,六,一,〇,〇〇〇 一,四,一,〇,〇〇〇	三,三,三,四,一七〇 八,三〇,七,四〇	一,三,五,四,四〇〇,〇〇〇 三,三,七,三,二,〇〇〇,〇〇〇	七,九,七,九,八三〇 三,二,二,四,九一〇	一,五,六,〇,一,〇〇〇,〇〇〇 六,六,六,六,〇〇〇,〇〇〇	一,五,三,〇,二,七,五 七,六,六,五,七〇	四,二,九,九,四〇,〇〇〇 六,三,三,一,〇〇〇,〇〇〇	五,九,四,五,九〇 二,四,九,七,九,二二五
		二,八,六,七,〇〇〇 一,五,三,三,二,〇〇〇	二,二,四,〇,〇五〇 二,五,〇,六,〇〇	三,三,四,一,〇〇〇,〇〇〇 一,一,一,〇,七,〇〇〇,〇〇〇	二,二,三,五,〇〇〇 三,二,九,九,〇四〇	二,九,八,九,〇〇〇,〇〇〇 七,六,二,〇,〇〇〇,〇〇〇	二,七,〇,九,五,五 七,六,一,八,三〇	九,一,八,四,四,〇〇,〇〇〇 五,四,四,〇〇〇,〇〇〇	三,五,九,九,〇 四,八,八〇,七,二二五
四,九八〇,〇〇〇	七,六,七,四四〇								
四,九八〇,〇〇〇	七,六,七,四四〇	一,五,三,八,二,〇〇〇 二,八,六,七,〇〇〇	二,〇,四,〇,〇五〇 二,二,八,六,七,〇〇〇	一,一,〇,八,〇〇〇,〇〇〇 五,一,〇,八,〇〇〇,〇〇〇	二,二,三,五,〇〇〇 三,二,九,九,〇四〇	二,九,八,九,〇〇〇,〇〇〇 七,六,二,〇,〇〇〇,〇〇〇	二,七,〇,九,五,五 七,六,一,八,三〇	九,一,八,四,四,〇〇,〇〇〇 五,四,四,〇〇〇,〇〇〇	三,五,九,九,〇 四,八,八〇,七,二二五

硝子器		雜品		染料		種油		落花生	
保管價格	個數	保管價格	個數	保管價格	個數	保管價格	箱數	保管價格	俵數
▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●
1,000.00	1	2,500.00	1	1,000.00	1	2,000.00	1	1,500.00	1
2,000.00	1	3,000.00	1	1,500.00	1	2,500.00	1	2,000.00	1
3,000.00	1	4,000.00	1	2,000.00	1	3,000.00	1	2,500.00	1
4,000.00	1	5,000.00	1	2,500.00	1	3,500.00	1	3,000.00	1
5,000.00	1	6,000.00	1	3,000.00	1	4,000.00	1	3,500.00	1
6,000.00	1	7,000.00	1	3,500.00	1	4,500.00	1	4,000.00	1
7,000.00	1	8,000.00	1	4,000.00	1	5,000.00	1	4,500.00	1
8,000.00	1	9,000.00	1	4,500.00	1	5,500.00	1	5,000.00	1
9,000.00	1	10,000.00	1	5,000.00	1	6,000.00	1	5,500.00	1
10,000.00	1	11,000.00	1	5,500.00	1	6,500.00	1	6,000.00	1
11,000.00	1	12,000.00	1	6,000.00	1	7,000.00	1	6,500.00	1
12,000.00	1	13,000.00	1	6,500.00	1	7,500.00	1	7,000.00	1
13,000.00	1	14,000.00	1	7,000.00	1	8,000.00	1	7,500.00	1
14,000.00	1	15,000.00	1	7,500.00	1	8,500.00	1	8,000.00	1
15,000.00	1	16,000.00	1	8,000.00	1	9,000.00	1	8,500.00	1
16,000.00	1	17,000.00	1	8,500.00	1	9,500.00	1	9,000.00	1
17,000.00	1	18,000.00	1	9,000.00	1	10,000.00	1	9,500.00	1
18,000.00	1	19,000.00	1	9,500.00	1	10,500.00	1	10,000.00	1
19,000.00	1	20,000.00	1	10,000.00	1	11,000.00	1	10,500.00	1
20,000.00	1	21,000.00	1	10,500.00	1	11,500.00	1	11,000.00	1
21,000.00	1	22,000.00	1	11,000.00	1	12,000.00	1	11,500.00	1
22,000.00	1	23,000.00	1	11,500.00	1	12,500.00	1	12,000.00	1
23,000.00	1	24,000.00	1	12,000.00	1	13,000.00	1	12,500.00	1
24,000.00	1	25,000.00	1	12,500.00	1	13,500.00	1	13,000.00	1
25,000.00	1	26,000.00	1	13,000.00	1	14,000.00	1	13,500.00	1
26,000.00	1	27,000.00	1	13,500.00	1	14,500.00	1	14,000.00	1
27,000.00	1	28,000.00	1	14,000.00	1	15,000.00	1	14,500.00	1
28,000.00	1	29,000.00	1	14,500.00	1	15,500.00	1	15,000.00	1
29,000.00	1	30,000.00	1	15,000.00	1	16,000.00	1	15,500.00	1
30,000.00	1	31,000.00	1	15,500.00	1	16,500.00	1	16,000.00	1
31,000.00	1	32,000.00	1	16,000.00	1	17,000.00	1	16,500.00	1
32,000.00	1	33,000.00	1	16,500.00	1	17,500.00	1	17,000.00	1
33,000.00	1	34,000.00	1	17,000.00	1	18,000.00	1	17,500.00	1
34,000.00	1	35,000.00	1	17,500.00	1	18,500.00	1	18,000.00	1
35,000.00	1	36,000.00	1	18,000.00	1	19,000.00	1	18,500.00	1
36,000.00	1	37,000.00	1	18,500.00	1	19,500.00	1	19,000.00	1
37,000.00	1	38,000.00	1	19,000.00	1	20,000.00	1	19,500.00	1
38,000.00	1	39,000.00	1	19,500.00	1	20,500.00	1	20,000.00	1
39,000.00	1	40,000.00	1	20,000.00	1	21,000.00	1	20,500.00	1
40,000.00	1	41,000.00	1	20,500.00	1	21,500.00	1	21,000.00	1
41,000.00	1	42,000.00	1	21,000.00	1	22,000.00	1	21,500.00	1
42,000.00	1	43,000.00	1	21,500.00	1	22,500.00	1	22,000.00	1
43,000.00	1	44,000.00	1	22,000.00	1	23,000.00	1	22,500.00	1
44,000.00	1	45,000.00	1	22,500.00	1	23,500.00	1	23,000.00	1
45,000.00	1	46,000.00	1	23,000.00	1	24,000.00	1	23,500.00	1
46,000.00	1	47,000.00	1	23,500.00	1	24,500.00	1	24,000.00	1
47,000.00	1	48,000.00	1	24,000.00	1	25,000.00	1	24,500.00	1
48,000.00	1	49,000.00	1	24,500.00	1	25,500.00	1	25,000.00	1
49,000.00	1	50,000.00	1	25,000.00	1	26,000.00	1	25,500.00	1
50,000.00	1	51,000.00	1	25,500.00	1	26,500.00	1	26,000.00	1
51,000.00	1	52,000.00	1	26,000.00	1	27,000.00	1	26,500.00	1
52,000.00	1	53,000.00	1	26,500.00	1	27,500.00	1	27,000.00	1
53,000.00	1	54,000.00	1	27,000.00	1	28,000.00	1	27,500.00	1
54,000.00	1	55,000.00	1	27,500.00	1	28,500.00	1	28,000.00	1
55,000.00	1	56,000.00	1	28,000.00	1	29,000.00	1	28,500.00	1
56,000.00	1	57,000.00	1	28,500.00	1	29,500.00	1	29,000.00	1
57,000.00	1	58,000.00	1	29,000.00	1	30,000.00	1	29,500.00	1
58,000.00	1	59,000.00	1	29,500.00	1	30,500.00	1	30,000.00	1
59,000.00	1	60,000.00	1	30,000.00	1	31,000.00	1	30,500.00	1
60,000.00	1	61,000.00	1	30,500.00	1	31,500.00	1	31,000.00	1
61,000.00	1	62,000.00	1	31,000.00	1	32,000.00	1	31,500.00	1
62,000.00	1	63,000.00	1	31,500.00	1	32,500.00	1	32,000.00	1
63,000.00	1	64,000.00	1	32,000.00	1	33,000.00	1	32,500.00	1
64,000.00	1	65,000.00	1	32,500.00	1	33,500.00	1	33,000.00	1
65,000.00	1	66,000.00	1	33,000.00	1	34,000.00	1	33,500.00	1
66,000.00	1	67,000.00	1	33,500.00	1	34,500.00	1	34,000.00	1
67,000.00	1	68,000.00	1	34,000.00	1	35,000.00	1	34,500.00	1
68,000.00	1	69,000.00	1	34,500.00	1	35,500.00	1	35,000.00	1
69,000.00	1	70,000.00	1	35,000.00	1	36,000.00	1	35,500.00	1
70,000.00	1	71,000.00	1	35,500.00	1	36,500.00	1	36,000.00	1
71,000.00	1	72,000.00	1	36,000.00	1	37,000.00	1	36,500.00	1
72,000.00	1	73,000.00	1	36,500.00	1	37,500.00	1	37,000.00	1
73,000.00	1	74,000.00	1	37,000.00	1	38,000.00	1	37,500.00	1
74,000.00	1	75,000.00	1	37,500.00	1	38,500.00	1	38,000.00	1
75,000.00	1	76,000.00	1	38,000.00	1	39,000.00	1	38,500.00	1
76,000.00	1	77,000.00	1	38,500.00	1	39,500.00	1	39,000.00	1
77,000.00	1	78,000.00	1	39,000.00	1	40,000.00	1	39,500.00	1
78,000.00	1	79,000.00	1	39,500.00	1	40,500.00	1	40,000.00	1
79,000.00	1	80,000.00	1	40,000.00	1	41,000.00	1	40,500.00	1
80,000.00	1	81,000.00	1	40,500.00	1	41,500.00	1	41,000.00	1
81,000.00	1	82,000.00	1	41,000.00	1	42,000.00	1	41,500.00	1
82,000.00	1	83,000.00	1	41,500.00	1	42,500.00	1	42,000.00	1
83,000.00	1	84,000.00	1	42,000.00	1	43,000.00	1	42,500.00	1
84,000.00	1	85,000.00	1	42,500.00	1	43,500.00	1	43,000.00	1
85,000.00	1	86,000.00	1	43,000.00	1	44,000.00	1	43,500.00	1
86,000.00	1	87,000.00	1	43,500.00	1	44,500.00	1	44,000.00	1
87,000.00	1	88,000.00	1	44,000.00	1	45,000.00	1	44,500.00	1
88,000.00	1	89,000.00	1	44,500.00	1	45,500.00	1	45,000.00	1
89,000.00	1	90,000.00	1	45,000.00	1	46,000.00	1	45,500.00	1
90,000.00	1	91,000.00	1	45,500.00	1	46,500.00	1	46,000.00	1
91,000.00	1	92,000.00	1	46,000.00	1	47,000.00	1	46,500.00	1
92,000.00	1	93,000.00	1	46,500.00	1	47,500.00	1	47,000.00	1
93,000.00	1	94,000.00	1	47,000.00	1	48,000.00	1	47,500.00	1
94,000.00	1	95,000.00	1	47,500.00	1	48,500.00	1	48,000.00	1
95,000.00	1	96,000.00	1	48,000.00	1	49,000.00	1	48,500.00	1
96,000.00	1	97,000.00	1	48,500.00	1	49,500.00	1	49,000.00	1
97,000.00	1	98,000.00	1	49,000.00	1	50,000.00	1	49,500.00	1
98,000.00	1	99,000.00	1	49,500.00	1	50,500.00	1	50,000.00	1
99,000.00	1	100,000.00	1	50,000.00	1	51,000.00	1	50,500.00	1

馬鈴薯		材木類		罐詰類		海產物		天草	
保管價格	俵數	保管價格	本數	保管價格	個數	保管價格	捆數	保管價格	捆數
▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●	▲ ●
7,000.00	1	1,000.00	1	1,000.00	1	1,000.00	1	1,000.00	1
8,000.00	1	2,000.00	1	2,000.00					

株式會社高崎常設家畜市場	牛馬賣買ノ仲立	一五,〇〇〇	九,〇〇〇	大正元年十二月二十七日	鶴見町 二七
株式會社高崎電氣館	活 動 寫 眞	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	同 二年三月二十二日	柳川町 三一
高崎板紙株式會社	製紙販賣及石灰製造販賣	一六〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	同 三年二月二十四日	八島町 一九二
高崎製材株式會社	立木及木材ヲ買入加工販賣	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	同 年三月三日	旭町 五二
株式會社高崎繭絲市場	繭絲類ノ取引ヲナス場所 ヲラシメテ家賃賣買手數料 及殺蛹料等ヲ得ルコト	一五,〇〇〇	七,五〇〇	同 年八月五日	八島町 一七
群馬產業株式會社	金錢貸付及他ノ商會社 ノ委託ヲ受ケ商行爲ノ代 理ヲナシ手數料及報酬ヲ 受ケ	一〇,〇〇〇	二,五〇〇	同 年八月十五日	連雀町
株式會社龍榮社	製 絲 製 織	一〇〇,〇〇〇	六,二五〇	同 五年十月二十二日	赤坂村 七〇四
高崎海陸物產株式會社	海陸物產委託販賣	一五,〇〇〇	三,七五〇	同 年十一月十日	九藏町 二
里見軌道株式會社	人車軌道ニ依リ一般貨物 ノ運輸	八〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	同 年十一月二十七日	柳川町 九九
信永運輸株式會社	運 送 業	五〇,〇〇〇	一七,五〇〇	同 年十一月二十三日	八島町 四五
烏川水力電氣株式會社	電 力 供 給	二〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 六年二月六日	柳川町 九九
群馬製材株式會社	製 材 販 賣	三〇,〇〇〇	七,六〇〇	同 年七月二十七日	鶴見町 一四
高崎商業相互株式會社	店舖ノ貨物物品販賣	一三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	同 年八月十九日	本町 一三四
內國通運株式會社高崎支店	貨 物 運 送	一三〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	明 治 十七年五月	八島町 四三

合資會社

淺見合資會社	織 物 販 賣	二二,五〇〇	二二,五〇〇	明 治 三十三年六月一日	九藏町 三一
中島合資會社	生 絹 販 賣 仲 買	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 三十四年十一月十日	寄合町 二二
合資會社上野運送店	運 送 業	九,九〇〇	九,九〇〇	同 四十二年四月一日	八島町 四一
合資會社山崎運送店	運 送 業	五〇	五〇	同 年十一月十八日	大橋町 七二
合資會社伊勢田商店	香 油 煉 油 製 造 販 賣	一五〇	一五〇	同 四十二年一月十五日	田町 四五
合資會社笹本運送店	運 送 業	一五〇	一五〇	同 年五月二十五日	八島町 一六
高崎火止石油製造合資會社	火 止 石 油 製 造 販 賣	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 年十一月十四日	赤坂村 七五七
高崎信託合資會社	金錢貸付依託賣買信託	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 四十五年一月十日	歌川町 七
金 喜 合 資 會 社	海產物乾物販賣依託	五〇	五〇	同 年一月二十四日	新紺屋町 六
合資會社矢川石材店	石 材 請 負 販 賣	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	大 正 二 年 五月二十日	住吉町 二〇
樋口合資會社	陶 器 販 賣	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	同 年十月十六日	田町 三三
合資會社結城屋洋物店	洋 物 品 販 賣	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	同 年十二月十七日	田町 三八
合資會社岸麻真田製紐所	麻 眞 田 製 造 販 賣	二二,〇〇〇	二二,〇〇〇	同 年四月十五日	上和田町 一
花村合資會社	金 錢 物 品 貸 付	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	同 年五月一日	下横町 四
合資會社市田商店	生 絹 仲 買 販 賣	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 年十一月二十八日	連雀町 八九
山 德 合 資 會 社	吳 服 販 賣	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同 年五月十一日	田町 二三
合資會社高崎硝子工場	硝 子 製 造 販 賣	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	同 年九月一日	末廣町 五
越 野 合 資 會 社	陶 器 製 造 販 賣	五〇〇	五〇〇	同 年十月十三日	連雀町 一

合名會社

名稱	目的	資本金額	拂込金額	創立年月日	所在地
天田合名會社	實業及金錢貸付	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	明治四十一年三月二十三日	砂賀町 二九
山崎合名會社	金錢貸付	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	同 年五月五日	柳川町 一七四
合名會社山田商店	物品販賣	四,五〇〇	四,五〇〇	同 年十月三日	田町 一一一
合名會社今勇商店	海産依託販賣	一,〇〇〇	一,〇〇〇	同 四十二年十二月一日	連雀町 五九
合名會社三河屋商店	物品販賣	三,〇〇〇	三,〇〇〇	同 四十三年七月一日	田町 八四
合名會社田村染色店	絹布染色	二,〇〇〇	二,〇〇〇	同 四十四年三月二十八日	住吉町 九
合名會社小澤商店	物品販賣	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	大正 四年九月二十日	九藏町 四一
合名會社中會根製材所	製材貨挽	四,三〇〇	四,三〇〇	同 五年十一月十五日	高砂町 三二
合名會社須藤兩替店	兩替、古金銀買賣、金錢貸付、有價證券買賣、仲立業	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	同 六年三月一日	九藏町 一〇六

工業

工場

工場名	所有者名	創立年月	工場所在地	主要製品	原動力別	機關數	實馬力
落合染工場	落合兵三郎	慶長年間	九藏町	染色	石本油發動機	-	二五
十一屋酒造	藤崎惣兵衛	寶永六年六月	同	味噌醬油	汽本油發動機	-	一〇
小島鐵工所	小島彌平	文政六年	歌川町八	鑄鐵物	汽本油發動機	-	三五
吉村紅染工場	吉村平七	弘化二年三月	相生町	染色	汽本油發動機	-	一〇
田村染工場	田村朝次郎	天保六年三月	住吉町	同	汽本油發動機	-	一〇
向井染工場	向井林藏	同 十 年	元紺屋町	同	汽本油發動機	-	一〇
西岡製絲所	西岡勳五郎	明治元年七月	高砂町	生絲	汽本油發動機	-	一〇
小竿酒造	小竿佐平	同 二年十月	本町	清酒	汽本油發動機	-	一〇
十一屋醬油藏	高井商二	同 四年五月	相生町	味噌醬油	汽本油發動機	-	一〇
山口製絲場	山口德次郎	同 八年四月	住吉町	生絲	汽本油發動機	-	一〇
秋池染工場	秋池金吾	同 十年十月	歌川町	染色	汽本油發動機	-	一〇
成池立製絲舍	塚越勝三郎	同 十四年十一月	田町	印刷	汽本油發動機	-	一〇
茂木製絲所	茂木惣兵衛	同 十九年九月	並榎町	生絲	汽本油發動機	-	一〇
濱村染工場	濱村幸吉	同 二十年一月	大橋町	染色	汽本油發動機	-	一〇
白井染工場	白井慶藏	同 年二月	新田町	同	汽本油發動機	-	一〇
精真染工場	吉田吉次郎	同 年四月	九藏町	印刷	汽本油發動機	-	一〇
昇明染工場	須藤市之助	同 二十三年六月	山田町	生絲	汽本油發動機	-	一〇
蠟山酒造	蠟山政次郎	同 二十六年十月	歌川町	清酒	汽本油發動機	-	一〇

八千代館	高崎製材工場	高崎板紙工場	井上製紐場所	岸真田工場	萩原製絲場所	三田製絲場所	相澤製絲場所	三盛盛工場	山本鐵工場	本間染工場	酒井酒造場	友松工場	碓氷社工場	木暮製麵所	岡醬油藏	高崎硝子工場	秋池染色場	澤田印刷所	文林堂
淺香龜吉	高崎製材株式會社	高崎板紙株式會社	井上保三郎	岸啓三郎	萩原久太郎	三田捨四	相澤綱吉	豐島要次郎	山本芳五郎	本間豐榮	酒井金次郎	友松喜平	碓氷聯合會社	木暮竹次郎	岡宗一郎	高崎硝子工場	秋池半藏	澤田喜代藏	山田量山
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同五年六月	同四年四月	同三年三月	同元年十月	同元年九月	同元年六月	同四十五年六月	同四十四年四月	同四十四年六月	同四十年六月	同三十九年九月	同三十八年十月	同三十七年一月	同三十五年六月	同三十一年七月	同三十年二月	同三十年二月	同三十年五月	同二十九年二月	明治二十七年七月
鶴見町	旭町	八島町	鶴見町	上和田町	下横町	椿町	南町	檜物町	新喜町	高砂町	九藏町	上和田町	八島町	本町	常盤町	末廣町	柳川町	新結屋町	鶴見町
生絲	製材	板紙製造	同	麻真田	同	同	同	生絲	印刷	鐵工	染色	清酒	製麵	生絲	製麵	玻璃器	染色	同	印刷
汽動機	電動機	電動機	同	同	同	同	同	汽動機	電動機	同	同	同	同	電動機	電動機	電動機	電動機	電動機	電動機
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

上和田組製絲所 確氷社 大正五年六月 上和田町 生絲 日本形水車機

高崎生絹太織生産額並價格表

年別	生絹數量	同上價格	太織數量	同上價格	生絹太織數量計	同上價格
大正五年	一三二、六六六	五七九、九〇二	四八〇〇	三二、六〇〇	一三六、四一六	六〇、一五〇
大正四年	一一三、七七八	三九九、〇二八	五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一二七、七七八	四〇、一〇二
大正三年	一一九、〇九一	四〇〇、一八一	七、五〇〇	二九、二五〇	一二六、五九一	四二、九四三

大正五年上半期生絹太織價格表

品名	月別	一月		二月		三月		四月		五月		六月	
		最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
生絹	上	四、一三五	四、〇〇〇	四、四〇〇	四、一五〇	四、四四五	四、二〇〇	四、四〇〇	四、〇〇五	四、二一〇	四、〇〇〇	四、二一〇	四、〇〇〇
	中	三、七〇〇	三、三三〇	三、九〇〇	三、六五〇	三、九五〇	三、七〇〇	三、七〇〇	三、三三五	三、七〇〇	三、三三〇	三、七〇〇	三、三三〇
下	上	三、三〇〇	二、九五〇	三、四四五	三、二〇〇	三、五〇〇	三、三〇〇	三、二〇〇	二、九五〇	三、二〇〇	二、九〇〇	三、二〇〇	二、九〇〇
	中	三、三〇〇	二、九五〇	三、四四五	三、二〇〇	三、五〇〇	三、三〇〇	三、二〇〇	二、九五〇	三、二〇〇	二、九〇〇	三、二〇〇	二、九〇〇

大正五年下半年期生絹太織價格表

品名	月別	七月		八月		九月		十月		十一月		十二月	
		最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
太	織	下	四二〇	三九五	四六〇	四三〇	四六〇	四四〇	四七〇	四七五	五二〇	四八〇	四四五
		中	四六〇	四四五	四九五	四六五	五〇〇	四八〇	四九〇	四四五	四六〇	四八〇	四六〇
		上	五二五	四九〇	五三〇	五二五	五四〇	五二〇	五一〇	四九〇	五二〇	四八五	四八〇
生	絹	下	三二〇	二九〇	三三〇	三二〇	三六〇	三三五	三九〇	四二〇	四二〇	三九〇	四一〇
		中	三七〇	三三〇	四〇〇	三七五	四一〇	三八〇	四四〇	四二〇	四六〇	四四〇	四七〇
		上	四二〇	四〇五	四五〇	四三〇	四六五	四四〇	四八五	四六〇	四九五	四八〇	五二〇
太	織	下	四二〇	三八五	四六〇	四三〇	四六〇	四四〇	四七〇	四七五	五二〇	四八〇	四四五
		中	四六〇	四四五	四九五	四六五	五〇〇	四八〇	四九〇	四四五	四六〇	四八〇	四六〇
		上	五二〇	四八五	五三〇	五二〇	五四〇	五二〇	五一〇	四九〇	五二〇	四八五	四八〇

有限責任信用販賣組合確氷社製絲出荷數量並價格表

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
姬	一七〇・六一・七五	二二九・九四・七五	銀紅葉	二二五・九四・二五	一四六・四六・九四

同社機械製絲出荷數量並價格表

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
五二人娘	三三二・〇二・五〇〇	三九二・八四・九九七	其他	二七〇・九二・二五	三〇一・〇一・三五・一三
二人娘	二七〇・四六・七五	三二八・〇七・三三	大正四年	一一二・二二・二五	一八二・一〇・四六・〇
鹿葉	六・八七・一〇〇	八〇・六三・二二	大正三年	一一三・五〇・三七四	一一四・八七・二〇・〇
金紅葉	二九四・二九・二五	三四四・〇〇・〇五		一六五・六五・〇・二五	一一八・三三・四一・七

有限責任信用販賣組合甘樂社製絲出荷數量並價格表

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
羽子板	一三七・四四・五〇	一八三・三六・九六・一九	其他	一一七・四五・二七	一二七・九一・九・五六
提提	一一三・九八・六・二五	一四六・一・三七・〇・三五	計	三九三・三八・九・四二	五・〇四・二・〇・五・三七
かる	五・六七・八・五〇	六三五・七八・八・六〇	大正四年	二七七・六六・一・〇五	二八四・六・五・二・四・二四
燈	七八・五三・九・〇〇	九九二・四三・〇・六七	大正三年	二六八・三三・五・三・九	二・六二・二・二・四〇

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
握手	二二・八〇・七	三〇〇・六七・〇	青團扇	五・二二・九	六〇・三〇・三三
赤字	三〇・九六・二	三八七・六二・六	黑團扇	二九・三三	三一・九二・四

職業別	賄給及衣服給與	三上		六期		九下		十二期	
		最高	普通	最高	普通	最高	普通	最高	普通
農作年雇男	賄給與	四〇〇	三三〇	四二〇	三六〇	四〇〇	三五〇	四〇〇	三五〇
農作日雇男	同	三五	三〇	四〇	三五	三五	三〇	四〇	三五
米搗(日給)男	同	三五	三〇	四〇	三五	三五	三〇	四〇	三五
養蠶職(日給)男	同	三五	三〇	四〇	三五	三五	三〇	四〇	三五
養蠶職(日給)女	同	三五	三〇	四〇	三五	三五	三〇	四〇	三五
蠶絲繰女(日給)	無給與	四〇	三〇	四〇	三〇	四〇	三〇	四〇	三〇
機織職(日給)男	同	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五
機織職(日給)女	同	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五
陶器轆轤職(日給)	同	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五	三〇	二五
塗師職(日給)	同	六〇	五五	六〇	五五	六〇	五五	六〇	五五
袋物職(日給)	同	七〇	六五	七〇	六五	七〇	六五	七〇	六五
和服仕立職(日給)	同	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇
洋服仕立職(日給)	同	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇
木挽職(日給)	同	八〇	七五	八〇	七五	八〇	七五	八〇	七五
大工職(日給)	同	八五	八〇	八五	八〇	八五	八〇	八五	八〇

高崎市各種勞役賃金

(大正五年)

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
青犬	四二、二〇六	六二、九二八	大正三年	一〇八、一四一	八八、一四二
白犬	四三、三二八	五九、三三七	大正四年	八六、五四三	九〇、九六六
赤犬	三〇、八〇一	三九、六五三	計	二二、九二〇	一七、〇四、六七〇
銀犬	七、四四五	八、五四八	黑犬	四二三	四七、七三五
金犬	七、四一七	八、五八九			

同社機械製絲出荷數量並價格表

商標	出荷斤量	同上價格	商標	出荷斤量	同上價格
米字金	四一、四四二	五〇、九五四〇	無商標	五、六八六	五九、七二四
青字	三三、一九三	三九、六一二	拔絲及疵絲	六二〇	六、八九四
黑字	一八、七〇七	二〇、一一一	雜絲	六七	七、四七
ケ一アル	八、九四六	九、九五四五	計	一九二、九三四	二、三四〇、六〇五
米銀	六、六七九	八、九七八	大正三年	二〇〇、六八九	一、五二二、六八六
米團	七、五三三	八、九〇四	大正四年	一七二、六五一	一、七〇二、八九一
銀團	八、一四一	九、五二七			

鑄物	漆搔	紙漉	車製造	馬具	靴	下駄	菓子製造	煙草刻	植木	石工	建具	壘刺	經師	指物	煉瓦積	煉瓦製造	家根	瓦	左官
職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	無給與
九〇			八〇	一〇〇	五〇	五〇	五〇			一〇〇			一〇〇		一三〇	八〇	九五	一五〇	
八〇			六〇	七五	四〇	四〇	四〇		八〇	九〇	八〇	八〇	七五	八〇	一三〇	六五	八〇	一三〇	九〇
四五			五〇	五〇	三〇	二五	二五			八〇			五〇		一〇〇	五五	六五	一〇〇	
九〇			八〇	一〇〇	五〇	五〇	五〇			一〇〇			一〇〇		一三〇	八五	九五	一五〇	
八〇			六〇	七五	四〇	四〇	四〇		八〇	九〇	八〇	八〇	七五	八〇	一三〇	六五	八〇	一三〇	九〇
四五			五〇	五〇	三〇	二五	二五			八〇			五〇		一〇〇	五五	六五	一〇〇	
一〇〇			八〇	一〇〇	七〇	五五	五五			一〇〇			一〇〇		一三〇	八五	九五	一五〇	
八五			六〇	八五	五五	四五	四五		八五	九〇	八〇	八〇	八五	八〇	一三〇	六五	八〇	一三〇	九〇
五〇			五〇	六〇	三五	三〇	三〇			八〇			五〇		一〇〇	五五	六五	一〇〇	
一〇〇			八〇	一〇〇	七〇	五五	五五			一〇〇			一〇〇		一三〇	八五	九五	一五〇	
八五			六〇	八五	五五	四五	四五		八五	九〇	八〇	八〇	八五	八〇	一三〇	六五	八〇	一三〇	九〇
五〇			五〇	六〇	三五	三〇	三〇			八〇			五〇		一〇〇	五五	六五	一〇〇	

○交通

郵便事項

鍛冶	綿打	活版植字	版摺	油絞	鳶	桶	杜	醬油造	漁	日雇人	下	下
職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	職(日給)	氏(月給)	職(月給)	夫(日給)	夫(日給)	男(月給)	女(月給)
同	同	同	同	同	同	同	賄給與	同	同	無給與	賄給與	同
八〇	五〇	八〇	七〇	七〇		七五					三三〇	二五〇
七〇	三〇	六〇	五〇	五〇		七五		八〇〇			三〇〇	二〇〇
五〇	二五	四〇	四〇	四〇		四〇		一三〇〇			二五〇	一五〇
八〇	五〇	八〇	七〇	七〇		七五					三三〇	二五〇
七〇	三〇	六〇	五〇	五〇		七五		八〇〇			三〇〇	二〇〇
五〇	二五	四〇	四〇	四〇		四〇		一三〇〇			二五〇	一五〇
八〇	五〇	八〇	七〇	七〇		七五					三三〇	二五〇
七〇	三〇	六〇	五〇	五〇		七五		一五〇〇			三〇〇	二〇〇
五〇	二五	四〇	四〇	四〇		四〇		一三〇〇			二五〇	一五〇
九〇	五〇	八〇	七〇	七〇		七五					三三〇	二五〇
八〇	三〇	六〇	五〇	五〇		七五		一五〇〇			三〇〇	二〇〇
五〇	二五	四〇	四〇	四〇		四〇		一三〇〇			二五〇	一五〇
九〇	五〇	八〇	七〇	七〇		七五					三三〇	二五〇
八〇	三〇	六〇	五〇	五〇		七五		一五〇〇			三〇〇	二〇〇
五〇	二五	四〇	四〇	四〇		四〇		一三〇〇			二五〇	一五〇

種別	期別	大正五年上半期		大正五年下半期		計
		引込	引込	引込	引込	
通常郵便	引込	1,258,830	1,572,402	1,507,794	1,465,828	2,866,634
小包郵便	引込	7,107	7,107	9,016	9,016	16,123
電信通金	發信	1,199,949	1,199,949	1,866,668	1,866,668	3,633,336
及料	中繼	9,110	9,110	30,753	30,753	59,863
郵便切手收入	印紙	2,473,530	2,473,530	1,471,755	1,471,755	3,945,285
印紙賣捌高	印紙	6,141,561	7,842,634	92,998,884	125,827,635	154,977,159
郵便端書賣捌高	印紙	28,558,676	28,558,676	55,034,850	55,034,850	113,593,526

電話加入者數及使用比較表

種別	年別	大正五年	大正四年	大正三年
電話加入者數		131,456	111,553	113,510
同上使用料		512	481	453

高崎區內電話取扱及電話度數料金表

年別種別	電話度數		自働電話		料所
	度數	時信	度數	時信	
大正五年	11,050	4,940	2,938	1,150	130,400
大正四年	11,240	4,940	2,982	1,150	131,150
大正三年	11,733	3,912	2,833	1,150	122,950

高崎市外電話度數及時數料金表

年別種別	發度		着度		料所
	度數	時信	度數	時信	
大正五年	53,740	55,922	56,625	56,570	1,547,000
大正四年	49,278	51,244	54,690	56,570	1,073,550
大正三年	50,013	50,108	52,354	52,485	978,850

高崎停車場乗降客數及賃金表

(鐵道院高崎驛)

年別種別	乘車人員			降車人員			賃金
	一等	二等	三等	一等	二等	三等	
大正五年	1,331	16,768	41,267	256	19,581	40,319	163,385
大正四年	1,310	18,803	35,810	184	17,594	36,425	133,607
大正三年	1,318	18,177	32,672	25	19,880	39,275	145,102

高崎停車場手荷物小荷物表

年別種別	手荷物		小荷物		計	
	斤量	貨物金	斤量	貨物金	斤量	貨物金
大正五年	二八,四四九	五四六.二四	六〇七.四六二	一〇,〇八九.八七	六三五.九一一	一〇,八四七.一一
大正四年	二七,四二一	五四九.三九	五五五.七〇〇	八,五八二.四四	五八三.一一	七,一三〇.八三
大正三年	三三,九三五	五五四.八〇	一一,三五三.二四	七,三〇八.四三	一,一六七.一五〇	七,八六三.三三

同貨物發送表

年別種別	通		常		貸		切		速		達		計	
	個數	斤量	貨物金	車數	噸數	貨物金	個數	斤量	貨物金	噸數	貨物金	噸數	貨物金	
大正五年	五三八,六七〇	二,八八四,四三九.三七	七五九.二二三	三,三四四.三六二	一,三三八,四四九.六二	一,三三二.二二	二,六七二.一一	一,一九〇.三七	一,一四一.七六	三,三〇三.〇七	一,七六一.三〇	七,六一.九六	六〇,九九六.六八	
大正四年	三九一,〇六三	一,九七一,四四〇.三三	七〇七.六一二	二,九七〇.二二	一,四七三.四〇	三,五八.八九	一,五五二.〇〇	一,四九四.九五	三三,九三六	六六,二六.九六	六〇,九九六.六八			
大正三年	四〇七,二九〇	二,八三三,〇〇〇.三二	一,七四四.〇〇	二,六五六.一八	七,七六三.二九	五,五五六.〇四	一,七二二.一四	五,五三〇.〇〇	三〇,五六八	六〇,九九六.六八				

同貨物到着表

年別種別	通		常		貸		切		速		達		計	
	個數	斤量	貨物金	車數	噸數	貨物金	個數	斤量	貨物金	噸數	貨物金	噸數	貨物金	
大正五年	一七九,九〇〇	二,九四八,二〇〇.〇〇	一一,九二六.〇〇	一一,九二六.〇〇	九,五七五.〇〇	一,一三三.〇〇	七,九七九.〇〇	一一,三三三.〇〇	七,九七九.〇〇	一一,三三三.〇〇	一一,三三三.〇〇	一一,三三三.〇〇	一一,三三三.〇〇	

大正四年	四四〇,三七二	二,五八八,七〇二.一一	一一,〇四九.〇〇	八二,五六四.〇〇	一,六〇〇.〇〇	八五,五七七.〇〇	九八,八八七.〇〇	四四〇,三七二	二,五八八,七〇二.一一	一一,〇四九.〇〇	八二,五六四.〇〇	一,六〇〇.〇〇	八五,五七七.〇〇
大正三年	四三〇,三九一	一,七,七六三,二一〇.〇〇	八,三五六.〇〇	六九,八六二.〇〇	二,一三七.〇〇	一七九,一六七.〇〇	八六,四三五.〇〇	四三〇,三九一	一,七,七六三,二一〇.〇〇	八,三五六.〇〇	六九,八六二.〇〇	二,一三七.〇〇	一七九,一六七.〇〇

同貨物發着表

品名	輸出部		輸入部	
	噸數	斤量	噸數	斤量
米	八五九	松井田,前橋,安中,本庄,新町,	一一,四五八	栃木,宇都宮,下館,北越一帶,
大豆	一,九一六	館林,深谷,熊谷,高田,直江津,柏崎,	一,四〇〇	鴻巣,深谷,熊谷,加須,羽生,
小豆	五二八	新町,前橋,秋葉原,	一,八九四	海神奈川,奥羽地方,
砂糖	四〇六	御代田,小諸,上田,長野,桐生,	一,九八五	隅田川,
和洋酒	三〇五	桐生,前橋,本庄,	二,八四一	東横濱,秋葉原,隅田川,
茶葉	八	前橋,安中,	七四二	秋葉原,深谷,熊谷,
煙草	五八七	秋葉原,	五三六	秋葉原,
煙草(製品)	七八〇	小諸,松本,前橋,桐生,熊谷,深谷,	二,〇〇三	靜岡,上尾,
薯粉	三三三	秩父,	一,〇一〇	七井,真岡,須賀川,太田,
甘藷	九八	御代田,小諸,香掛,	一,六六七	秋葉原,熊谷,深谷,館林,
			一,九二〇	大宮,上尾,桶川,鴻巣,

干産魚 海産肥 人造肥 其他肥料 木材料 石材料 石炭 薪炭物 果物 煉灰瓦 石油 鐵鋼 綿布 繭絲 陶器 燐寸

三〇〇 御代田、小諸、桐生、足利、前橋、松井田、
 二九四 御代田、小諸、新町、本庄、熊谷、
 一八 前橋、本庄、新町、
 一〇〇 上田、本庄、新町、熊谷、
 三、七、七 秋葉原、隅田川、錦糸町、
 六四九 熊谷、深谷、本庄、桐生、
 一三五 倉賀野、磯部、
 一八 秋葉原、隅田川、新宿、桐生、
 二、七、五、九 上田、小諸、秋葉原、
 二九八 桐生、大間々、
 四二 秋葉原、
 二六六 秋葉原、本庄、桐生、
 五九 熊谷、深谷、岡谷、松本、
 七七 足利、桐生、伊勢崎、館林、加須、羽生、
 九四 栃木、足利、宇都宮、
 三三

二、七、〇、一 青森、函館、龜田、
 一、〇、三 直江津、青森、
 一、五、七 隅田川、
 一、〇、四 秋葉原、
 三、〇、八、二 隅田川、御代田、奥羽、東北方面、
 一、二、〇、七 龜田、稻田、
 二、八、八、五 高萩、湯本、磯原、勿來、綴、
 七四 隅田川、
 一九 長野、桐生、足利、栃木、
 一、五、〇、四 深谷、
 一、七、一、六 栃木、葛生、
 一、〇、五、〇 程ヶ谷、柏崎、長岡、
 一、一、八、三 秋葉原、
 九八四 東横濱、東神奈川、
 一九三 秋葉原、
 五三三 秋葉原、
 一、〇、三 伊勢崎、境、水崎、秩父、
 一、一、四、一 益子、名古屋、
 八、一、〇 姫路、兵庫、熱田、高岡、
 一、五、五

鮮魚 生絲 絹布 七皮 生皮 空罐 土石 砥石 牛馬 和紙 洋紙 燭炭 木皮 鑛石 味醬 硝子 豆粕 製紙 雜貨

二一五 本庄、新町、伊勢崎、足利、桐生、栃木、
 宇都宮、東横濱、梅小路、名古屋、足利、桐生、伊
 勢崎、
 七七四 名古屋、上野、熊谷、足利、桐生、
 一一二 東横濱、本庄、新町、程ヶ谷、
 九二 新潟、新津、長岡、
 八三三 秋葉原、
 七五三 王子、田端、三河島、大崎、
 六〇一 松本、
 六七三 熊谷、隅田川、
 二七二 海神奈川、大寺、石越、
 一、四、九、二 蕨、北千住、
 五〇六 輕井澤、桐生、足尾、
 三〇六 新町、本庄、前橋、
 三三四 王子、三河島、隅田川、
 五二〇 一九、四、七、五

七七一 柏崎、關本、那珂、湊、
 三三四 秩父線各驛、深谷、
 一〇七 京都、伊勢崎、桐生、秩父、米澤、
 八九九 秋葉原、隅田川、熱田、
 二九七 秩父、上田、
 三八七 長野、
 小六四四 輕井澤、沓掛、柏崎、長岡、
 小四三三 白河、米澤、秋田、
 一八六 秋葉原、熊谷、岐阜、大屋、
 三三〇 秋葉原、
 二、九、四、八 隅田川、
 一、三、二、五 小諸、
 三三〇 秋葉原、
 四、九、九、八 海神奈川、高島、隅田川、
 五、三、二、九 三河島、館林、宇都宮、
 二、七、〇、三、九

年別種別	乗車人員			降車人員			計
	一等	二等	三等	一等	二等	三等	
大正三年	三〇,五六八			一五,三一九	九八,六八七	八六,四三五	
大正四年	三三,九三六			一一五,三一九			
大正五年	四二,六七四						
計	一〇六,五三八			一一五,三一九	九八,六八七	八六,四三五	

飯塚停車場乗降客數及賃金表

(鐵道院飯塚驛)

年別種別	乗車人員			降車人員			計
	一等	二等	三等	一等	二等	三等	
大正四年	七〇九	五八九	九四,一五八	九四,七五一	八〇,一八六	一五,一八六	
大正五年	七〇九	五八九	九四,一五八	九四,七五一	八〇,一八六	一五,一八六	
計	一,四一八	一,一七八	一八八,三一六	一八九,四六一	一六〇,三七七	三〇,三七七	

同手荷物小荷物表

年別種別	手荷物		小荷物		計
	斤量	賃金	斤量	賃金	
大正四年	二,九三三	四二二・九	七五,二五七	六九五・一九	七八,一九〇
大正五年	二,九三三	四二二・九	七五,二五七	六九五・一九	七八,一九〇
計	五,八六六	八四四・八	一五〇,五一四	一,三九一・三八	一五六,四〇八

同貨物發送表

年別種別	常貨		切貨		計
	個數	斤量	個數	斤量	
大正四年	四六,〇九六	三,〇一八・五六一	三九四	二,一六七	四六,四九〇
大正五年	五五,九四二	三,三五六・三五三	六一九	四,五四二	五六,五六一
計	一〇二,〇三八	六,三七四・八六一	九一三	六,六八四	一〇二,九〇一

同貨物到着表

年別種別	常貨		切貨		計
	個數	斤量	個數	斤量	
大正四年	一六,六七四	九七六・一六〇	二,二九八	一五,九〇八	一八,九七二
大正五年	二二,七四〇	一,三〇〇・三三四	一九,六八一	一,四五六	二四,二九六
計	三九,四一四	二,二七六・四五〇	二一,八五九	一七,四五二	六一,二七〇

同貨物發着表

品名	輸出部		輸入部	
	噸數	斤量	噸數	斤量
米	三二二	安中,磯部,隅田川,高田,直江津,柏崎,香掛,岡崎,一ノ木戸	二,七六九	新井,新潟,長岡,高田,見付,小山,栃木,直江津,三條,粕壁,羽生,吹上,小山,栃木,熊谷,上尾,桶川
麥	三五七		四一五	
大豆			五八六	隅田川
鹽				
小食				
計				

品名	数量	品名	数量
麥粉	九	熊谷、館林	二五〇
海産肥料	一一	岩内	二七五
人造肥料	一一	王子、隅田川	五九九
木材	二〇六	神保原、沓掛、御代田	三四二
石炭	一四	磯原、高萩、勿來、綴	二、一〇三
野菜	一〇〇	前橋	一四
木炭	七五	輕井澤、沓掛、松井田	二二
果糖	六九	沓掛、御代田、糸魚川	三三
麥糠	七二	橫川	四三
石油	三三〇	程ヶ谷	三三八
桑切機	七二	小諸、岩村田	二一〇
陶器	一七	四日市、常滑	三五
陶土	二八	長野、篠ノ井	七六三
醬油	二一六	宮内	一〇五
大豆粕	二一六	海神奈川、東横濱	二、一五四
水肥	二一六	輕井澤	二八〇
其他	一、九八六	熊谷、館林	三三六
			九四六

年度	計
大正三年	四、二四一
大正四年	四、九四九
大正五年	四、二八八

高崎伊香保間電氣軌道乗客及賃金表 (高崎水力電氣株式會社)

月別	乗車人員	復員	乗車賃
一月	一八、九三三	二、七八五	三、八八一・二九
二月	一三、三九〇	二、〇五九	三、〇九三・二一
三月	二七、一五九	二、四九八	四、〇五一・四二
四月	二五、九七四	三、二五九	七、六五二・六一
五月	一九、九七三	二、四一九	五、一七〇・六七
六月	一七、七三七	二、五二〇	五、五五八・三四
七月	一五、一七一	三、三三三	七、〇六四・七一
八月	一七、七七一	三、八五四	一〇、二八一・六四
九月	一〇、〇四三	三、五〇〇	一〇、三六〇・六三
十月	三九、七四三	三、三四八	一三、三五三・五四
十一月	三二、五五四	二、七八六	八、七九六・二三
十二月	一〇、三四四	二、四七〇	五、〇八九・八九

大正五年計	二九五,七三三	三四,八一	八三,三五二〇八
大正五年末現在	二十一哩		
營業哩數	二五八,六四三	三三,三五三	六八,九〇二・二九
大正四年	二六六,二五七	二六,五一九	七〇,七九七・三三
大正三年			

高崎下仁田間輕便鐵道乘車人員及貨物噸數賃金表 (上野鐵道株式會社)

驛名	乘車人員	同上賃金	貨物數量	同上賃金	賃金計
高崎	七,七二二	二〇,〇九二・七五	三三,九三三	一三,〇〇四・三九	三三,〇九七・一四
山名	二,三九二	二,五八四・九一	四三〇	二,五七〇・四	二,八四一・九五
馬庭	七,三〇一	五,二五三・三八			五,二五三・三八
吉井	三,五三三	四,八四二・二三	一,六一	五,四〇九・九	五,三八三・二三
新屋	六,六九六	六,五六・六七			六,五六・六七
福島	一七,〇〇〇	二〇,六五三・一	七〇二	二,三九七・七	二,三〇五・〇五
富岡	五,四〇七	一〇,九五〇・二〇	二,五五八	一,五一三・八	一,四六一・五八
七日市	六,四一五	七,二〇・八八			七,二〇・八八
一宮	一,九三三	二,三四九・〇五	二七九	一,三二〇・五	二,四八〇・一〇
神農原	八,二八五	七,二四・五〇			七,二四・五〇

諸車表

南蛇井	千平田	下仁田	大正五年計	大正四年	大正三年
一八,四〇一	四七,三三九	三二,六八九	二八,九三三	二八,九三三	二八,九三三
三,三六二・四九	一,二二五・六六	六〇,七二二・九一	五三,四七〇・二〇	五三,四七〇・二〇	五三,四七〇・二〇
三三三	一四,三九七	四四,二四	四四,六八八	四四,六八八	四四,六八八
一〇,九一三	八,四〇二・一一	二四,一九四・九三	二二,六五一・三三	二二,六五一・三三	二二,六五一・三三
三,四七一・六二	二〇,六五七・八二	八四,九一七・八五	七五,二二二・四二	七五,二二二・四二	七五,二二二・四二
五九一・九四					
二,四七一・六二					
七五,二二二・四二					
七五,二二二・四二					

○ 雜

市場

年別	乘用馬車	人力車	自轉車	荷車	荷馬車
大正五年	九	一一一	一,四九〇	一,七三三	四
大正四年	九	一一四	一,六五五	一,七三三	四
大正三年	一〇	一一五	九三五	一,七三三	五

市場名	賣買品目	所在地	開市日
絹市	生絹太織	田町	每月五、十ノ日
絲市	生絲及屑物	本町	每月三、八ノ日
繭絲市場	同	八島町	同
高崎常設家畜市場	牛馬豚	鶴見町	毎日 開市一定セズ
牛馬糶市	同	同	每年五月一日ヨリ十一月三十日マデ
青物市場	柳川町	同	同
同	若松町	同	同
同	堰代町	同	同
西ノ市	雜貨	赤坂町	十二月西ノ日

高崎市電燈電力表

年別	延線哩數	街燈數	燈		火		電		動	
			戶數	室內	戶外	戶數	臺數	馬力	馬力	
大正五年	七七一三	三三四	五九九八	二三〇三六	六三八	八六一	五一	六五	五三七〇	
大正四年	七〇〇〇	三三〇	五五〇七	二二、四二二	四八七	五九七	四四	五六	四七四・五	
大正三年	六七七五	三五八	四八三四	二一、二五五	四二二	五五二	四一	五一	三七三・五	

高崎市瓦斯使用表

年別	本管延	道	呎	室數		街燈	引用戶數	燈火口	口	熱	數
				內	外						
大正五年	四、二五七三	尺	四、五、一、四一	一、〇〇、九二〇	六	一、二、四、四	二、五、〇、七	二、〇、六、三	二、〇、六、三	一、九、四、五	
大正四年	四、三、三、五九	尺	四、三、一、七九	九五、五八六	七	一、二、四、六	二、三、四、〇	一、九、四、五	一、九、四、五	一、七、九、三	
大正三年	三、九、九、七二	尺	三、六、八、九三	八四、二、三九	六	一、一、〇、八	二、一、〇、四	一、七、九、三	一、七、九、三		

屠畜頭數表

年別	牛頭數	馬頭數	豚頭數	計
大正五年	七七五	一八一	一、三六二	二、二、三、八
大正四年	七四七	一一九	一、四八八	二、三、五、四
大正三年	七六〇	一一五	一、四八八	二、三、五、四

宿泊人員表

年別	國內		外國		計
	宿泊人員	出發人員	宿泊人員	出發人員	
大正五年	一、四八、〇二〇	六五、三三九	二二	三三	一、四八、〇四八

大正三年	二二五、一二三	五六、九八六	二	三	一	一三九、〇一〇	五六、二四〇五
大正四年	二二八、六八〇	五六、九八六	三	三	一	一三九、〇一〇	五六、二四〇五

市内職業別表

業別	戸數	業別	戸數	業別	戸數
物品販賣業	一、七三六	質屋業	三七	飲食店業	八二
銀行業	八	倉庫業	一	劇場業	一
金貸付業	六四	電燈業	二	寄席業	一
物品貸付業	一八	瓦斯業	一	人力車業	七〇
製造業	二四二	土木業	二七	理髮業	一〇六
運送業	一一	建築業	二九	湯屋業	一三
鐵道業	三	勞務請負業	一五	周旋業	一五
代理業	九	寫真業	八	仲立業	二二
新開業	一	旅人宿業	六二	牛馬賣買業	三三
古代商業	二二	料理店業	九二	問屋業	二七
古着業	四〇	古道具業	八〇	計	三、一〇一
貨物業	一	農業	二五七		

煙草元賣捌高表

品名	區分	個數	金額	品名	區分	個數	金額
國華	二十本入	二、八七〇	三八三、一四五	ナイル	十本入	一〇五	二二、五七九
敷島	同	一、二三〇五	一、三二四、一七四	アリエント	同	七八五	一三五、〇二〇
八千	同	五五六、〇八〇	四九、四九一、二二〇	オリエン	同	一九五	二六、〇三二
やよ	同	三七、一五〇	三、三〇六、三五〇	アリス	同	一四〇	三、四九二、〇
芙蓉	同	七、一〇〇	六三二、七九〇	スエリ	同	一三〇	一六、三七六
大和	同	一、五八〇	一四〇、六二〇	チエリ	同	一三〇	一三、七〇六
朝日	同	八、三三〇	六六七、三三三	エーア	五十本入	一三七	四二、六七五
カメ	同	一、三九九〇	八、一六〇、八八	リデン	十本入	一三七	二五、七九二
龍計	同	二、〇〇四二	一、四八八、六一六	ゴール	同	三三五、八三二	一四、九〇四、二二四
口付	同	三、三三八〇	二二〇、五七四	蝶	同	一、一七五	四一、八三〇
水府	四十本入	七六、二八三七	六五、五二〇、七一〇	兩切	同	三、四三三、六四九	一五、五二五、五八〇
薩摩	同	二九	五九、八〇八	あや	五本入	三、五二、七六〇	一三、四九、三八四
福壽	同	七六	三〇、九七二	はぎ	四十本入	一、三三三、六六六	三五、六八八、八二二
同	二十本入	四一	一八、九七四	同	二十本入	五〇、三七九	七、一七三、九六九
同	同	同	同	同	五本入	四〇、二、二六二	一七、九〇〇、六五九

本邦外國貨幣及度量衡比較表

◇貨幣		◇尺度		重量(常用量)			
英	一ポンド 一志(一磅の二十分一) 一志(一磅の十二分一) 一ノラング 一サテム 一法(法の百分一) 一ドルラル 一セント	我金貨 凡九圓七十六錢三厘 同四十八錢八厘 同四錢一厘 同三十八錢七厘 同三圓八毛 同二圓〇六厘	ヤード フート インチ	三尺〇一分七五 一尺〇〇五八 八分三厘八毛	一噸(二千二百四十封度) 一ハドレット(一噸) 一ボンド(二百二十封度) 一オンス(十六温) 一温(封の十六分一) 一パール 生絲	凡千六百八十斤 凡八十四斤 百二十一匁 七匁五分 十三貫六百八十匁	
佛	一マルク 一リロー 一クロイネ	同二 同十七錢八厘 同三十八錢七厘 同四十錢七厘	一キロメートル 一メートル 一ミリメートル	九町八間四尺餘 三尺三寸 三厘三毛	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強 一貫三百五十七匁強	
獨	一マルク	同二	一丈 一尺 一寸	一丈 一尺 一寸	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	
伊	一リロー	同十七錢八厘	一尺の十分一	一尺の十分一	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	
露	一ルーブル 一コペック 一ルービイ	同十錢 同十錢一厘 同六十五錢八厘	一斗	一斗	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	
印	一ルピー 一アヌナ 一セネ 一仙(給の十分一) 一兩(銀海關)	同五十三錢八厘 同八錢八厘 同八錢六毛 同八錢六毛 同二十錢六厘	一キログラム 一グラム 一ヘクトグラム	立方尺四十個強 一石六斗一強 二斗〇一強 二升五合二勺 五石五斗四強 五合五勺強 五斗五升強 一石一六強	一斗 一石 一斗 一石 一斗 一石	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強
土	一アヌナ	同八錢八厘	一尺	一尺	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	
蘭	一ギネー 一ギネー 一ギネー	同八錢六毛 同八錢六毛 同八錢六毛	一丈	一丈	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	
清	一錢(兩の十分一) 一分(錢の十分一) 一厘(分の十分一)	同二十錢六厘 同十錢二厘 同十錢二毛	一尺	一尺	一ポンド 一オンス 一グレイン	百匁〇五九強 八匁三分三厘強 一厘七毛強	

附錄終

大正六年十一月二十五日印刷
大正六年十一月二十八日發行

《非賣品》

發行兼編輯者 高崎市鶴見町九番地ノ一 松平篤郎

印刷者 横濱市太田町四丁目六十二番地 増田末吉

印刷所 横濱市太田町四丁目六十二番地 合名會社六三三印刷所

發行所

高崎市本町百七十九番地 高崎商業會議所

電話 一二七番

高崎染色同業組合

役

濱村幸吉 田村朝次郎

高橋良吉 境榮一

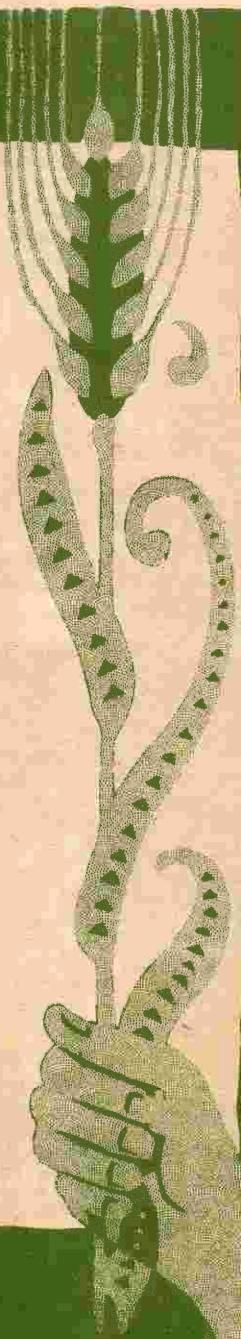
落合孫平 酒井平次郎

員

酒井正太郎 向井林藏

秋池半藏 浦野郡次郎

米穀肥料精米精麥問屋



高崎市停車場前

文市川朝次郎商店

電話三二八番
電略(アサ)又(ア)

各製衣粉會社小麥買次并敷販賣

備有各種規模、大小
 全國、其比々見大

友禪染
 更紗染
 小紋染

高松市白旗
 本問染工場
 本問染工場



營業品目

砂糖
 石油
 油類
 鯉節

總音大ターダ石油會社

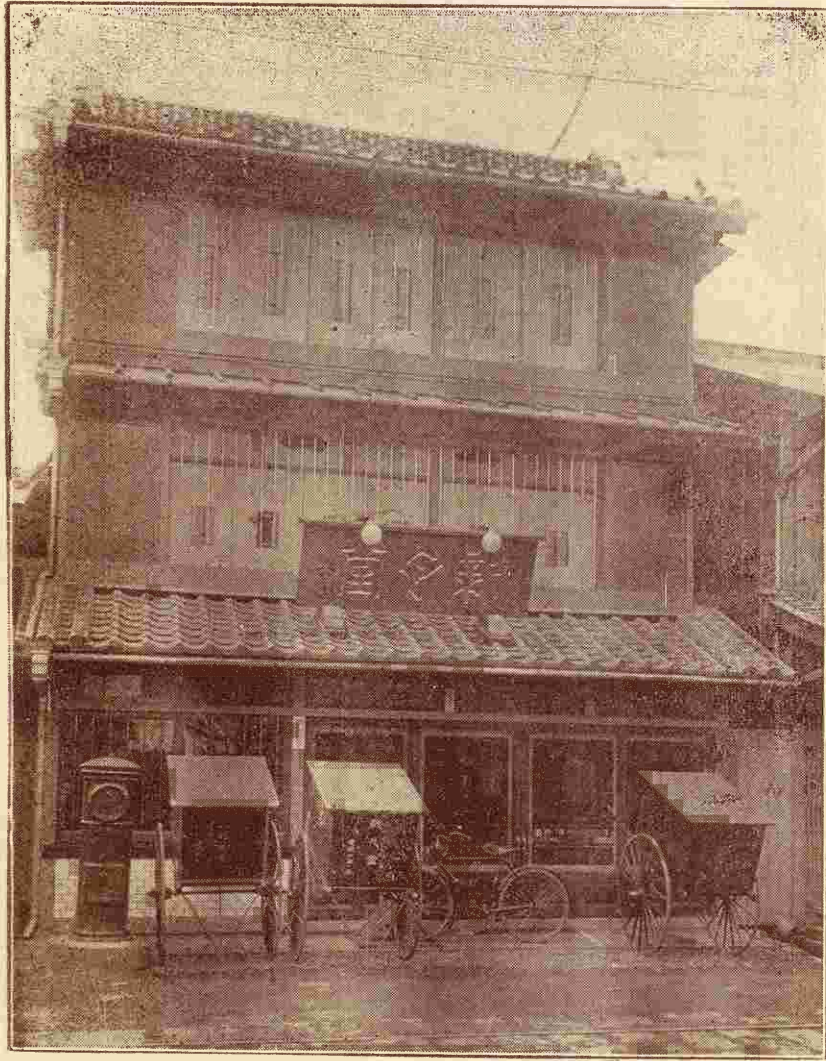
販賣代理店

高松市本町卷丁目

百足屋號

正本店 小林彌七商店

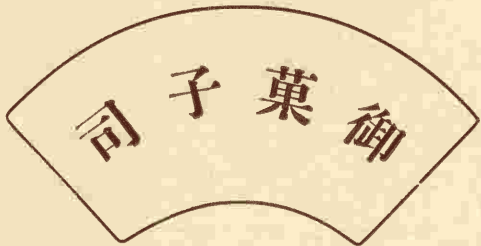
電話(二〇五番) 五番



新 月 堂

高 崎 市 本 町

電 話 四 四 〇 番



御 菓 子 公 司

米穀商 合 三 清水新一郎商店

高 崎 市 額 川 町 十 六 番 地

電 話 十 二 番





高崎市田町一丁目(電車停留所前)

三川屋洋服店



電話 五五二番
振替東京二八九六番

紙油問屋

久

商號 福田屋

杉浦新七本店

高崎市田町百〇六番地

電話 三百七十八番

◇ (ウキ〇) 號略信電 ◇

石油。醬油
洋酒種々
空罐。空樽
麻袋。空壘

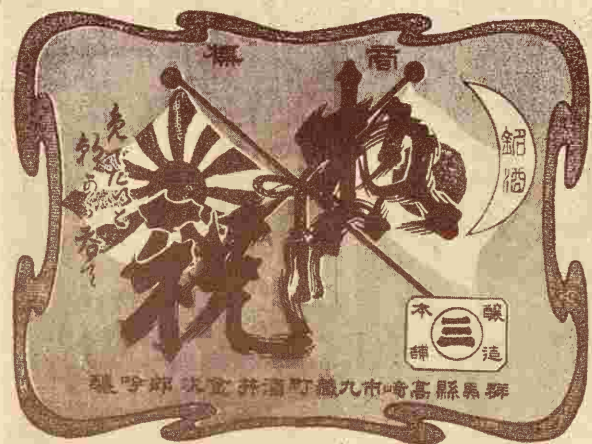
問屋

六岩田商店

高崎市新田町

電話 百四十六番

電器(イ)又ニイワタ



有隣生命保險株式會社

高崎代理店

酒井金次郎

高崎市九藏町

電話 四三七番

上 群馬製材株式會社

高崎市鶴見町

電話 四一〇番



石灰粉灰かき灰海苔蒔
セメント松煙色砂土の類 壁用品問屋

高崎市本町貳丁目四拾壹番地

本 商號 松本庄八商店

電略(マツ)又バ(マ)
電話 三三九番

內外
綿絲問
染絲屋
足袋

高崎市田町

福田屋號



住谷常次郎商店

電話 三百五十一番
振替東京一七一八三番

◇ 疊表傘類

◇ 燐寸下駄

高崎市田町百拾壹番地



綠屋

合名
會社

山田商店

◇ 鼻緒草履表

◇ 養蠶具

金銀名譽賞牌受領

フジサキ
最良大豆醬油

菜

藤崎惣兵衛

高崎市九藏町

振替東京七四六
電話番號一四八



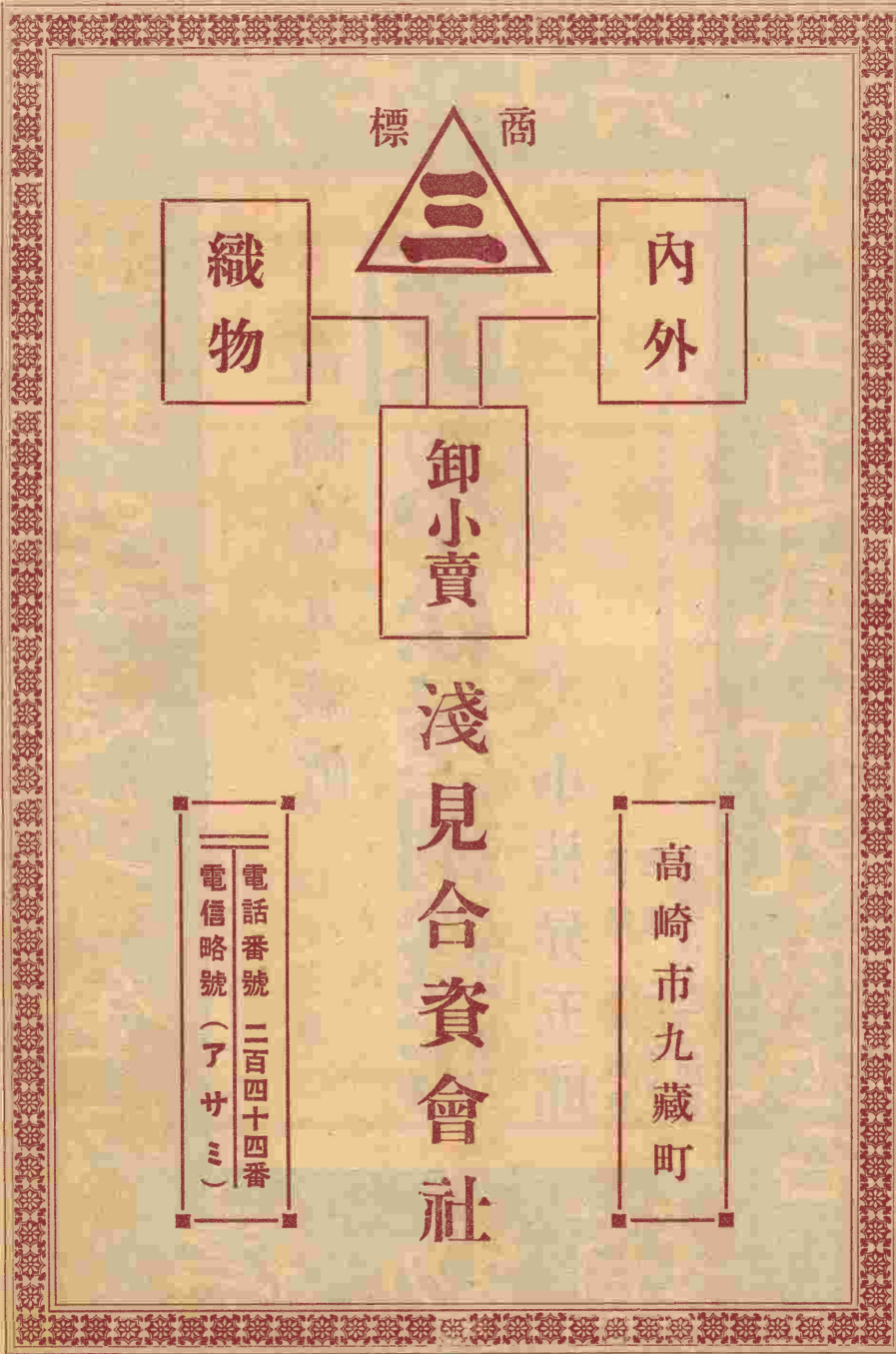
ス
井
フ
ト
ノ
ー
ト
ン
ベ
リ
ー
角一製
各種タイヤ

代理店

天田自転車店

高崎市田町三丁目拾番地

電話 五〇三番



和洋綿絲

◆ ◆

附屬品一式

足袋類各種

高崎市田町三丁目

卸商 青木勘之助

電話 三四二番
振替口座 三一六五番

農土工具

銅鐵器建築金物

高崎市九藏町

正 小松屋銅鐵店

店主 小林昇五郎

電話 五十四番
電略 (ゴシヨ)
振替東京八二二四番

大工道具打刃物砥石

鑄物類

質兼疊表商

高崎市九藏町

岸 龜 吉

電話 四十三番



久保川吳服店

高崎市本町

電話 三九番



乾餛飩 乾蕎麥
切素麵 冷麥麵
島田麵 三輪麵
片栗麵 其他

機械製麵類
手引製麵類
製造本舖

小野屋號 木暮竹次郎

高崎市本町二丁目
電話 三百十八番

內外綿絲
染絲一式

木暮絲店

銅鐵商

七

小保方商店

商號 福田屋

高崎市本町

電話 四十八番
振替 一三四三番
東京

漆器
指物

問屋 井中田伊勢太郎

伊勢屋號

高崎市本町

高崎市田町三丁目

電話 二百三十三番

資本總額六萬圓

拂込金 四萬貳千圓
積立金 千百六拾圓

高崎市連雀町六拾七番地

惣社水力電氣株式會社

〔電話 百拾九番〕

取締役社長 白田 柳吉

常務取締役 小板橋彦治郎

高崎市南町

今相澤製絲所



電話 五百貳拾八番

電 署 (ツナ) 又ハ (ツ)

蠟燭 諸油

商

米手塚彌作

手塚屋號

五百五十六番

高崎市田町三丁目

電話 二百二十九番

高崎市田町三丁目

蠟燭 諸油

吳服太物商

高崎市本町壹丁目

小澤德三郎商店

電話 二二〇番

日本生命保險株式會社代理店



商類子菓掛糖砂

久

釜屋號

新井勘治

高崎市田町三丁目

電話 百三十六番
電信署號 (カマカン)

美術
漆器
簞笥

問屋

毛

石本茂三郎

越前屋號

高崎市田町三丁目

電話 五百五十六番



繭絲 委托 仲次

丸松本春造商店

高崎市四ツ谷町

電話長四四四番
電署(マツ)又ハ(マ)

疊表燐寸

蠶具蚊帳

履物提燈

正倉上太助

雨傘 金土岐 印發賣元 惠比壽

高崎市九藏町貳拾六番地

和染絹卸
洋糸糸類

商

和泉豐絲店

高崎市 中紺屋町

電話二二七番
電信署號(イ)

海陸物產
委託商

百足屋號

高崎市 九藏町

三井田與八

電話三二二番
電署(ミ)

鹽魚 鮮魚 委托競走販賣

◆魚問屋◆

資本金 壹萬五千圓

高崎市九藏町貳番地

夕 高崎海陸物産株式會社

電話 四二一番
電署(○夕)又ハ(夕)

當社ハ誠實ヲ旨トシ御委托

品ハ親切ニ御取扱申候間

陸續御送荷アラシヨトヲ

伏シテ奉懇願候 敬白

社長

常務取締役

同

同

取締役

白田 柳 吉

佐藤 金 八

羽鳥 源 四 郎

磯邊 榮 三 郎

小坂橋 彦 治 郎

生魚鹽卸小賣

高崎市新町六拾六番地

川 宮野 辨次郎

電話 三六番
電署(イ)又ハ(ヘン)

- ◇ 内外諸肥料完全肥料製造
- ◇ 委托配合應需

釜屋號



吉田淺次郎商店

電話 二百二十三番
電信署號 (ヨシ)

本店 高崎市高砂町拾六番地
支店 高崎市本町三丁目九拾五番地
電話 五百五十番

膳 箸 長
椀 筒 持

◇ 御祝儀道具一式 ◇

漆器
問屋



高崎市田町貳丁目
天田屋安平

◇ 品評會 壹等賞 金牌受領ス ◇

高崎市通り町 (電話一七一番)

本店

栃木縣佐野本町

電話 五四番

營業部

栃木縣佐野若松町

電話 一〇二番

大川石炭商店出張所

出張所

前橋市田中町

電話 一三五番

同

群馬縣

館林町

電話 三二番

同

福島縣

平町

電話 四四番

米穀
肥料商



白田信次郎

高崎市住吉町

電話 三百二十三番

電器(ウスタ又ハウ)

落花生
漬物
青果物
問屋

高崎市大橋町

八百源號

下細川勇彦商店

電話 四百五十二番

電署(ヤマト)又ハ(ヤ)

水飴、菓子卸商

吾妻屋號

小倉林藏商店

高崎市嘉多町

電話 三十七番

電署(ヲ)又ハ(クラ)

賣販價廉撰精質品

酒類 醬油 洋酒 各種

卸問屋

太

石井千代藏商店

近江屋號

高崎市中紺屋町

電話 三〇九番

電署 (イシ)

內外 青果 各農 產物 乾物 漬物

商標

木柿沼喜一郎商塵

高崎市新紺屋町七番地
八百喜号

電話 二五八番

電署 (カキ) 又ハ (カ)

米穀肥料商

富

織茂屋號

富所常次郎

高崎市南町

電話(マ)又ハ(マリ)

電話二六三番

材木商

中村作太郎

高崎市新喜町

中村製材所

群馬縣吾妻郡原町

電話四四九番
電畧(ナカ)

土木建築請負業

高崎市新田町五十二番地

小松川事

德

田

鹿

藏

德

田

市

太

郎

電話 四〇二番

◆ 内外海陸産肥料販賣

高崎市末廣町三十六番地

父 石橋安五郎商店

電話 五九番
電略 (イシ) 又 (ハ) (イ)

木 材 商

高崎市末廣町

古久松商店

吉 中曾根松五郎

電話三一三番

木工所

高崎市高砂町
電話六四六番

製 材 販 賣

高崎市弓町百二十七番地

加 中曾根忠太郎商店

電 話
店用 四五九番
工場 六四六番

材木商

製材販賣

高崎市末廣町

加中曾根金四郎

電話六一〇番

武藤石炭商店高崎出張所

松永國太郎

高崎市通町貳拾五番地

電話三百四十七番

本店茨城縣古河町

御
空
保
命
英
國
皇
料

車轉白子一

大
日
本
通
信
省
指
定
創
用

群 馬 縣 總 代 理 店



白 轉 車 卸 商 高 崎 市 二 本 一 町 番 木 村 白 轉 車 店

銘 酒 清 香 釀 造 元



小 竿 佐 平

高 崎 市 本 町

電 話 二 一 九 番

鮮魚 諸海 產物 肥料 問屋

今田中與四郎商店

高崎市連雀町

電話 四一一番
電器(夕ナカ)又(ヨ)

青木時計店
蓄音機 各種
附屬品 各種
各國時計 類

高崎市本町二丁目

乾雜蜜甘製漬
物穀柑蓀菓物

三

塚越又左衛門

八百又號

高崎市鞆町

電話二七六番

陸軍御用達

野菓 乾物 漬物 罐詰 甘蓀 果物

卸商

中澤商店

八百竹號

高崎市柳川町七拾九番地

店主 中澤竹藏

電話五百四十四番
電略(夕ケ)又(夕)

馬尼刺麻眞田製造販賣

高崎市上和田町壹番地

合資
會社

岸麻眞田製紐所

代表者 岸 啓三郎

高崎吳服太物商組合

組長 吉井梅次郎

副組長 川村富藏

會計主任 熊井常三郎

高崎市田町一四四

電話 九番

業理整物染張白布絹

△
白井慶藏

高崎市新田町三十六番地

電話 二百二十二番
振替東京 二六八三七番

製材販賣

營業品目

建築材、天井板
唐木類、諸銘木
床用材料一式

高崎市住吉町

古榎屋號

小林榮三郎商店

電話 四四八番

小林製材第一工場

群馬縣多野郡鬼石町

小林合名會社第二工場

飯塚停車場前

各 國 蠶 種 問 屋

高 崎 市 本 町

白 田 多 賀 作 商 塵

電 話 五 二 三 番
電 署 (ウ)

◇ 御人用の品は御照會次第廉價に御手合可申候
◇ 委托品販賣に對しては懇切確實に御取扱可申候

◇ 弊店は蠶種一般の種目を取扱ひ居り特に優良品に
◇ 對して御取引の節は責任を重じ御商談に可應候

御氣が付いたら是非一度

御買ひ試しを願ひます

小間物化粧品商 金子織衛本店

高崎市新紺屋町卅一
電話 四六三

御儀式用 髪飾品

鼈甲 珊瑚珠 貴金屬

流行を追ふのが

特色で御座います

家庭
洋食

喜笑軒

坂田爲吉

高崎市寄合町



◇美術小間物
◇有名化粧品

卸問屋

高崎市田町貳丁目

金子
分店



金子四郎商店

電話 五百三十六番
振替東京 二四〇二番

米穀肥料商

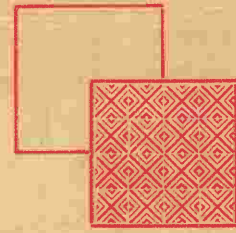


精米精麥所

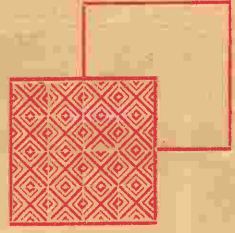


清水久太郎

高崎市旭町	電話十五番	電略(〇三)又ハ(三)
-------	-------	-------------



何くれとなく取揃へあります
 現代流行の洋物雜貨類は
 百人が百人キツト御氣に召す



紳士方は誰方でも
 結城屋洋品店の品のよい事を
 お褒め下さいませ

高崎市九藏町
結城屋洋品舗

電話二四八番

覽一先組取替爲

○爲替取組先ハ必要ニ應シ漸次増加致ス可ク候ニ付本表以外ノ場合ト雖モ一應御問合被下度候

山形	秋田	岩手	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	長野	新潟	富山	石川	福井	岐阜	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口								
大宮	浦和	川口	さいたま	千葉	東京	神奈川	山梨	長野	新潟	富山	石川	福井	岐阜	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口				
東京	神奈川	山梨	長野	新潟	富山	石川	福井	岐阜	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	山口



高崎倉庫株式會社(本店)預證券ニ對シテハ特ニ御便宜相計リ可申候

當銀行ハ確實ヲ主トシ各業ノ發達ト御便宜トテ計リ可申候間多少共御取引被下度願上候

◇◇營業種目◇◇

- 定期預金
- 當座預金
- 特別當座預金
- 當座貸越
- 定期貸付
- 商業手形割引
- 擔保付手形割引
- 荷爲替及代金取立
- 各地送金
- 青重品保護預

茂木銀行高崎支店

電話 五〇三番
電話 四〇七番
電話 三三〇番
振替 東京三三〇番

資本金 壹百萬圓 (拂込濟)

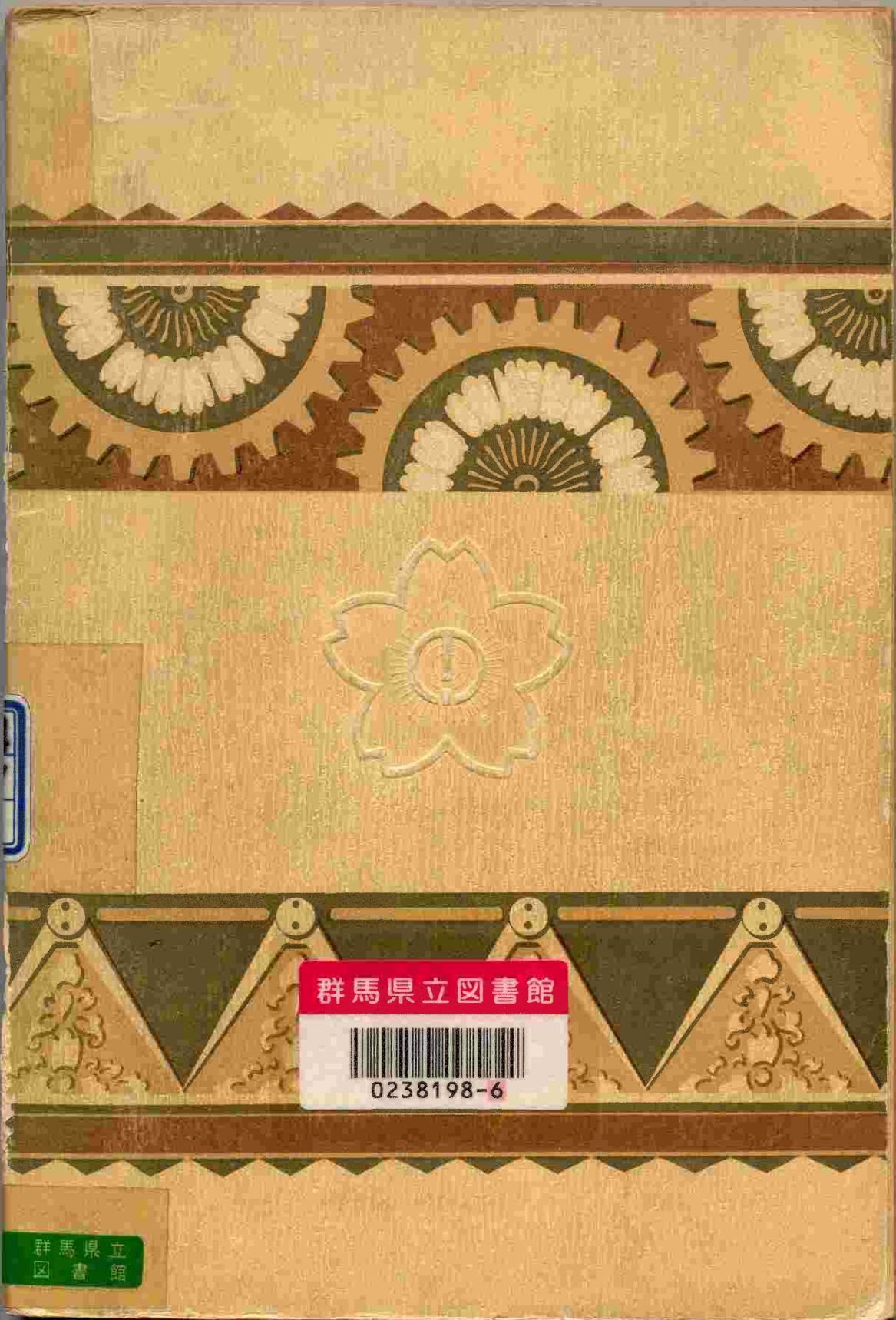
積立金及 壹百四拾五萬餘圓 (大正六年十一月現在)

諸預リ金 貳千八拾四萬圓 (同)

本店 横濱市辨天通二丁目 無限責任社員 茂木惣兵衛

支店 高崎市九藏町二十番地 同 茂木泰次郎

支店 東京市日本橋區本石町 同次長 佐藤昌吉



群馬県立図書館



0238198-6

群馬県立
図書館